

環境GS認定事業者報告書(平成19年度)

| | | | | |
|----------------|-------|-----------------|----|--|
| 認定番号 190343 | 名 称 | 有限会社笠懸 | | |
| | 代表者氏名 | 代表取締役 大橋利一 | | |
| | 所在地 | みどり市 笠懸町阿左美2036 | | |
| | 事業内容 | 浄化槽維持管理、清掃、し尿汲取 | | |
| 事業規模 | 資本金 | 3000 | 千円 | |
| | 従業員数 | 22 | 人 | |

1 環境基本方針

社会の一員として地球環境保全が人類共通の課題であることを認識し、経営の最重要課題の一つに位置付け、環境に配慮した企画と設計に心がけ、事業活動の全領域で資源とエネルギーの節約と節減に努めることにより、住みよい環境の実現とその環境の次世代、次々世代への継承に貢献します。

1. 事務所内外の整理、整頓、清潔、清掃に留意し、事業活動に於ける電力、紙、水等の資源、石油等化石エネルギーの使用量の節減等、環境負荷の低減に努めます。
2. アイドリングストップをはじめとする、エコドライブによる環境負荷への低減を推進します。
3. 事務所内外から出る廃棄物を最小限にする努力をし、分別処理を推進します。

2 取組実績

| |
|-----------------------------|
| エコドライブの推進体制をつくり、組織的に推進 |
| 空調温度の適正化(冷房27、暖房23) |
| 昼休み、非使用場所の消灯の徹底 |
| 分別回収ボックスを設置し、ビン、缶、紙類等の分別の徹底 |
| 使用済み用紙の裏面利用を推進する |

| | | | | |
|----------------|-------|------------|----|--|
| 認定番号 190345 | 名 称 | 株式会社大磯精工 | | |
| | 代表者氏名 | 代表取締役 磯貝博文 | | |
| | 所在地 | 安中市 郷原395 | | |
| | 事業内容 | 精密機械部品製造 | | |
| 事業規模 | 資本金 | 40000 | 千円 | |
| | 従業員数 | 23 | 人 | |

1 環境基本方針

お客様に受け入れられるために、環境を経営の最重要課題のひとつと位置づけ、環境問題に対応する企業を目指しています。その為に、機械加工分野において環境マネジメント体制を整備し、適切に継続できる目標を設定し継続的に取り組みを進めます。

2 取組実績

| |
|---------------------------------|
| こまめに冷暖房の設定を行い適正な温度を保つ |
| 昼休み電気を消灯する |
| 両面コピーの実施 |
| 社内でリサイクルできる工具はリサイクルし再使用する。再研磨など |

環境GS認定事業者報告書(平成19年度)

| | | | | |
|----------------|--------------|--------------------------|------|----|
| 認定番号 190346 | 名 称 代表者氏名 | 有限会社エリート工業 代表取締役 中村実穂 | | |
| | 所在地 | 邑楽町 中野103-1 | | |
| | 事業内容 | 電気機器部品・自動車部品の組立・検査 | | |
| | 事業規模 | 資本金 | 5000 | 千円 |
| 従業員数 | | 20 | 人 | |

1 環境基本方針

地球環境の維持が人類共通の最重要課題の一つであると認識し、企業活動の中でも市民生活の中でも、自然と人間の調和を全社員をあげて自ら責任を持ちその維持向上に努める。

2 取組実績

| |
|-------------------------|
| 輸送便の効率化により使用しなくなった車両の処分 |
| 空調温度の適正化 |
| ゴミの分別を行い、資源をリサイクルへ |
| |
| |

| | | | | |
|----------------|--------------|---------------------------------|-------|----|
| 認定番号 190347 | 名 称 代表者氏名 | サティス・エンジニアリング株式会社 代表取締役 斉藤郁也 | | |
| | 所在地 | 安中市 板鼻638-2 | | |
| | 事業内容 | 一般産業機械設計製作・開発 | | |
| | 事業規模 | 資本金 | 10000 | 千円 |
| 従業員数 | | 12 | 人 | |

1 環境基本方針

地球温暖化対策を重要課題と認識し、次の基本方針に基づき、社員一人一人が自覚を持ち、事業活動のあらゆる面で行動・実践する。

1. 地球温暖化対策を理解し、社内体制を整備し、対策の目標達成に向け、すべての社員が行動。実践に勤める。
2. 社内リサイクル班を設置し、分別処理を徹底する。
3. リサイクル処理機械の開発に努める。

2 取組実績

| |
|---------------------|
| 空調温度の適正化(冷房28、暖房20) |
| 昼休み、休憩時間の消灯 |
| 休憩時、PC等OA機器の電源切断の徹底 |
| |
| |

環境GS認定事業者報告書(平成19年度)

| | | | | |
|----------------|---------|---------------------|----|--|
| 認定番号 190348 | 名 称 | 株式会社経営戦略会議 | | |
| | 代表者氏名 | 代表取締役 福井久 | | |
| | 所 在 地 | 前橋市 石倉町3-11-2 | | |
| | 事 業 内 容 | コンサルト&冠婚葬祭総合プロデュース業 | | |
| 事 業 規 模 | 資 本 金 | 100000 | 千円 | |
| | 従 業 員 数 | 25 | 人 | |

1 環境基本方針

地球温暖化問題が単に環境破壊に止まらず人類の生存基盤にまで影響を与える深刻な問題であることを認識し、次に掲げる基本方針に則り健全な事業活動を通じ、環境にやさしい真に豊かな社会の実現に努力する。

1. 事業活動において省エネ製品や永く使える製品を選ぶことで、環境対策に貢献する。
2. 設備や工程において極力省エネ型のものを利用し、CO2排出量を抑制する。
3. 高効率型の電化製品の利用や、電気、ガソリン等の削減に努める。

2 取組実績

| |
|-------------------------|
| 空調温度の適正化に努める(暖房26、冷房28) |
| 空調管理責任者を設置する |
| 非使用場所の消灯を徹底する |
| 業務の効率化により残業を抑制する |
| 社内監査において省エネ実施状況を点検、指導する |

| | | | | |
|----------------|---------|---------------------------|----|--|
| 認定番号 190349 | 名 称 | 株式会社中島自動車電装 | | |
| | 代表者氏名 | 代表取締役 中島朗 | | |
| | 所 在 地 | 伊勢崎市 連取町705 | | |
| | 事 業 内 容 | 環境機器の開発・製造、自動車の钣金・塗装・車検整備 | | |
| 事 業 規 模 | 資 本 金 | 10000 | 千円 | |
| | 従 業 員 数 | 21 | 人 | |

1 環境基本方針

現在世界各地で起こっている地球温暖化による異常気象の被害等を目の当たりにし、脱温暖化社会の実現に向けて、全社員が行動を起こし、継続していくこととします。

取組項目を作成し、全社員で実施します。
事業を通じても顧客への呼びかけに努めます。

2 取組実績

| |
|----------------------------------|
| 空調温度の適正化(冷房28、暖房20)、温度計の設置、節電の表示 |
| 昼休みの消灯、残業時は必要箇所のみを使用(照明) |
| エコドライブ・燃費の良い車から使用 |
| 裏紙使用ルールの徹底 |
| 使い捨てでない文房具を使用 |

環境GS認定事業者報告書(平成19年度)

| | | | | |
|----------------|---------|-----------------|----|--|
| 認定番号 190350 | 名 称 | 合資会社オリエンタル | | |
| | 代表者氏名 | 代表社員 能澤孝博 | | |
| | 所 在 地 | 桐生市 相生町3-800-21 | | |
| | 事 業 内 容 | 事務機器製造業 | | |
| 事 業 規 模 | 資 本 金 | 10000 | 千円 | |
| | 従 業 員 数 | 47 | 人 | |

1 環境基本方針

合資会社オリエンタルは、事務機器の中でも主としてシュレッダーを製造していることを踏まえ、以下の方針に基づき環境管理を行い、継続的な改善と環境汚染の防止に努める。

1. 当社の事業活動が環境に与える影響を的確に把握し、同時にこれらが係わる法律・条例・協定その他の要求事項を明確にし、環境法規制及び協定その他の要求事項を遵守する。
2. 技術的、経済的に可能な範囲で、環境目的・目標・管理計画を定め、全員で取組み、パフォーマンス及び環境マネジメントシステムの継続的な改善・向上に努める。
3. 事業活動に係わる環境影響のうち、以下の項目を環境管理の重点テーマとして取り組む。
 - (1) 資源の枯渇の観点よりエネルギーの削減を促進する。
 - (2) 自然環境への負担の軽減を図る為、廃棄物の分別を徹底し、その削減とリサイクルを図る。
 - (3) 当社の扱う金属材料の廃棄部材の削減とリサイクル。
 - (4) 製品の設計段階において、環境に与える負荷の低減を常に考慮した設計開発を行う。
4. 定期的に内部環境監査及びマネジメントレビューを実施し、環境マネジメントシステムの見直しと維持・向上に努める。
5. 組織で働く又は組織のために働く全ての人が環境保全意識を高く保ち、この環境方針の達成のため、全部門従業員に周知し、実施・維持する。

2 取組実績

| |
|---------------------------|
| 暖房・冷房温度を決める(暖房:20 冷房:28) |
| 不在箇所、休憩時間の蛍光灯・水銀灯の消灯 |
| 時間外労働の検討 |
| 廃棄物のリサイクル化の推進 |
| 環境教育の実施強化 |

環境GS認定事業者報告書(平成19年度)

| | | | | |
|----------------|---------|-------------------|----|--|
| 認定番号 190351 | 名 称 | 株式会社天坊 | | |
| | 代表者氏名 | 代表取締役社長 斎藤淑子 | | |
| | 所 在 地 | 渋川市 伊香保町伊香保396-20 | | |
| | 事 業 内 容 | 旅館業(919号) | | |
| 事 業 規 模 | 資 本 金 | 100000 | 千円 | |
| | 従 業 員 数 | 144 | 人 | |

1 環境基本方針

地球温暖化問題が人類共通の問題であることを認識し、次の基本方針に則し、社員一人一人が自覚をもって事業活動のあらゆる面において環境に配慮した行動を実践する。

1. 社内体制の整備
2. 環境教育の充実

2 取組実績

| |
|---------------------------|
| 空調温度の適正化(冷房26、暖房23) |
| 防寒対策の実施(扉内側にクッションシールを貼る等) |
| 冷房使用の抑制(自然風をなるべく取り込む) |
| 非使用場所の空調・消灯徹底 |
| 照明効率の改善(高効率蛍光灯の設置) |

| | | | | |
|----------------|---------|-------------|----|--|
| 認定番号 190352 | 名 称 | 株式会社林製作所 | | |
| | 代表者氏名 | 代表取締役 林進 | | |
| | 所 在 地 | 高崎市 沖町368-1 | | |
| | 事 業 内 容 | 機械器具製造業 | | |
| 事 業 規 模 | 資 本 金 | 30000 | 千円 | |
| | 従 業 員 数 | 51 | 人 | |

1 環境基本方針

当社は、社会の責任ある一員として、地球環境保全を経営の最重点課題の一つに位置づけ、事業活動の全領域で、環境に配慮した行動に努め、住み良い環境の実現とその環境の次世代・次々世代への継承に貢献します。

2 取組実績

| |
|-------------------------------|
| エコアクション21を認証登録した |
| 廃棄物の分別、排出される一般廃棄物は分別の確認と計量を行う |
| 空調温度の適正化(冷房28、暖房20) |
| トイレの改修を行い節水タイプの「エコ6」を設置 |
| 設備の点検を定期的に行い、電力・エネルギーの過剰投入抑止 |

環境GS認定事業者報告書(平成19年度)

| | | | | |
|--|--------------|-------------------------------|-------|----|
| 認定番号 190353 | 名 称 代表者氏名 | 株式会社ユニティーネットワーク 代表取締役 掛川信弘 | | |
| | 所 在 地 | 高崎市 下之城町936-14 高崎市産業創造館内 | | |
| | 事 業 内 容 | ソフトウェア開発・販売 | | |
| | 事 業 規 模 | 資 本 金 | 10000 | 千円 |
| | | 従 業 員 数 | 7 | 人 |
| 1 環境基本方針 | | | | |
| <p>地球温暖化問題が人類共通の問題であることを認識し、次の基本方針に則し、社員一人一人が自覚をもって、事業活動のあらゆる面において、環境に配慮した行動を実践する。</p> <p>1. 温室効果ガスの排出が持続的に削減できる事業活動の推進が、如いては事業活動の効率化に繋がることを自覚し行動する。</p> <p>2. すべての社員が環境問題に対するモラルを高められるよう、環境問題への取組内容を周知徹底する。</p> | | | | |
| 2 取組実績 | | | | |
| 公共交通機関の積極的使用(交通手段) | | | | |
| 空調温度の適正化(冷房28、暖房20)の努力 | | | | |
| 電子情報利用によるペーパーレス化を推進する | | | | |
| 両面コピー、圧縮印刷を徹底する | | | | |
| 使用済み用紙の裏面利用の推進 | | | | |

| | | | | |
|--|--------------|---------------------------------------|------|----|
| 認定番号 190354 | 名 称 代表者氏名 | 有限会社海原商事 代表取締役 海原洋一 | | |
| | 所 在 地 | 館林市 新宿2-4-10 | | |
| | 事 業 内 容 | 製鉄・製紙・非鉄金属原料リサイクル及び廃棄物運搬業(1000002566) | | |
| | 事 業 規 模 | 資 本 金 | 5000 | 千円 |
| | | 従 業 員 数 | 8 | 人 |
| 1 環境基本方針 | | | | |
| <p>かけがえのない地球を守ることが、人類共通の最重要課題であることから、製鉄・製紙・非鉄金属原料リサイクル及び廃棄物の発生抑制に努め、地球環境に配慮した循環型社会の構築した事業活動に努めます。</p> <p>1. 自社の事業活動による環境に与える影響を低減するとともに、環境改善を図るために運搬に伴う二酸化炭素の排出量削減、廃棄物の排出を抑制するとともにリサイクル向上に努め、限りある水とエネルギー使用量削減にも努めます。</p> <p>2. 事業活動において、環境に関わる法律・規制その他公的基準を遵守します。</p> <p>3. 環境方針は、全社員に周知するとともに社員の環境に関する意識の向上を図ります。</p> | | | | |
| 2 取組実績 | | | | |
| 空調温度の適正化(冷房25、暖房22) | | | | |
| 照明・PC電源不要時のOFFの推進 | | | | |
| エアコン清掃の実施 | | | | |
| エコドライブの推進 | | | | |
| 分別ルール of 徹底 | | | | |

環境GS認定事業者報告書(平成19年度)

| | | | | |
|----------------|--------------|-----------------------------|--------|----|
| 認定番号 190355 | 名 称 代表者氏名 | 株式会社関東高压容器製作所 代表取締役 矢端和之 | | |
| | 所 在 地 | 前橋市 鳥取町153-1 | | |
| | 事 業 内 容 | 高压ガス容器の製造 | | |
| | 事 業 規 模 | 資 本 金 | 100000 | 千円 |
| | | 従 業 員 数 | 132 | 人 |

1 環境基本方針

地球温暖化問題が人類共通の問題であることを認識し、次の基本方針に則し、社員一人一人が自覚をもって、事業活動のあらゆる面において、環境に配慮した行動を実践する。

1. 温室効果ガスの排出が持続的に削減できる事業活動を推進するための社内体制の整備に努める。
2. すべての社員が環境問題に対する理解を深め行動できるよう、環境教育の充実に努める。
3. 温室効果ガスの排出量が少ない製品の開発・普及に努める。

2 取組実績

| |
|--------------------------------|
| 工場内エア圧力を下げることによる、コンプレッサー稼働時間削減 |
| 焼却炉の使用時間の計画的短縮 |
| 工場内設備の無負荷をブレーカーを切る事により電力削減 |
| 力率改善コンデンサーの見直し |
| 照明等の使用時間外の個別消灯 |

| | | | | |
|----------------|--------------|--|-------|----|
| 認定番号 190356 | 名 称 代表者氏名 | 株式会社高崎共同計算センター マイクロシステム事業部 代表取締役 岩崎正弘 | | |
| | 所 在 地 | 高崎市 栄町14-1 高崎イーストセンタービル6F | | |
| | 事 業 内 容 | コンピュータのハードウェア及びソフトウェア製品の設計・開発・製造 | | |
| | 事 業 規 模 | 資 本 金 | 50000 | 千円 |
| | | 従 業 員 数 | 150 | 人 |

1 環境基本方針

環境問題への取り組みを社会的責務と認識し、持続的発展が可能な社会の構築に貢献します。

そのために
 環境管理システムの継続的な維持向上に努めます。
 環境方針を全従業員へ周知するとともに、環境管理教育及び啓発に努めます。

2 取組実績

| |
|-------------------------|
| 空調温度の適正化(冷房28、暖房20) |
| 離席時はパソコンのディスプレイのスイッチを切る |
| 非使用場所の照明は消す |
| 帰宅時のOA機器のスイッチを切る |
| 組織内の委員による評価・分析を行う体制の整備 |

環境GS認定事業者報告書(平成19年度)

| | | | | |
|----------------|--------------|------------------------|-------|----|
| 認定番号 190357 | 名 称 代表者氏名 | 自然耕房株式会社 代表取締役 佐藤英久 | | |
| | 所 在 地 | 前橋市 三夜沢町21-7 | | |
| | 事 業 内 容 | きのこの生産・販売、農産物直売所の運営 | | |
| | 事 業 規 模 | 資 本 金 | 40000 | 千円 |
| | | 従 業 員 数 | 106 | 人 |

1 環境基本方針

社は「次の世代により良い環境を！」の实践。
 * 循環・再生;(ゼロエネルギー、ゼロエミッション化の追求)
 * あらゆる世代との共存・共栄
 * 地域振興、「身土不二・地産地消」

2 取組実績

| |
|-----------|
| 電灯を高効率に交換 |
| 設備改善 |
| |
| |
| |

環境GS認定事業者報告書(平成19年度)

| | | | | |
|----------------|--------------|---------------------------|-------|----|
| 認定番号 190358 | 名 称 代表者氏名 | 株式会社新井整毛所 代表取締役社長 新井栄一 | | |
| | 所 在 地 | 館林市 大街道2-3-33 | | |
| | 事 業 内 容 | 産業廃棄物収集運搬(1000050818) | | |
| | 事 業 規 模 | 資 本 金 | 10000 | 千円 |
| | | 従 業 員 数 | 10 | 人 |

1 環境基本方針

環境にやさしい社会と自然の共生・調和の実現を目指し、環境負荷への削減を図る為に、環境マネジメントシステムを推進し、以下の通り全従業員を挙げて取り組みます。

1. 環境関連法規。条例及びその他の要求事項を遵守し、環境社会の向上に努めます。
2. 環境への影響を的確にとらえ、環境改善活動に自主的・積極的に取り組み、継続的な環境負荷の低減を図ります。
3. 当社の事業活動に伴う環境影響を考慮し、以下の項目を重点テーマとして取り組みます。
 発生する廃棄物の削減及びリサイクルの推進 エネルギー使用量の削減による地球温暖化への抑制 水使用量の削減と節約 会社内外の環境美化
4. 地域社会との連携を図り、地域環境活動に参加します。
5. 環境方針の達成の為に目標を設定し、定期的に見直し、環境マネジメントシステムの継続的な改善に取り組みます。
6. 環境方針を全従業員に周知徹底するとともに、環境活動レポートを作成し、社外にも公表します。

2 取組実績

| |
|-------------------|
| 空調温度の適正化 |
| 照明・PC電源不要時のOFFの徹底 |
| エコドライブの推進 |
| 分別ルールの徹底 |
| 社内のリサイクル体制を整備する |

環境GS認定事業者報告書(平成19年度)

| | | | | |
|----------------|--------------|-----------------------------|------|----|
| 認定番号 190361 | 名 称 代表者氏名 | 株式会社A-line 代表取締役 朝岡伸江 | | |
| | 所在地 | 高崎市 下之城町936-14 高崎市産業創造館211号 | | |
| | 事業内容 | ICTサービス | | |
| | 事業規模 | 資本金 | 2000 | 千円 |
| 従業員数 | | 4 | 人 | |

1 環境基本方針

"かけがえのない地球"環境を健全な状態で次世代に引き継いでいくことは企業の社会的責任との認識にたつて、最新のICT情報、経験と実績に裏付けられた知恵とソリューションをタイミングよく提供し続けることにより、豊かな価値の創造と地球の共生を図り、持続可能な社会へ貢献します。

2 取組実績

| |
|--------------------------------|
| 昼休みの消灯、使用していない機器の電源OFF |
| 空調温度の適正化、および空調の使用を減らす(自然の風を利用) |
| ペーパーレス、および両面コピー/FAX受診の徹底 |
| 社内リサイクル体制の整備 |
| 自動車の使用を控え、顧客とのやり取りにITを活用 |

環境GS認定事業者報告書(平成19年度)

| | | | | |
|----------------|---------|-------------------------------|----|--|
| 認定番号 190362 | 名 称 | 株式会社泰通 | | |
| | 代表者氏名 | 代表取締役 境野泰照 | | |
| | 所 在 地 | 伊勢崎市 八斗島町1394-1 | | |
| | 事 業 内 容 | 一般区域貨物自動車運送事業(関自貨2第1835号)、倉庫業 | | |
| 事 業 規 模 | 資 本 金 | 10000 | 千円 | |
| | 従 業 員 数 | 29 | 人 | |

1 環境基本方針

(基本理念)
 物流企業として商品の輸送・保管業務に携わり、燃費の節約や電力消耗品の節約に努めるとともに、地球環境の保全を考えながら地域社会と地域の人に優しい環境づくり、豊かな未来の実現に寄与することを目指します。循環型の社会の形成は私たち企業市民に課せられた使命と認識し、継続的な環境保全に努めます。

(環境基本方針)

- ・車輛の排気ガスを抑制し、CO2、NOXなど地球に負荷を与える物質の排出削減に努めます。
- ・エコドライブを積極的に推進します。
- ・業務の効率化・無駄な排除を行い、用水・紙類の使用等、省資源・省エネルギーに努めます。
- ・環境方針を社内の安全会議等通じて全社員に周知し、ごみの減量化・リサイクルへの関心と理解を深める。
- ・目標の達成状況、評価、発表とアイデアの出し合いを随時することにより、継続的な向上を図ります。
- ・環境監査等の監視、チェック機能を十分に働かせて活動を確認し、環境保全活動が適切に実施されているかを把握する。
- ・プロドライバーの誇りを持ち、ロードリーダーとして一般のドライバーの模範となり、自然環境と調和した車社会の実現を目指します。

2 取組実績

| |
|----------------------------|
| エコドライブの実践(アイドリングストップ運動) |
| 低公害車の導入 |
| 輸送ルートの見直しによる走行距離の短縮 |
| 事務所・倉庫のこまめな消灯活動、空調機の温度設定管理 |
| 廃棄物の分別徹底 |

環境GS認定事業者報告書(平成19年度)

| | | | | |
|----------------|---------|------------------------------|----|--|
| 認定番号 190363 | 名 称 | 前橋定期運送株式会社 | | |
| | 代表者氏名 | 取締役社長 茂木幸男 | | |
| | 所 在 地 | 前橋市 力丸町463番地 | | |
| | 事 業 内 容 | 一般区域貨物自動車運送事業(56東陸自貨-第1821号) | | |
| 事 業 規 模 | 資 本 金 | 50000 | 千円 | |
| | 従 業 員 数 | 67 | 人 | |

1 環境基本方針

(環境方針)
 法令規則を遵守して、環境にやさしい経営を目指します。
 重点目標
 環境保護条例 自動車NOX PM改正に対応したディーゼル車排出ガス削減に向けた取り組みを着実に推進をする。
 燃費管理を実施し、エコドライブを推進する。
 法令遵守し、廃棄物の適正処理を行います。
 各休憩所、乗務員詰所に本方針を掲示し全社員に教育指導をし、周知徹底をし、その推進と維持に努める。

2 取組実績

| |
|------------------|
| 車両のアイドリングストップの実施 |
| 急発進・急停車禁止の実践 |
| 波状運転禁止の実践 |
| エコドライブの実践 |
| 冷暖房温度の適正化の努力 |

| | | | | |
|----------------|---------|--------------|----|--|
| 認定番号 190364 | 名 称 | 株式会社シミズプレス | | |
| | 代表者氏名 | 代表取締役 清水紀幸 | | |
| | 所 在 地 | 高崎市 倉賀野町2987 | | |
| | 事 業 内 容 | 金属プレス加工 | | |
| 事 業 規 模 | 資 本 金 | 10000 | 千円 | |
| | 従 業 員 数 | 17 | 人 | |

1 環境基本方針

地球温暖化問題を意識し、次の基本方針に則し、社員一人一人が環境に配慮した行動をとる。
 1. 品質管理や流通管理の徹底により廃棄される製品や使用材料の無駄の削減に努める。
 2. すべての社員が環境問題に対する理解を深め行動できるよう環境教育の充実に努める。
 3. 省エネルギー機器の導入

2 取組実績

| |
|-------------------------|
| 空調設備の温度の適正管理(冷房28、暖房20) |
| 不必要な照明の消灯 |
| 両面コピーの徹底 |
| エコドライブの推進(アイドリングストップ) |
| 蛇口をしっかりとめる |

環境GS認定事業者報告書(平成19年度)

| | | | | |
|----------------|---------|-----------------|----|--|
| 認定番号 190365 | 名 称 | 石坂電器株式会社 | | |
| | 代表者氏名 | 代表取締役 石坂一男 | | |
| | 所 在 地 | 伊勢崎市 波志江町1777番地 | | |
| | 事 業 内 容 | 自動車部品製造 | | |
| 事 業 規 模 | 資 本 金 | 15000 | 千円 | |
| | 従 業 員 数 | 100 | 人 | |

1 環境基本方針

地球環境の保全が人類共通の課題であることを認識し、環境保全に取組み、環境との調和を考えた『ものづくり』を企業活動の基本とし、行動します。

1. 温室効果ガス排出抑制のため、具体的目標値を決め、改善に取組みます。
2. この環境目標を達成するため、技術的、経済的に可能な範囲で環境目的、および目標を定め、環境マネジメントを推進します。
3. 環境関連の法律、規制およびその他の要求事項を遵守し、環境保全の維持向上に取組みます。

2 取組実績

| |
|-----------------------|
| 空調温度の適正化(冷房:28、暖房:20) |
| 昼休みの照明消灯の徹底 |
| 離席時のOA機器電源OFFの徹底 |
| エコドライブの推進 |
| 従業員に対する環境教育の実施 |

| | | | | |
|----------------|---------|---------------|----|--|
| 認定番号 190366 | 名 称 | 石坂コイル株式会社 | | |
| | 代表者氏名 | 代表取締役社長 石坂一男 | | |
| | 所 在 地 | 伊勢崎市 長沼町214番地 | | |
| | 事 業 内 容 | 自動車部品製造 | | |
| 事 業 規 模 | 資 本 金 | 10000 | 千円 | |
| | 従 業 員 数 | 70 | 人 | |

1 環境基本方針

地球環境の保全が人類共通の課題であることを認識し、環境保全に取組み、環境との調和を考えた『ものづくり』を企業活動の基本とし、行動します。

1. 温室効果ガス排出抑制のため、具体的目標値を決め、改善に取組みます。
2. この環境目標を達成するため、技術的、経済的に可能な範囲で環境目的、および目標を定め、環境マネジメントを推進します。
3. 環境関連の法律、規制およびその他の要求事項を遵守し、環境保全の維持向上に取組みます。

2 取組実績

| |
|-----------------------|
| 空調温度の適正化(冷房:28、暖房:20) |
| 空調管理正副責任者の設置 |
| エコドライブの推進 |
| 節水に対する意識の徹底 |
| 従業員に対する環境教育の実施 |

環境GS認定事業者報告書(平成19年度)

| | | | | |
|----------------|--------------|-------------------------------|-------|----|
| 認定番号 190367 | 名 称 代表者氏名 | 株式会社藤栄工業 代表取締役社長 角田博 | | |
| | 所 在 地 | 藤岡市 森新田287 | | |
| | 事 業 内 容 | 情報関連機器、事務機器等に提供する機械部品のプレス板金加工 | | |
| | 事 業 規 模 | 資 本 金 | 11000 | 千円 |
| | | 従 業 員 数 | 13 | 人 |

1 環境基本方針

株式会社藤栄工業は関連会社に提供する部品の生産事業を進めるにあたり、地球環境保全の推進が最も重要であることを認識して、行動を実践します。

1. 社員一同が環境問題に理解を深め行動できるよう教育の充実に努めます。
2. 地球にやさしい材料の使用を積極的に進めます。

2 取組実績

| |
|----------------------|
| 空調温度の適正化(冷房28、暖房20) |
| 昼休み、休憩時間、非使用場所の消灯の徹底 |
| 両面コピーの徹底 |
| 使い捨て製品の購入を抑制する |
| 社内のリサイクル体制の整備 |

環境GS認定事業者報告書(平成19年度)

| | | | | |
|----------------|--------------|--|-----------|----|
| 認定番号 190368 | 名 称 代表者氏名 | 株式会社日立製作所オートモティブシステムグループ群馬事業所 事業所長 下村裕治 | | |
| | 所 在 地 | 伊勢崎市 粕川町1671-1 | | |
| | 事 業 内 容 | 輸送用機器製造 | | |
| | 事 業 規 模 | 資 本 金 | 282033000 | 千円 |
| | | 従 業 員 数 | 1100 | 人 |

1 環境基本方針

(スローガン)
 当事業グループは、自動車部品(エンジン機器、駆動機器、懸架機器、操舵機器、制動機器にいたる機能部品)及び工作機械の研究・開発・設計並びに製造を行っている。
 我々の事業活動・生産活動を始め、我々の生み出す製品およびサービスは、地球環境など環境問題と深いかかわりがあることを認識し、
 「私たちの行動で、地球環境の保全を図り住み良い豊かな社会づくりに貢献します。」
 のスローガンのもとに一丸となって、より良い環境マネジメントシステムの構築に取り組む。
 (環境方針)

a) ISO14001規格に準拠した環境マネジメントシステムを構築すると共に推進組織を整備し、当事業グループの活動、製品及びサービスにより環境影響を生じさせるものに対して汚染を予防すると共に、環境マネジメントシステム及び環境マネジメントシステム上の活動実績を継続的に向上させる。

b) 環境側面に対して該当する環境法令を順守すると共に顧客の要求事項などの受け入れを決めた要求事項を順守し、必要に応じて自主基準を策定して環境汚染防止に努める。

c) 環境管理活動の具体的施策は、環境目的・目標として設定し、これらを推進する。この環境目的・目標は1回/年見直しを行う。

d) 環境保全のため、以下の項目を重点課題として取り組む。

イ) 環境配慮型製品の開発・設計を推進する。
 ・プリント基板等に使用するハンダは、鉛フリー化を推進する。
 ・クロメート処理に おける6価クロムは、クロムフリー化を推進する。

ロ) 地球温暖化防止を図るため、省エネルギーを推進する。
 ・電力、燃料等生産設備で消費するエネルギーの使用効率向上を図る。
 ・ボイラー、コンプレッサーおよび加熱炉等の付帯設備および生産設備の省エネルギー化を推進する。

ハ) 化学物質管理の徹底と排出量削減を推進する。
 ・生産工程における化学物質使用量の適正化、環境にやさしい物質への転換を推進する。

ニ) 循環型社会に対応し、廃棄物の減量化、再利用および再資源化を推進する。

ホ) 排水の水質や大気排出ガスの濃度の維持・管理等には万全を期し、生態系への影響を考慮に入れる。

2 取組実績

| |
|--------------------------|
| 生産工程改善による電力削減 |
| ファン・ポンプのインバータ化 |
| 昼休み、不要時の照明・空調・OA機器の停止の徹底 |
| エア－漏れの改善 |
| 廃棄物の分別徹底によるリサイクルの推進 |

環境GS認定事業者報告書(平成19年度)

| | | | | |
|----------------|--------------|---------------------------|-------|----|
| 認定番号 190369 | 名 称 代表者氏名 | 株式会社日東電機製作所 取締役社長 青木和延 | | |
| | 所 在 地 | 大泉町 吉田939 | | |
| | 事 業 内 容 | 配電盤製造 | | |
| | 事 業 規 模 | 資 本 金 | 80000 | 千円 |
| | | 従 業 員 数 | 150 | 人 |

1 環境基本方針

次の基本方針に基づき、社員一人一人が環境問題に取り組み継続的改善を実践する。

1. 環境方針に対して理解を深め、実践レベルの行動が出来る人材の育成に努める。
2. 組織活動において、省資源・省エネルギーを図る。
3. 安全で快適な職場作りを行う。

2 取組実績

| |
|------------------|
| 省エネタイプの空調設備を一部導入 |
| こまめな消灯の心がけ |
| パソコンの省電力運転の心がけ |
| 両面コピーの徹底 |
| 標語で啓蒙 |

| | | | | |
|----------------|--------------|----------------------------|--------|----|
| 認定番号 190370 | 名 称 代表者氏名 | みつわ運輸株式会社本社営業所 代表取締役 轟暹 | | |
| | 所 在 地 | 高崎市 片岡町1丁目17番22号 | | |
| | 事 業 内 容 | 一般区域貨物自動車運送事業(陸輸第3005号) | | |
| | 事 業 規 模 | 資 本 金 | 100000 | 千円 |
| | | 従 業 員 数 | 17 | 人 |

1 環境基本方針

(環境方針)

法令規則を遵守して、環境にやさしい経営を目指します。

重点目標

環境保護条例 自動車NOX PM改正に対応したディーゼル車排出ガス削減に向けた取り組みを着実に推進をする。

燃費管理を実施し、エコドライブを推進する。

法令遵守し、廃棄物の適正処理を行います。

各休憩所、乗務員詰所に本方針を掲示し全社員に教育指導をし、周知徹底をし、その推進と維持に努める。

2 取組実績

| |
|-------------|
| エコドライブの実施 |
| 冷暖房の温度管理の徹底 |
| |
| |

環境GS認定事業者報告書(平成19年度)

| | | | | |
|----------------|--------------|-----------------------------|--------|----|
| 認定番号 190371 | 名 称 代表者氏名 | みつわ運輸株式会社吾妻営業所 代表取締役 轟 暹 | | |
| | 所 在 地 | 東吾妻町 厚田1263-1 | | |
| | 事 業 内 容 | 一般区域貨物自動車運送事業(陸輸第3005号) | | |
| | 事 業 規 模 | 資 本 金 | 100000 | 千円 |
| | | 従 業 員 数 | 54 | 人 |

1 環境基本方針

(環境方針)
法令規則を遵守して、環境にやさしい経営を目指します。
重点目標
環境保護条例 自動車NOX PM改正に対応したディーゼル車排出ガス削減に向けた取り組みを着実に推進をする。
燃費管理を実施し、エコドライブを推進する。
法令遵守し、廃棄物の適正処理を行います。
各休憩所、乗務員詰所に本方針を掲示し全社員に教育指導をし、周知徹底をし、その推進と維持に努める。

2 取組実績

| |
|---------------|
| エコドライブの実施 |
| 冷暖房の温度管理の徹底 |
| 新車への代替(燃費の向上) |
| |
| |

| | | | | |
|----------------|--------------|------------------------|-------|----|
| 認定番号 190372 | 名 称 代表者氏名 | 株式会社土屋合成 取締役社長 土屋直人 | | |
| | 所 在 地 | 富岡市 宇田22-2 | | |
| | 事 業 内 容 | 精密プラスチック射出成形加工 | | |
| | 事 業 規 模 | 資 本 金 | 10000 | 千円 |
| | | 従 業 員 数 | 48 | 人 |

1 環境基本方針

当社の企業活動と地球環境の調和を目指し省資源、省エネルギーに継続的に取り組み環境の保全に努めます。

2 取組実績

| |
|-------------------------------------|
| 省エネタイプの機械の導入 |
| エアコンの温度設定の見直し |
| ムダな照明の消灯 |
| 運送便(自社便)の見直し(1t車～2t車へ、 により運行回数の削減) |
| |

環境GS認定事業者報告書(平成19年度)

| | | | | |
|----------------|---------|-------------------|----|--|
| 認定番号 190373 | 名 称 | 関口精機株式会社 | | |
| | 代表者氏名 | 代表取締役社長 志村光久 | | |
| | 所 在 地 | 伊勢崎市 市場町二丁目1008番地 | | |
| | 事 業 内 容 | 自動車部品製造業 | | |
| 事 業 規 模 | 資 本 金 | 118400 | 千円 | |
| | 従 業 員 数 | 202 | 人 | |

1 環境基本方針

1. 自動車関連部品等の製造及び付帯業務によって生じる環境への影響を調査すると共に評価し、環境負荷を軽減する施策を行い、環境への影響の継続的改善と汚染の予防に対して、適切な措置を講ずる。
2. 環境の継続的保全に取組む体制を整備し、環境関連規定の制定、環境負荷削減目的・目標を設定し環境改善活動の推進を図ると共に、環境監査を実施し活動の確認と維持向上に努める。
3. 環境の保全に関する社会的要請を的確に把握し、省エネ、省資源、廃棄物削減等の資源の有効活用に取り組む。
4. 国、地方自治体等の定める環境に関する法規制、条例等を遵守する。
5. 社員一人々が環境保全に対する意識の向上を図ると共に、地域社会の環境改善活動に積極的に貢献する。

2 取組実績

| |
|---------------------|
| 主要ライン効率UPによる稼働時間削減 |
| 主要ライン不良率削減により稼働時間削減 |
| 外灯に週間タイマーを設置し、休日消灯 |
| |
| |

| | | | | |
|----------------|---------|----------------|----|--|
| 認定番号 190374 | 名 称 | 群馬県第一食糧株式会社 | | |
| | 代表者氏名 | 代表取締役社長 竹越正博 | | |
| | 所 在 地 | 前橋市 高井町一丁目10-3 | | |
| | 事 業 内 容 | 米穀流通卸売業 | | |
| 事 業 規 模 | 資 本 金 | 364000 | 千円 | |
| | 従 業 員 数 | 34 | 人 | |

1 環境基本方針

- 地球温暖化問題が人類共通の問題であることを認識し、次の基本方針に則し、社員一人一人が自覚をもって事業活動のあらゆる面において、環境に配慮した行動を実践する。
1. 温室効果ガスが持続的に削減できる事業活動を推進するための社内体制の整備に努める。
 2. 全社員が環境問題に対する理解を深め行動できるよう、環境教育の充実に努める。

2 取組実績

| |
|--|
| 資料等の両面コピーの徹底。社内回覧、営業日誌等PCを活用しペーパーレスの推進 |
| 昼休みや非使用場所の消灯 |
| 空調温度の適正化(冷房28、暖房20) |
| 高効率蛍光灯の設置 |
| |

環境GS認定事業者報告書(平成19年度)

| | | | | |
|----------------|-------|-------------------------|----|--|
| 認定番号 190375 | 名 称 | 株式会社協和工業 | | |
| | 代表者氏名 | 代表取締役 福島寛 | | |
| | 所在地 | 伊勢崎市 日乃出町473-1 | | |
| | 事業内容 | 空調機器:冷凍機器関連のプレス、板金、溶接加工 | | |
| 事業規模 | 資本金 | 10000 | 千円 | |
| | 従業員数 | 33 | 人 | |

1 環境基本方針

地球温暖化問題が人類共通の問題であることを認識し、次の基本方針に則し、社員一人一人が自覚をもって、事業活動のあらゆる面において、環境に配慮し法規制、顧客要求遵守の行動を実践する。

1. 温室効果ガスの排出が、持続的に削減できる事業活動を推進するための社内体制の整備に努める。
2. すべての社員が環境問題に対する理解を深め法規制、顧客要求遵守行動ができるよう、環境教育の充実に努める。

2 取組実績

| |
|------------------------------------|
| 分別廃棄、プラスチック資源の再生化の徹底 |
| 使用済用紙の裏面利用の徹底 |
| 休み時間の消灯、パソコンモニターの電源OFF、非使用場所の消灯の徹底 |
| エアコンの使用温度適正化 |
| 材料の歩留まり改善により鉄屑の削減 |

| | | | | |
|----------------|-------|-------------|----|--|
| 認定番号 190376 | 名 称 | 村松金属工業株式会社 | | |
| | 代表者氏名 | 代表取締役 村松知守文 | | |
| | 所在地 | 沼田市 高橋場町421 | | |
| | 事業内容 | 金属切削加工業 | | |
| 事業規模 | 資本金 | 15000 | 千円 | |
| | 従業員数 | 17 | 人 | |

1 環境基本方針

私たちは、このかけがえのない母なる地球に深く感謝し、生きとし生けるものの永遠の繁栄を願い、そして、来た時よりも美しく……の心によって環境にやさしい経済社会の健全な発展に貢献するために具体的行動指針を定めて実行して行きます。

2 取組実績

| |
|-----------------------|
| 暖冬だった |
| ウォームビズの推進 |
| ストーブの温度管理 |
| 昼休み・休憩時間のストーブのOFF |
| 資源ごみに出せるものは燃えるごみに出さない |

環境GS認定事業者報告書(平成19年度)

| | | | | |
|----------------|-------|-----------------|----|--|
| 認定番号 190377 | 名 称 | 日本テクノ株式会社 | | |
| | 代表者氏名 | 代表取締役 高野一男 | | |
| | 所在地 | 前橋市 公田町595-4 | | |
| | 事業内容 | ソフトウェア、ハードウェア開発 | | |
| 事業規模 | 資本金 | 10000 | 千円 | |
| | 従業員数 | 5 | 人 | |

1 環境基本方針

公害防止、環境保全に社員一人一人が自覚を持って努力し、実践するよう取り組みたい。

2 取組実績

| |
|-----------------|
| 電気の節約 |
| 紙類の節約(コピーに裏紙使用) |
| 無駄な物は買わない |
| |
| |

| | | | | |
|----------------|-------|---------------|----|--|
| 認定番号 190378 | 名 称 | 門倉メリヤス株式会社 | | |
| | 代表者氏名 | 代表取締役 門倉重行 | | |
| | 所在地 | 前橋市 日吉町2-4-16 | | |
| | 事業内容 | 絹婦人服ニット製造 | | |
| 事業規模 | 資本金 | 10000 | 千円 | |
| | 従業員数 | 11 | 人 | |

1 環境基本方針

地球温暖化問題が世界人類共通の問題であることを認識し、次の基本方針に向かって社員一人一人が事業活動において常時、環境問題を考慮し行動を実施する。
 1. 温室効果を高めるためのガス排出削減を持続的に省エネ推進を図り社内整備に努める。
 2. 社員一人一人が環境問題の意識を深め、事業活動の推進に努める。
 3. 自然に環境にやさしい、ガス排出量の少ない天然繊維を生かした開発に努める。

2 取組実績

| |
|---------------------|
| 空調温度の適正化 |
| 昼休み、休憩時間消灯、最低限照明使用 |
| 使い捨て製品の購入抑制、物を大切に使う |
| 仕事の段取りを考案する |
| リサイクル体制を徹底 |

環境GS認定事業者報告書(平成19年度)

| | | | | |
|----------------|-------|----------------|----|--|
| 認定番号 190379 | 名 称 | 有限会社ニッポ渋川 | | |
| | 代表者氏名 | 代表取締役 高波玉吉 | | |
| | 所在地 | 渋川市 吹屋591-1 | | |
| | 事業内容 | 高所作業車等の制御装置の生産 | | |
| 事業規模 | 資本金 | 3000 | 千円 | |
| | 従業員数 | 16 | 人 | |

1 環境基本方針

豊かな地球環境を次世代へ継承する事が、人類共通の重要課題であることを認識し、事業活動のあらゆる面で地球環境の保全を配慮した活動を行う。
 事業活動によって環境に与える影響を正しく認識し環境目的、環境目標を定め継続的な改善と汚染の防止に取り組みます。
 全従業員に対し環境方針の周知徹底に努め、環境教育を定期的実施し個々の環境意識向上を図ります。

2 取組実績

| |
|-----------------------------------|
| 1F,2Fとあった作業場を作業効率上1Fに統合(暖房用灯油の削減) |
| 1F,2Fとあった作業場を作業効率上1Fに統合(電力使用の削減) |
| |
| |
| |

| | | | | |
|----------------|-------|-------------|----|--|
| 認定番号 190380 | 名 称 | ライト企画株式会社 | | |
| | 代表者氏名 | 代表取締役 木村聡 | | |
| | 所在地 | 高崎市 鶴見町6-11 | | |
| | 事業内容 | 遊技機の支持枠及び装飾 | | |
| 事業規模 | 資本金 | 20000 | 千円 | |
| | 従業員数 | 6 | 人 | |

1 環境基本方針

「当社は経営理念の一つである環境保全への取り組みのもと環境と調和した継続可能な循環型社会を目指した活動を推進する。」
 廃棄物を減らすリサイクル活動の推進
 環境保全、修復及び汚染の予防に配慮した設計施工活動の推進
 関連する環境の法規制及び地域・近隣との協定、業界の行動規範等の遵守
 環境目的及び目標達成のための環境マネジメントプログラムの策定と環境マネジメントシステムの継続的改善への取り組み

2 取組実績

| |
|--------------------------------|
| エアコンの温度設定(冷房25、暖房25) |
| 昼休みの消灯、非使用場所の消灯 |
| クールビズ、ウォームビズの実施 |
| コピー使用時の裏紙使用、両面コピー |
| 現場で余ったスチール製品をリサイクル工場へ持ち込みリサイクル |

環境GS認定事業者報告書(平成19年度)

| | | | | |
|----------------|-------|-----------------------|----|--|
| 認定番号 190381 | 名 称 | 株式会社プランニング | | |
| | 代表者氏名 | 代表取締役 町田庄吉 | | |
| | 所在地 | 前橋市 櫛島町161-5 | | |
| | 事業内容 | コンピューターソフトウェアの開発及び、販売 | | |
| 事業規模 | 資本金 | 20000 | 千円 | |
| | 従業員数 | 51 | 人 | |

1 環境基本方針

環境保全は我々地球市民に課せられた使命と認識し、環境保全活動と経営活動を同軸と考え、自ら責任を持ち、グループとしてその活動に取り組む。

具体的な行動規範

1. 環境保全目標を設定し、達成する。
プランニンググループの役員及び社員は、法規制の遵守は当然とし、自らの責任において、社会の期待を考慮した環境負荷低減の目標を設定し、その実現を通して経済価値の創出に努める。
2. 環境と調和した事業運営を展開する。
プランニンググループの役員及び社員は、事業運営に際して環境への影響を把握し、全員参加で汚染予防、エネルギーや資源の有効利用、廃棄物の削減を実施する。また、環境保全体制、展開方法の継続的な維持・改善を推進する。
3. 環境に配慮した商品、サービスを採用する。
プランニンググループの役員及び社員は、調達・販売・使用・リサイクル・廃棄の各段階で環境への負荷が少ない商品、サービスを積極的に採用する。
4. 環境意識を向上し、責任ある行動をとる。
プランニンググループの役員及び社員は、一人一人が広く社会に目を向け、積極的に学習することにより意識の向上を図り、自ら責任を持って環境保全活動を推進する。

2 取組実績

| |
|-------------------------------|
| 室内温度の適正化(基準温度、冷房:28、暖房:20)の徹底 |
| 休憩室、トイレ等の入室時のON、退出時のOFFの徹底 |
| 省エネ対応機種(IT機器)を優先した購入 |
| 会議資料はプロジェクターを活用し、ペーパーレスの徹底 |
| 裏紙専用BOXをプリンターの側に設置し、裏紙使用の徹底 |

環境GS認定事業者報告書(平成19年度)

| | | | | |
|----------------|--------------|---------------------------|-------|----|
| 認定番号 190382 | 名 称 代表者氏名 | 株式会社佐藤工業所 代表取締役社長 伊藤英明 | | |
| | 所 在 地 | 前橋市 力丸町487-5 | | |
| | 事 業 内 容 | 消防自動車・消防機器の製造及び販売にかかる事業活動 | | |
| | 事 業 規 模 | 資 本 金 | 10000 | 千円 |
| | | 従 業 員 数 | 17 | 人 |

1 環境基本方針

消防機器、防災機器を製造・販売することにより社会貢献を果たし、経営目標と環境保全を並立させて達成する事を目標に、下記項目に従業員及び組織のために働く人に周知徹底し、システムを継続的に改善する。

1. 廃棄物の削減
2. 資源及びエネルギーの有効利用

2 取組実績

| |
|-----------------------------|
| 用紙の再利用(両面コピー) |
| 無人の部屋の消灯 |
| エアコンの温度設定(冷房28 / 暖房20)に努める |
| エコドライブ |
| 分別廃棄 |

環境GS認定事業者報告書(平成19年度)

| | | | | |
|----------------|---------|--------------------------|----|--|
| 認定番号 190383 | 名 称 | 沖電気工業株式会社高崎地区システム機器カンパニー | | |
| | 代表者氏名 | 高崎地域 担当本部長 河島洋一 | | |
| | 所 在 地 | 高崎市 双葉町3番1号 | | |
| | 事 業 内 容 | 情報処理機器の開発、設計及び製造 | | |
| 事 業 規 模 | 資 本 金 | 72411000 | 千円 | |
| | 従 業 員 数 | 1875 | 人 | |

1 環境基本方針

(環境理念)

OKIグループは、e社会の実現に寄与する商品の提供を通じて、次の世代のために、より良い地球環境を実現し、それを継承する。

(環境行動指針)

1. 全社ネットワーク型環境経営の実行により、施策効果の最大化を目指す。
 - (1) 商品の企画から製造・保守運用に至るまですべての業務プロセスにおいて、環境配慮型商品とサービスの提供に取り組む。
 - (2) 事業活動において、省資源・省エネルギーに努め、廃棄物の削減に取り組む。
2. 適用される環境法令、条例及び同意する顧客要求等その他の要求事項を遵守し、汚染の予防に努める。
3. 環境マネジメントシステムのPDmCA(Plan-Do-multiple Check-Act)を的確に実行し、環境パフォーマンスの向上と運用システムの継続的な改善に取り組む。
4. 環境に関する情報の開示に努めるとともに、環境活動支援を通じて、広く社会に貢献する。

2 取組実績

| |
|----------------------|
| エアコンの省エネコントローラーによる制御 |
| 省エネ型照明器具への更新 |
| 空調温度の適正化(冷房28、暖房20) |
| 昼休みの消灯、非使用場所の消灯の徹底 |
| |

環境GS認定事業者報告書(平成19年度)

| | | | | |
|----------------|---------|-------------------|----|--|
| 認定番号 190384 | 名 称 | 坂東コンクリート工業株式会社 | | |
| | 代表者氏名 | 代表取締役社長 中澤恒喜 | | |
| | 所 在 地 | 東吾妻町 小泉264-1番地 | | |
| | 事 業 内 容 | 環境保全型ブロック製品の製造・販売 | | |
| 事 業 規 模 | 資 本 金 | 20000 | 千円 | |
| | 従 業 員 数 | 12 | 人 | |

1 環境基本方針

地球温暖化問題が人類共通の問題であることを認識し、次の基本方針に則し、社員一人一人が自覚をもって、事業活動のあらゆる面において環境に配慮した行動を実践する。

1. 温室効果ガスの排出が持続的に削減できる事業活動を推進するための社内体制の整備に努める。
2. すべての社員が環境問題に対する理解を深め行動できるよう環境教育の充実に努める。
3. 温室効果ガスの排出量が少ない製品、地球温暖化防止機能の高い製品の開発・普及に努める。

2 取組実績

| |
|---------------------|
| 両面コピーの徹底 |
| 空調温度の適正化(冷房28、暖房20) |
| 昼休み、休憩時間、非使用場所の消灯 |
| 製造機械等のムダな空運転の抑制 |
| 使い捨て製品の購入抑制 |

環境GS認定事業者報告書(平成19年度)

| | | | | |
|----------------|--------------|---|-------|----|
| 認定番号 190385 | 名 称 代表者氏名 | 株式会社サンユーサービス 代表取締役 岡田秀一 | | |
| | 所 在 地 | 太田市 龍舞町4504番地の1 | | |
| | 事 業 内 容 | 設備管理業務、建築物メンテナンス業務業、リフォーム業務、産業廃棄物収集運搬業務(許可番号1000133607) | | |
| | 事 業 規 模 | 資 本 金 | 11000 | 千円 |
| | | 従 業 員 数 | 12 | 人 |

1 環境基本方針

(基本方針)

『to the next stage,with us 私達サンユーサービスは、人、社会、地球環境そして未来のそれぞれを考え、社員一人一人が豊かな感性をはぐくみ、質の高いサービスを提供していきます。』を当社のスローガンとして掲げ、日ごろの事業活動の中で環境保全に配慮して行動し、自主的な取り組みを展開する。

(行動指針)

「地球環境は、地域社会の各々からを念頭に…」

当社は、全社員が環境改善に対する意識を深める事により「きめ細やかな心創り」を目標として下記の活動方針を定め、環境活動に一丸となって取り組んで参ります。

1. 法規制に基づき遵守します。
2. 廃棄物の排出制御、適正処理、及びリサイクルの推進。
3. 天然資源の使用削減。
4. 化学物質の管理及び適正処理の徹底。
5. 環境教育による全社員の環境に関する意識向上を図ると共に、協力会社へも環境方針を周知し、理解と協力を要請します。
6. 建築物の建築、解体、開発事業に当って、常に環境への影響を的確にとらえ、事業活動に従事し、環境保全活動の継続的な改善に努めます。
7. 収集運搬業務を行うにあたって、産業廃棄物収集運搬業許可証に基づき遵守します。

2 取組実績

| |
|---------------------|
| エコドライブの実施 |
| 車両月次点検(自己チェック)の実施 |
| 一般ゴミの排出抑制・分別 |
| 省エネ率の高いIOA機器・家電製品選び |
| 環境負荷に関する業務の標準化及び教育 |

環境GS認定事業者報告書(平成19年度)

| | | | | |
|----------------|-------|--------------------|----|--|
| 認定番号 190387 | 名 称 | 株式会社旭光 | | |
| | 代表者氏名 | 代表取締役 荒井精 | | |
| | 所在地 | 板倉町 岩田808 | | |
| | 事業内容 | 金属加工(治具、各種機械部品の試作) | | |
| 事業規模 | 資本金 | 23000 | 千円 | |
| | 従業員数 | 48 | 人 | |

1 環境基本方針

1. 株式会社旭光は、治具、各種機械部品の機械加工、サブ・アッセンブリーなどの製品及びサービスを行っています。これらの事業活動における各段階において、当社の一人一人が環境保全活動(汚染の予防)と環境マネジメントシステムの継続的改善に努めます。

2. 環境保全に関する法律ならびに当社が同意した顧客、地域社会等の要求事項を順守します。又、必要に応じて自主的な環境目的・目標を設定し汚染の予防に努めます。

3. 循環型社会に沿った事業活動として、下記の項目をテーマとして取組みます。

(1). 省エネルギーの推進 (2). 廃棄物の適正な処置と削減 (3). 産業負荷化学物質の削減と工場外(地域河川)への流出防止管理

2 取組実績

| |
|------------------------|
| 水道メーターの定時点検による異状もれ確認 |
| 節水の啓蒙 |
| 新規、更新設備導入時は省エネルギー設備の選定 |
| 空調の温度管理 |
| 昼休み、休憩時間の消灯、節電の徹底 |

| | | | | |
|----------------|-------|----------------|----|--|
| 認定番号 190388 | 名 称 | 株式会社ナガヌマ | | |
| | 代表者氏名 | 代表取締役社長 小泉雅章 | | |
| | 所在地 | 伊勢崎市 日乃出町643-7 | | |
| | 事業内容 | 精密钣金加工業 | | |
| 事業規模 | 資本金 | 10000 | 千円 | |
| | 従業員数 | 25 | 人 | |

1 環境基本方針

不良ゼロを目指し、地域社会の環境保全のため、資源節約、省エネ、リサイクル、廃棄物の削減、汚染の予防に取り組めます。

また、法規制、その他の要求事項を順守し、全社員が一致協力し、環境マネジメントシステムの有効性を継続的に改善します。

資源、エネルギー消費の効率的運用
環境に配慮した資材の活用
製造活動により発生するすべての廃棄物の抑制と適正処理

2 取組実績

| |
|--|
| |
| |
| |
| |
| |

環境GS認定事業者報告書(平成19年度)

| | | | | |
|----------------|-------|--------------------------|----|--|
| 認定番号 190389 | 名 称 | 株式会社コウショウ | | |
| | 代表者氏名 | 代表取締役 福田幸雄 | | |
| | 所在地 | 高崎市 倉賀野町2439 | | |
| | 事業内容 | 一般区域貨物自動車運送事業(関自貨2第608号) | | |
| 事業規模 | 資本金 | 30000 | 千円 | |
| | 従業員数 | 24 | 人 | |

1 環境基本方針

法令規則を遵守して、環境にやさしい経営を目指します。
 【重点目標】
 (1)環境保護条例、自動車NOx・PM改正に対応したディーゼル車排出ガス削減に向けた取り組みを着実に推進する。
 (2)燃費管理を実施し、エコドライブを推進する。
 (3)法令遵守し、廃棄物の適正処理を行います。
 (4)各休憩所、乗務員詰所に本方針を掲示し全社員に教育指導をし周知徹底をし、その推進と維持に努める。
 目標燃費1.0%/年の向上 2010年に2006年対比5.0%の向上を達成する

2 取組実績

| |
|---------------------------|
| 構内でのアイドリング ストップ状況の審査(週1回) |
| 低燃費車の導入(1台) |
| 月初の安全会議上での急発進・急ブレーキ厳禁の指示 |
| 車速調査と提示公開 |
| 添乗指導 |

| | | | | |
|----------------|-------|-------------------|----|--|
| 認定番号 190392 | 名 称 | 正田醤油株式会社 | | |
| | 代表者氏名 | 代表取締役社長 正田隆 | | |
| | 所在地 | 館林市 栄町3番1号 | | |
| | 事業内容 | 醤油の醸造と加工調味料類の製造販売 | | |
| 事業規模 | 資本金 | 100000 | 千円 | |
| | 従業員数 | 373 | 人 | |

1 環境基本方針

1.商品開発・生産・販売活動すべてにおいて、地球温暖化防止、省エネルギー、省資源、廃棄物の削減、再資源化に努めます。
 2.環境法令など遵守するとともに、自主基準を設定し、一層の環境保全を図ります。
 3.環境目的・目標を定め、PDCAサイクルをまわすことで、環境マネジメントシステムの継続的改善と環境負荷の低減に努めます。
 4.環境活動への意識向上を図り、全員で環境改善に取り組みます。

2 取組実績

| |
|---------------------|
| 「正田Eco-style」 |
| 節電ルールの実施と温度管理責任者の設置 |
| エコドライブの推進 |
| 棚卸資産廃棄削減 |
| 再利用率の維持向上 |

環境GS認定事業者報告書(平成19年度)

| | | | | |
|----------------|--------------|--|----------|----|
| 認定番号 190393 | 名 称 代表者氏名 | 日本シイエムケイ株式会社KIBANセンター KIBANセンター工場長 石原一樹 | | |
| | 所 在 地 | 伊勢崎市 戸谷塚町48-1 | | |
| | 事 業 内 容 | プリント配線板製造 | | |
| | 事 業 規 模 | 資 本 金 | 22306200 | 千円 |
| | | 従 業 員 数 | 459 | 人 |

1 環境基本方針

日本シイエムケイ株式会社 KIBANセンターは、プリント配線板の製造工場として環境問題に積極的に取り組み、地域社会と密接な連携を保ちながら環境活動を推進する。

1. エネルギーの削減
2. 廃棄物の削減及びリサイクル化

2 取組実績

| |
|-------------------------|
| 工場空調見直しによる冷温水発生機使用廃止 |
| インバータ式エアーコンプレッサーへの更新 |
| 生産設備(乾燥機)の稼働見直しによる省エネ停止 |
| 工程改善、作業改善による生産設備稼働時間の短縮 |
| 強酸産廃処理を自社排水処理に変更 |

環境GS認定事業者報告書(平成19年度)

| | | | | |
|----------------|--------------|--|-------|----|
| 認定番号 190395 | 名 称 代表者氏名 | 株式会社エス・エス・ニジュウイチ 北関東事務所 代表取締役 黒河泰治 | | |
| | 所 在 地 | 大泉町 吉田1221-17 | | |
| | 事 業 内 容 | フルオロカーボン冷媒の製造、卸販売業、フロン回収業等(フロン回収業:100006号) | | |
| | 事 業 規 模 | 資 本 金 | 10000 | 千円 |
| | | 従 業 員 数 | 7 | 人 |

1 環境基本方針

| |
|--|
| <p>基本理念 環境・安全・健康の確保及び品質の改善・向上が経営の基盤であることを認識し、地球環境等に配慮した技術・製品サービスを提供し、以って持続的発展可能な社会の構築に貢献します。</p> <p>行動指針</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 法の遵守: 事業及び環境に関する法規制を遵守するとともに、政府や地域行政の施策等に協力します。 2. 環境保全: 事業活動において取り扱うフルオロカーボンガスの排出を極力抑制するとともに、廃棄物等のリユースやリサイクルを進め、さらに燃料・電力等の省エネルギーを積極的に推進します。 3. 環境に貢献する事業の展開: ビジネスパートナーの環境保全活動に協力するとともに、環境問題の解決のための技術開発を進めて環境の改善に貢献していきます。 4. 社会との連携による地球環境の改善への貢献: 全従業員の環境配慮意識の向上を図り、お客様や地域社会とともに環境負荷の低減に取り組んでいきます。 |
|--|

2 取組実績

| |
|--------------------------|
| 社用車をハイブリッド車に買い替え |
| 蛍光灯に反射板を取り付け、3分の1を常時消灯 |
| 昼休み時及び非使用場所の消灯の徹底 |
| 空調温度の適正化(冷房28℃, 暖房20℃) |
| 南側窓辺に葦簾(よしず)を設置し、直射日光を遮断 |

環境GS認定事業者報告書(平成19年度)

| | | | | |
|----------------|--------------|-----------------------------|------|----|
| 認定番号 190396 | 名 称 代表者氏名 | 有限会社クラッシングセンター 代表取締役 池田清 | | |
| | 所 在 地 | 伊勢崎市 下触町435-1 | | |
| | 事 業 内 容 | 再生アスコン用再生骨材及び路盤用再生砕石の製造・販売 | | |
| | 事 業 規 模 | 資 本 金 | 3000 | 千円 |
| | | 従 業 員 数 | 12 | 人 |

1 環境基本方針

当社は、再生アスファルト用再生骨材、路盤用の再生砕石をメインとした、再生土木材料の専門会社として、顧客の皆様喜んでいただける商品を提供すると共に、環境に配慮した商品・サービスをお届けいたします。
 当社に相応しい環境マネジメントを構築し、全員参加により、継続的改善に取り組み、環境汚染の予防と、環境保全に努めます。
 環境関連の法律・規則と当社が同意する要求事項を遵守いたします。
 この方針に沿って、環境目的及び目標を設定し、かつ見直しを行い環境負荷の少ない企業活動を目指します。

2 取組実績

| |
|--------------------------|
| 破砕施設上屋内の照明・施設の適正な運転管理の実施 |
| エコドライブの組織的な実施 |
| 空調温度の適正化(冷房28、暖房20) |
| 両面コピーの徹底 |
| 社内のリサイクル体制の整備 |

環境GS認定事業者報告書(平成19年度)

| | | | |
|----------------|-------|---|----|
| 認定番号 190397 | 名 称 | サラフジ株式会社 | |
| | 代表者氏名 | 代表取締役 佐藤純司 | |
| | 所在地 | 榛東村 広馬場3585-6 | |
| | 事業内容 | シャッター関連製品、搬送設備、クレーン、環境関連機器等の設計、製作及び付帯サービス | |
| 事業規模 | 資本金 | 20000 | 千円 |
| | 従業員数 | 45 | 人 |

1 環境基本方針

(基本理念)

私たちの地球はかけがえのないものであり、健全な状態を次世代に引き継いでいくために、私たちは環境に対する配慮を怠ってはなりません。当社はシャッター関連製品・搬送設備・クレーン、環境関連機器やプラント等の設計・製作・施工などの事業活動を通じて社会に貢献するとともに、経営者も社員も一体となり、可能な限り環境保全に努めてまいります。こうした考えを明確にし、社会的責任を果たすために常に次の方針を念頭において事業に取り組み、地球環境に調和し、地域住民・顧客・社員・その他の利害関係者から信頼される事業者であり続けるよう、企業の発展と環境保全の両立を図ってまいります。

(環境方針)

- (1) 環境への影響を調査及び評価し、主な要因を効果的に低減または削減し、汚染を予防するため、技術的・経済的に可能な範囲で達成すべき環境目的及び環境目標を定めます。
- (2) そのために計画を立案し、実施し、成果を評価して見直し、さらなる改善目的及び目標につなげるための環境マネジメントシステムを構築し、継続的に改善します。
- (3) 環境に関する法規法令・規制・条例・協定・その他の合意事項を遵守するのみならず、自主的な環境管理基準を策定し、一層の環境保全を図ります。
- (4) 全社員への環境方針の理解、環境に関する意識向上を図るため必要な教育訓練を行い、なすべき行動がとれる人材に育成します。
- (5) 工場内の5Sの促進を通じた美化運動を推進します。
- (6) 次の項目については、積極的に推進します。

資源対策：設計を通じた原材料の有効利用

温暖化対策：電気・ガス・燃料の節減

汚染対策：排ガス・廃油・廃液などの抑制と適正管理

廃棄物対策：産業廃棄物の排出削減とリサイクルの推進

基本理念及び環境方針は、全社員に周知するとともに、社内外にも開示し、求めに応じて一般の人にも入手できるようにします。また、主な協力会社及び原材料納入業者にも呼びかけて、本方針に沿っての企業活動を求めてまいります。

2 取組実績

| |
|-------------------------------|
| 安全適正運転の推進による、ガソリン・軽油の節減 |
| 昼休みの消灯、非使用場所での消灯の徹底 |
| 鉄屑・タンポール・木屑・用紙などの分別と、リサイクルの徹底 |
| 裏紙の使用、両面北への励行 |
| 設計を通じた鋼材の有効使用と、端材発生抑制 |

環境GS認定事業者報告書(平成19年度)

| | | | | |
|----------------|-------|---|----|--|
| 認定番号 190398 | 名 称 | 三峰工業株式会社 | | |
| | 代表者氏名 | 代表取締役 村上慎一 | | |
| | 所在地 | 榛東村 広馬場2234 | | |
| | 事業内容 | 廃プラスチック油化装置の設計・製作、焼却施設における構造・維持管理基準を満たす為の対策工事 等 | | |
| 事業規模 | 資本金 | 10000 | 千円 | |
| | 従業員数 | 12 | 人 | |

1 環境基本方針

地球温暖化が人類共通の緊要な問題であることを認識し、次の基本方針に則し、社員一人一人が自覚をもって事業活動及び私生活のあらゆる面において、環境に配慮した行動を実践する。

1. CO2の排出が持続的に削減できる事業活動を維持する為の社内体制の整備に努める。
2. すべての社員が環境問題に対する理解を深め行動できる様、環境教育の充実に努める。
3. CO2の排出量が少ない製品の開発、3Rの普及に努める。

2 取組実績

| |
|---------------------------------|
| 空調温度の適正化(冷房28、暖房20) |
| 昼休み、休憩時間の消灯、非使用場所の消灯の徹底 |
| ハ・パ・レスを推進し、社員同士のコミュニケーションを図る |
| 使い捨て製品の購入を抑制する |
| 通勤時の自家用車の乗り合いを促進し、社用車も省エネ車利用の促進 |

| | | | | |
|----------------|-------|--|----|--|
| 認定番号 190399 | 名 称 | 有限会社横手製作所 | | |
| | 代表者氏名 | 代表取締役 横手孝輔 | | |
| | 所在地 | 渋川市 金井190 | | |
| | 事業内容 | 金属加工業(プレス・精密板金)、通信機器、医療機器、設備等の筐体・メカ部品の製造 | | |
| 事業規模 | 資本金 | 10000 | 千円 | |
| | 従業員数 | 24 | 人 | |

1 環境基本方針

「環境負荷の低減活動を通じて経営基盤の充実と地球環境保全に貢献する」という理念のもとに、企業活動を通じて人類の健康と安全に寄与し、かけがえない地球の環境と共存する企業を目指して、下記の基本方針を定める。

- 1) 事業活動、製品において、環境影響に適切に対応する環境管理活動を実施し、社会的要求に応え、「美しい日本」づくりに寄与いたします。
- 2) 環境目的及び目標を定め、その達成の為最善の努力をする。又継続的改善を図り、汚染の予防に努め、環境目的及び目標は、逐次見直しをする。
- 3) 環境関連法規、協定及びその他の要求事項を遵守し、環境の保全と向上に努める。
- 4) 全社員が環境方針を理解、周知徹底が図れるよう、本方針に則した環境教育を実施する。

2 取組実績

| |
|---------------------------|
| 旧式抵抗率クーラーから、省エネタイプクーラーの入替 |
| 不要電灯の消灯実施。標語シール併用。 |
| コピー用紙、封筒の再利用化実施。 |
| 不良品の低減による破棄低減。加工仕損の低減 |
| 車両アイドリングストップの実施。標語シールの併用 |

環境GS認定事業者報告書(平成19年度)

| | | | | |
|----------------|--------------|------------------------------|-------|----|
| 認定番号 190400 | 名 称 代表者氏名 | 株式会社ワーテックス 代表取締役 安俊典 | | |
| | 所 在 地 | 太田市 東新町32番 | | |
| | 事 業 内 容 | 液晶関係・車両後方確認支援システムなどの開発・製造・販売 | | |
| | 事 業 規 模 | 資 本 金 | 65000 | 千円 |
| | | 従 業 員 数 | 24 | 人 |

1 環境基本方針

社員一人一人が自覚をもって、地球環境問題に関心をもち普段の生活からも無駄をなくしていくよう心がけ省エネなどを実践していく。
地球温暖化問題については、温室効果ガスの排出を削減できる事業活動推進の社内体制を整えていく。社員への環境教育に努める。開発する製品についても、環境問題改善に努める。

2 取組実績

| |
|-----------------------|
| 休憩時間・非使用場所の消灯の徹底 |
| 各水まわりへの節水シールを貼り、節水の徹底 |
| 両面コピーの徹底 |
| 空調温度の適正化に努める |
| 社内リサイクル・もったいない意識の向上 |

環境GS認定事業者報告書(平成19年度)

| | | | | |
|----------------|---------|-----------------|----|--|
| 認定番号 190401 | 名 称 | 株式会社千代田製作所本社・工場 | | |
| | 代表者氏名 | 代表取締役社長 大江通浩 | | |
| | 所 在 地 | 太田市 西新町126-2 | | |
| | 事 業 内 容 | 自動車部品の製造・販売 | | |
| 事 業 規 模 | 資 本 金 | 99990 | 千円 | |
| | 従 業 員 数 | 170 | 人 | |

1 環境基本方針

豊かな未来社会の創造のため、事業活動の質を高め、人と地球に優しい製品と環境づくりに努めます。

1. 自動車用プラスチック製品及びワイヤーハーネスを主体とした製品の設計・開発から製造、サービス及び廃棄までの全ての事業活動について、環境への影響を考慮して、継続的改善に努めます。
2. 事業活動に伴う、廃棄物及び環境汚染物質の管理・削減を図るとともに環境汚染の予防に取り組み、関連法規や約束等を順守いたします。
3. 事業活動に伴う、電気等のエネルギー削減及び資源のリデュース、リユース、リサイクル等の有効活用を積極的に推進いたします。
4. 環境目的・目標を明確に設定し、組織的に推進すると共に年1回以上の見直しを実施し、環境問題を解決していきます。
5. 『継続的な改善と環境汚染の未然防止』の重要性を認識し、一人一人が自覚と自律を持った行動と、地域社会の交流に積極的に参加し、環境保護活動に協力いたします。

2 取組実績

| |
|-------------------|
| 樹脂成形機の稼働率管理 |
| 休憩時間の消灯の徹底 |
| 休日出勤の抑制 |
| 不良率低減活動 |
| 省エネ機(電動成形機)の効率的活用 |

環境GS認定事業者報告書(平成19年度)

| | | | | |
|----------------|---------|-----------------|----|--|
| 認定番号 190402 | 名 称 | 株式会社千代田製作所 新田工場 | | |
| | 代表者氏名 | 代表取締役社長 大江通浩 | | |
| | 所 在 地 | 太田市 新田小金井町320-5 | | |
| | 事 業 内 容 | 自動車部品の製造・販売 | | |
| 事 業 規 模 | 資 本 金 | 99990 | 千円 | |
| | 従 業 員 数 | 130 | 人 | |

1 環境基本方針

豊かな未来社会の創造のため、事業活動の質を高め、人と地球に優しい製品と環境づくりに努めます。

1. 自動車用プラスチック製品及びワイヤーハーネスを主体とした製品の設計・開発から製造、サービス及び廃棄までの全ての事業活動について、環境への影響を考慮して、継続的改善に努めます。
2. 事業活動に伴う、廃棄物及び環境汚染物質の管理・削減を図るとともに環境汚染の予防に取り組み、関連法規や約束等を順守いたします。
3. 事業活動に伴う、電気等のエネルギー削減及び資源のリデュース、リユース、リサイクル等の有効活用を積極的に推進いたします。
4. 環境目的・目標を明確に設定し、組織的に推進すると共に年1回以上の見直しを実施し、環境問題を解決していきます。
5. 『継続的な改善と環境汚染の未然防止』の重要性を認識し、一人一人が自覚と自律を持った行動と、地域社会の交流に積極的に参加し、環境保護活動に協力いたします。

2 取組実績

| |
|-------------------|
| 樹脂成形機の稼働率管理 |
| 休憩時間の消灯の徹底 |
| 休日出勤の抑制 |
| 不良率低減活動 |
| 省エネ機(電動成形機)の効率的活用 |

環境GS認定事業者報告書(平成19年度)

| | | | | |
|----------------|-------|---------------|----|--|
| 認定番号 190403 | 名 称 | 株式会社ミツバ 富岡工場 | | |
| | 代表者氏名 | 工場長 新井邦彦 | | |
| | 所在地 | 富岡市 富岡1259 | | |
| | 事業内容 | 自動車部分品・附属品製造業 | | |
| 事業規模 | 資本金 | 9885000 | 千円 | |
| | 従業員数 | 178 | 人 | |

1 環境基本方針

自動車用電装品の開発、製造及び販売を主体とした事業活動を通して、環境に配慮した行動を実践し、持続的発展が可能な社会の実現を目指します。

1) 私たちは、環境負荷の少ない事業活動を展開します。

2) 私たちは、廃棄物発生、資源消費、エネルギー消費の継続的な改善を積極的に進めるとともに、汚染の予防に努めます。

3) 私たちは、法的要求事項及び当社が同意するその他の要求事項順守します。

4) 私たちは、環境保全に関する意識向上を図るため、全従業員に環境教育、社内啓発活動を実施します。

これらを実践し継続的な改善ができるよう環境マネジメントシステムを構築し、改善目標を定め達成状況を管理します。

2 取組実績

| |
|---|
| 成形機24h稼働による立ち上げロスの削減 |
| 工場全体の蛍光灯の間引きや、消灯 |
| 設備のハイサイクル化による生産性向上 |
| 製品アーケードに、人感センサーを取付けて照明を夜間だけ水銀灯から蛍光灯に切り替える |
| COOL BIZ採用により室温設定を1 高くする |

| | | | | |
|----------------|-------|-------------------------|----|--|
| 認定番号 190404 | 名 称 | 月夜野電子株式会社 | | |
| | 代表者氏名 | 取締役工場長 林富雄 | | |
| | 所在地 | みなかみ町 後閑1500番地 | | |
| | 事業内容 | 電子部品製造(巻線インダクタ、円筒コンデンサ) | | |
| 事業規模 | 資本金 | 210000 | 千円 | |
| | 従業員数 | 104 | 人 | |

1 環境基本方針

かけがえのない地球を将来の世代に引き継ぐため、事業活動が与える環境影響を低減し地球環境保全に貢献します。

事業活動が与える環境負荷を低減すると共に法規制を順守すべく、以下の項目に取り組みます。

省エネ・省資源活動に積極的に取り組み、環境負荷と原価低減を図ります。

環境リスクマネジメントを実施し、環境事故の発生及び法規制からの逸脱を未然に防止します。

環境及び人体に有害な化学物質の全廃・削減を推進します。

2 取組実績

| |
|----------------------|
| 筒焼成炉統合による電気削減 |
| 電極焼成炉の空き時間の設備停止 |
| 昼休憩時間の消灯、非使用場所の消灯の徹底 |
| 空調温度設定(夏期28、冬期20)を順守 |
| 退社時のスイッチの確認 |

環境GS認定事業者報告書(平成19年度)

| | | | | |
|----------------|--------------|------------------------|-------|----|
| 認定番号 190405 | 名 称 代表者氏名 | 株式会社テクニカ 代表取締役 荒井武夫 | | |
| | 所 在 地 | 邑楽町 篠塚1373 | | |
| | 事 業 内 容 | 超音波洗浄装置、脱気装置等の製造 | | |
| | 事 業 規 模 | 資 本 金 | 10000 | 千円 |
| | | 従 業 員 数 | 5 | 人 |

1 環境基本方針

省エネルギー対策イコール地球環境保護、そして地球温暖化防止に寄与すると認識し、全ての事業活動において環境を最優先に考え、実践する。

1. エネルギーを継続して削減できる事業活動を実践する為、社内の体制の見直し、整備に努力する。
2. 事業活動のみでなく、普段の活動も環境問題を考えた行動ができる様、周知徹底する。
3. 自然エネルギーの有効利用を図る為の設備及び装置の開発に努力する。

2 取組実績

| |
|-------------------------|
| 空調温度(冷房28、暖房20)実施 |
| 昼休み、休憩時間の消灯、非使用場所の消灯の徹底 |
| 両面コピーの徹底、FAX用紙のリサイクル |
| 社内のリサイクル体制を整備する |
| 使い捨て製品の購入を抑制する |

| | | | | |
|----------------|--------------|-----------------------------|------|----|
| 認定番号 190406 | 名 称 代表者氏名 | 有限会社田村軽合金鋳造所 代表取締役 田村貢一郎 | | |
| | 所 在 地 | 明和町 矢島1017 | | |
| | 事 業 内 容 | アルミ鋳造業 | | |
| | 事 業 規 模 | 資 本 金 | 5000 | 千円 |
| | | 従 業 員 数 | 15 | 人 |

1 環境基本方針

「地球環境の保護」「資源エネルギーの保全」を理念とし素形材産業の全ての事業活動に於いて環境負荷を抑制し地球保全活動を推進します。

1. 環境負荷軽減の目標を定め実施状況を確認し継続的な改善を推進し環境汚染防止に努める。
2. 原材料、エネルギーなどの利用の効率化を図り資源リサイクルに努める。
3. 環境の意識向上を図るために社員への環境教育に努める。

2 取組実績

| |
|----------------------|
| 空調温度の適正化 |
| 休憩時間等の消灯、非使用場所の消灯の徹底 |
| 使用済み用紙の裏面利用の徹底 |
| 原材料のリサイクルの徹底 |
| 残土の排出量の削減 |

環境GS認定事業者報告書(平成19年度)

| | | | | |
|----------------|--------------|---------------------|------|----|
| 認定番号 190407 | 名 称 代表者氏名 | 朝日税理士法人 代表社員 大西勉 | | |
| | 所 在 地 | 高崎市 昭和町69番地 | | |
| | 事 業 内 容 | 税理士業 | | |
| | 事 業 規 模 | 資 本 金 | 8000 | 千円 |
| | | 従 業 員 数 | 18 | 人 |

1 環境基本方針

次の基本方針に則し、社員一人一人が自覚をもって事業活動のあらゆる面において環境に配慮した行動を実践する。

1. 温室効果ガスの排出が持続的に削減できる事業活動を推進するための社内体制の整備に努める。
2. すべての社員が環境問題に対する理解を深め行動できるよう環境教育の充実に努める。

2 取組実績

| |
|--------------------|
| 昼休みの消灯、非使用場所の消灯の徹底 |
| |
| |
| |
| |

| | | | | |
|----------------|--------------|---|-------|----|
| 認定番号 190408 | 名 称 代表者氏名 | 新日本精工株式会社 代表取締役 高橋芳和 | | |
| | 所 在 地 | 高崎市 上豊岡町982 | | |
| | 事 業 内 容 | <small>金属プレス加工、金型設計製作、機械加工、各種溶接、排ガス洗浄装置、自動メッキ装置、廃水処理装置、耗水装置、各種耐蝕機器、各種ダクト、配管工事</small> | | |
| | 事 業 規 模 | 資 本 金 | 10000 | 千円 |
| | | 従 業 員 数 | 30 | 人 |

1 環境基本方針

豊かな自然環境を次世代へと残して行く事が企業の責任であると考えている。地域や地球の環境保全を行い、プレス加工において限りある資源を有効に使い環境負荷を低減しお客様に喜ばれる企業活動を行う。

2 取組実績

| |
|-------------|
| アイドリングストップ |
| 空調の28 化の推進 |
| 昼休み時間の消灯の徹底 |
| |
| |

環境GS認定事業者報告書(平成19年度)

| | | | | |
|----------------|-------|---|----|--|
| 認定番号 190409 | 名 称 | 重田商事株式会社 | | |
| | 代表者氏名 | 代表取締役 菅原健司 | | |
| | 所 在 地 | 孺恋村 大字芦生田205番地 | | |
| | 事業内容 | 建物解体業、産業廃棄物中間処理(許可番号1020007219)、一般建設業(群馬県知事許可(般-15)第19012号) | | |
| 事業規模 | 資本金 | 10000 | 千円 | |
| | 従業員数 | 37 | 人 | |

1 環境基本方針

| |
|---|
| <p>(基本理念) 重田商事株式会社は建物解体業、廃棄物収集運搬業・廃棄物中間処理業・リサイクル業として廃棄物の「発生抑制」「再使用」「適正処理」に取り組んでいます。 今後も地球環境及び地域環境に密接に関わっていることを深く認識し、事業活動を通じて環境保全及び循環型社会形成に貢献します。</p> <p>(基本方針)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 当社の活動によって生じる環境側面を認識し、下記事項を目的として環境汚染の予防・環境負荷の低減・省資源・省エネルギー・リサイクル推進に努めます。 <ul style="list-style-type: none"> 重機・車両による軽油の消費削減 設備及び事務所における電力の消費削減 再生品の販売促進 廃プラスチック類の再生利用促進 2) 当社は環境に関わる環境関連法規制、及び当社が同意するその他の要求事項を順守します。 3) 当社は環境目的・環境目標を設定し実施すると共に、定期的な見直しを行い、環境マネジメントシステムを構築し、継続的な改善を行います。 4) 当社の環境方針は全構成員に周知徹底し、環境意識の向上をはかります。 5) 当社の環境方針は一般公開します。さらにお客様とのコミュニケーションを大切に、循環型社会形成を進めます。 |
|---|

2 取組実績

| |
|----------------------------|
| 古い重機を新型に変更 |
| 省エネ研修会の実施 |
| エコドライブの推進 |
| 各サイトでの省エネ活動(作業効率UPによる省エネ等) |
| |

環境GS認定事業者報告書(平成19年度)

| | | | | |
|----------------|-------|-------------------|----|--|
| 認定番号 190410 | 名 称 | 株式会社井上整備センター | | |
| | 代表者氏名 | 取締役社長 井上紳一 | | |
| | 所在地 | 高崎市 倉賀野町3369番地 | | |
| | 事業内容 | 建設機械の販売、整備及び機材の販売 | | |
| 事業規模 | 資本金 | 20000 | 千円 | |
| | 従業員数 | 20 | 人 | |

1 環境基本方針

かけがえのない地球環境のたまものである水と空気を大切に使い、且つ可能な限り環境へ負担をかけるない経営を目指し、建設機械の販売・修理業という事業活動とともに、以下の項目について環境目標を定め自主的な活動に取り組みます。

1. 環境に配慮した新車、中古車、部品と点検・整備の提供に努める。
2. 排出する物のリサイクルの推進並びに廃棄物の削減及び適切な処理に努める。
3. CO2排出削減量の削減に努める。
4. グリーン購入を推進し、環境負荷が少ない物を購入、使用するよう努める。
5. 水の適正使用に努めるとともに排水の水質に配慮します。

2 取組実績

| |
|--|
| 冷暖房機の温度適正化実施(冷房27、暖房21)励行 |
| 昼休み、休憩時間及び終業時間後の不要な電気消灯の徹底 |
| 5S活動による大容量機器類(コンプレッサー、クレーン等)の効率的運用とエコ運転励行 |
| 廃棄物を担当者によりチェックシートに量を記録し管理 |
| 建設機械の洗車は的確に行い、夏場の水まきは朝夕1回行う。水道水と地下水にの排出量を確認記録し管理 |

| | | | | |
|----------------|-------|----------------------------------|----|--|
| 認定番号 190411 | 名 称 | 株式会社内外 | | |
| | 代表者氏名 | 代表取締役 齊藤哲夫 | | |
| | 所在地 | 榛東村 広馬場3059 | | |
| | 事業内容 | 自動車部品の製造(主にターボチャージャー用コンプレッサーカバー) | | |
| 事業規模 | 資本金 | 96000 | 千円 | |
| | 従業員数 | 27 | 人 | |

1 環境基本方針

- a. 当社の業である鋳物造りにおいて、省資源の推進、省エネルギーの推進、廃棄物の削減及びリサイクル推進などに積極的に取り組み、環境保全の向上に努める。
- b. 環境管理体制を整備し、継続的な改善と汚染の予防に努める。
- c. 環境法規制及び利害関係者との同意事項を遵守する。
- d. 活動の推進にあたっては、環境目的及び環境目標を設定する。また定期的な見直しを実施する。
- e. 本方針を文書化し、全社員に周知徹底し、その推進と維持に努める。
- f. 本方針は、社外から要求があれば開示する。

2 取組実績

| |
|----------------------------|
| アルミ溶解保持炉の変更(保持をLPGから電気に変更) |
| 年度毎に改善活動を実施 |
| |
| |

環境GS認定事業者報告書(平成19年度)

| | | | | |
|----------------|---------|-------------------------|----|--|
| 認定番号 190412 | 名 称 | 株式会社しみづ農園 | | |
| | 代表者氏名 | 代表取締役 清水一秋 | | |
| | 所 在 地 | 高崎市 柴崎町1563番地 | | |
| | 事 業 内 容 | 造園緑化、景観照明、(特19 - 第453号) | | |
| 事 業 規 模 | 資 本 金 | 30000 | 千円 | |
| | 従 業 員 数 | 10 | 人 | |

1 環境基本方針

・積極的な緑化推進 / 緑化啓発 / 美化を行います。
 ・天然資源の有効活用を行います。
 ・環境関連法規制を遵守します。
 ・造園業が環境に有益な仕事であるという自覚と自負をもち、自らの業務の継続的な見直しと改善に努めます。

2 取組実績

| |
|------------------------|
| 空調温度の適正化(冷房28、暖房20) |
| 昼休みや非使用場所の消灯を実施 |
| 高効率蛍光灯の設置を推進 |
| 使用しないコンピュータ機器の電源オフを徹底 |
| 薪ストーブの燃料として剪定樹木の枝などを使用 |

| | | | | |
|----------------|---------|-------------------------|----|--|
| 認定番号 190413 | 名 称 | 株式会社三共エクセル本社工場 | | |
| | 代表者氏名 | 代表取締役社長 池田忠雄 | | |
| | 所 在 地 | みどり市 笠懸町久宮68 | | |
| | 事 業 内 容 | 遊技機およびその他の射出成形品の製造、組立加工 | | |
| 事 業 規 模 | 資 本 金 | 250000000 | 千円 | |
| | 従 業 員 数 | 91 | 人 | |

1 環境基本方針

地球温暖化問題等の環境問題は人類の共通の課題であることを認識し、次の基本方針に基づき、従業員一人一人が自覚を持って、事業活動のあらゆる面において環境に配慮した行動を実践する。
 1. 温室効果ガスの排出が持続的に削減できる事業活動を推進するための社内体制の整備に努める。
 2. 環境に影響を与える化学物質の管理体制の整備に努める。
 3. すべての従業員が環境問題に対する理解を深め行動できるように、環境教育の充実に努める。

2 取組実績

| |
|------------------------------------|
| 受注拡大(高付加価値製品を含む)による設備稼働率の向上と売上高の増大 |
| 新工場建設による設備、作業場の集約 |
| 非使用場所の消灯の徹底 |
| 構内、客先でのアイドリングストップの徹底 |
| 会議資料、管理文書等のペーパーレス化の推進 |

環境GS認定事業者報告書(平成19年度)

| | | | | |
|----------------|-------|---------------------------|----|--|
| 認定番号 190414 | 名 称 | 有限会社町田製作所 | | |
| | 代表者氏名 | 代表取締役社長 町田仲廣 | | |
| | 所在地 | 前橋市 公田町324-1 | | |
| | 事業内容 | アルミニウム製品(主にヒートシンク)の精密機械加工 | | |
| 事業規模 | 資本金 | 1000 | 千円 | |
| | 従業員数 | 25 | 人 | |

1 環境基本方針

「群馬環境GS認定制度」に賛同し地球温暖化対策への取り組みとして、次の基本方針に沿った行動を社員一丸となって実践する。

1. 二酸化炭素等の温室効果ガス削減に向けた社内体制の整備を計る。
2. 全社員が地球環境に関心を持ち、理解を深め行動出来る様に、情報の提供や環境教育の場を広める。
3. 限り有る地球資源の有効活用に努める。

2 取組実績

| |
|----------------------------|
| 空調温度の適正化(冷房28、暖房20)の実施 |
| 休憩時間や非使用場所の消灯を徹底 |
| 両面コピーの徹底 |
| アイドリング・ストップを一人一人が実施 |
| 蛍光灯交換時には、省エネタイプの蛍光灯を積極的に導入 |

| | | | | |
|----------------|-------|------------------------|----|--|
| 認定番号 190415 | 名 称 | 富田電機株式会社 | | |
| | 代表者氏名 | 代表取締役社長 川本慶子 | | |
| | 所在地 | 大泉町 吉田2479 | | |
| | 事業内容 | コンプレッサー用モータ、各種ワイヤーハーネス | | |
| 事業規模 | 資本金 | 86400 | 千円 | |
| | 従業員数 | 209 | 人 | |

1 環境基本方針

企業活動を通じ「人と環境に優しい」をモットーに主要製品であるコンプレッサ用電動コイル及びワイヤーハーネスの生産・サービス等あらゆる面で環境の保全に配慮して行動します。

- ・地球温暖化の予防を図るため生産活動に関わる省エネルギー対策として電力使用量の低減を図ります。
- ・資源の有効利用を図るため廃棄物の削減を推進します。

2 取組実績

| |
|---------------------|
| 屋上重油タンク・地下重油タンクの撤去 |
| 事務関係用紙のリサイクル化 |
| ボイラー撤去 |
| クーリングタワー撤去 |
| 空調温度の適正化(冷房28、暖房20) |

環境GS認定事業者報告書(平成19年度)

| | | | | |
|----------------|-------|-----------------|----|--|
| 認定番号 190416 | 名 称 | 株式会社オリエント 沼田サイト | | |
| | 代表者氏名 | 代表取締役社長 杉本進 | | |
| | 所在地 | 沼田市 恩田町376-1 | | |
| | 事業内容 | 各種木製品及び電子機器製造 | | |
| 事業規模 | 資本金 | 200000 | 千円 | |
| | 従業員数 | 223 | 人 | |

1 環境基本方針

環境マネジメントシステムを見直し、確立し、実行し、継続的な改善を行うことにより地球環境への負荷を削減し、全従業員が一丸となって地球環境保全に積極的に取り組むことにより、自然環境との共生、調和を目指し社会と地域に対する責任を果たします。

株式会社オリエントは、森林文化都市 沼田市に位置し、木材、木製品及びテレビ関連機器・各種電子機器を製造、販売していることを踏まえ、以下の方針に基づき環境保全活動を行います。

1. 当社の事業活動、製品及びサービスにおいて生じている環境側面を認識し、環境汚染防止に努める。
2. 当社の事業活動に関連する環境の法規制、及び当社が同意するその他の要求事項を遵守します。
3. 当社の事業活動・サービスに関わる環境側面のうち、環境影響評価の結果を考慮して、特に以下の項目に取り組む為、具体的な行動計画を策定し、継続的改善を実行します。

2 取組実績

| |
|-----------------------------------|
| 増産に伴う新規設備の省エネ対策と間接部門の節電。デマンド管理の強化 |
| エアー漏れ点検と保守 |
| 環境パトロールによる監視強化 |
| リサイクル推進の強化 |
| |

| | | | | |
|----------------|-------|----------------------|----|--|
| 認定番号 190417 | 名 称 | 株式会社オリエント 第一事業部 高山工場 | | |
| | 代表者氏名 | 代表取締役社長 杉本進 | | |
| | 所在地 | 高山村 大字中山6408 | | |
| | 事業内容 | 各種木製品製造 | | |
| 事業規模 | 資本金 | 200000 | 千円 | |
| | 従業員数 | 118 | 人 | |

1 環境基本方針

環境マネジメントシステムを見直し、確立し、実行し、継続的な改善を行うことにより地球環境への負荷を削減し、全従業員が一丸となって地球環境保全に積極的に取り組むことにより、自然環境との共生、調和を目指し社会と地域に対する責任を果たします。

株式会社オリエントは、森林文化都市 沼田市に位置し、木材、木製品及びテレビ関連機器・各種電子機器を製造、販売していることを踏まえ、以下の方針に基づき環境保全活動を行います。

1. 当社の事業活動、製品及びサービスにおいて生じている環境側面を認識し、環境汚染防止に努める。
2. 当社の事業活動に関連する環境の法規制、及び当社が同意するその他の要求事項を遵守します。
3. 当社の事業活動・サービスに関わる環境側面のうち、環境影響評価の結果を考慮して、特に以下の項目に取り組む為、具体的な行動計画を策定し、継続的改善を実行します。

2 取組実績

| |
|-----------------------------------|
| 増産に伴う新規設備の省エネ対策と間接部門の節電。デマンド管理の強化 |
| エアー漏れ点検と保守 |
| 環境パトロールによる監視強化 |
| リサイクル推進の強化 |
| |

環境GS認定事業者報告書(平成19年度)

| | | | | |
|----------------|--------------|--------------------------------|------|----|
| 認定番号 190418 | 名 称 代表者氏名 | 杉原エス・イー・アイ株式会社 代表取締役社長 杉原俊夫 | | |
| | 所在地 | 伊勢崎市 今井町313番地 | | |
| | 事業内容 | 電子機器の組立、ハード・ソフトの設計 | | |
| | 事業規模 | 資本金 | 6100 | 千円 |
| 従業員数 | | 160 | 人 | |

1 環境基本方針

(環境方針)

1. 省資源・再資源化:業務の効率化・情報の電子化、資源の減量化・再生化により省資源・再資源化を図ります。
 2. 省エネルギー化:空調・照明・事務用機器・生産設備機器及び車両等の使用効率の向上を図り、エネルギー消費量の削減を図ります。
- 環境意識の向上:全社員の一人一人が環境保護に努め、地域社会との共生を図ります。

2 取組実績

| |
|---------------------------|
| 設備稼働時間の効率化(運用計画) |
| 照明、空調、設備の昼休み、始業後の不要エリアOFF |
| エコドライブの徹底 |
| コピー紙再利用(裏紙、メモ利用) |
| 梱包材の再利用、廃棄物のリサイクル化推進 |

環境GS認定事業者報告書(平成19年度)

| | | | | |
|----------------|-------|-------------------|----|--|
| 認定番号 190419 | 名 称 | 清水印刷紙工株式会社群馬工場 | | |
| | 代表者氏名 | 代表取締役社長 清水宏和 | | |
| | 所 在 地 | 邑楽町 大字赤堀字鞍掛4127-1 | | |
| | 事業内容 | 印刷業・印刷物加工業 | | |
| 事業規模 | 資本金 | 38000 | 千円 | |
| | 従業員数 | 44 | 人 | |

1 環境基本方針

(基本理念)

当社は経営理念である「唯一無二な発想から生まれるGPP(グリーン・プリンティング&パッケージ)」に基づき、地球環境問題が全世界共通の取り組み課題であることを再認識し、企業責任である「環境との調和」を図り、ユニークなアプローチによる環境負荷低減を考慮した事業活動を展開する。

(環境方針)

清水印刷紙工株式会社の中核事業である印刷物製造に伴う事業活動・製品の環境影響を正確に把握し、技術的・経済的に可能な範囲で環境目的・目標を設定・レビューの枠組みを整え、環境マネジメントシステムの継続的改善を推進する。

当社社員全員が環境問題を永続的経営課題であることを再認識し、環境目的・目標・実施計画に基づいて積極的に活動することで、環境マネジメントシステムの継続的改善を推進する。

当社が行う事業活動・製品の環境への影響を考慮して汚染の予防を推進する。

* 調達・製造・廃棄(リサイクル)の各段階における環境負荷低減を配慮した印刷物(GPP)の設計を推進する。

* 事業活動に関わる環境影響を数値的に捉えることで、プラス・マイナスのインパクトを正確に算出し、環境負荷低減活動へのフィードバックを推進する。

* 資材の原材料・素原料に含有される有害化学物質の徹底管理・使用量削減・代替品への切替えを推進する。

* 環境マネジメントシステムに品質管理システムを構築することで廃棄物削減を推進する。

* 地震・風水害・火災・操作ミスによる緊急時対応システムの強化を推進する。

国・地方自治体等の環境法規制並びにその他の要求事項を遵守し、継続的な使用材料・製品設計のレビュー及び改善による自主的な環境負荷削減を実行し、その為の研究開発をする。

環境内部監査をすることで定期的なレビューを実施し、環境マネジメントシステムの自主管理による維持向上を推進する。

設定した環境方針は社内では全社員への周知徹底、社外へはこれを公表すると同時に、環境パフォーマンス評価についても社外へ公表する。

2 取組実績

| |
|---------------------|
| 空調温度の適正化(冷房25、暖房20) |
| 非使用場所の消灯の徹底 |
| 機械を効率良く使用する為の予定立案 |
| |
| |

環境GS認定事業者報告書(平成19年度)

| | | | | |
|----------------|---------|---------------|----|--|
| 認定番号 190420 | 名 称 | 有限会社キクマルファニコ | | |
| | 代表者氏名 | 代表取締役 佐山隆明 | | |
| | 所 在 地 | 板倉町 西岡新田前25-1 | | |
| | 事 業 内 容 | 家具製造 | | |
| 事 業 規 模 | 資 本 金 | 3000 | 千円 | |
| | 従 業 員 数 | 25 | 人 | |

1 環境基本方針

地球温暖化問題が人類共通の問題であることを認識し次の基本方針に則し、社員一人一人が自覚を持って、事業活動のあらゆる面において、環境に配慮した行動を実践する。

- 1 温室効果ガスの排出が持続的に削減できる事業活動を推進するための社内体制の整備に努める。
- 2 すべての社員が環境問題に対する理解を深め行動できるよう、環境教育の充実に努める。
- 3 温室効果ガスの排出量が少ない製品の開発、普及に努める。

2 取組実績

| |
|-------------|
| 空調温度の調整 |
| 昼休み、休憩時間の消灯 |
| |
| |
| |

| | | | | |
|----------------|---------|----------------|----|--|
| 認定番号 190421 | 名 称 | 協同組合群馬炊飯センター | | |
| | 代表者氏名 | 理事長 岡部富太郎 | | |
| | 所 在 地 | 前橋市 西片貝町5-11-1 | | |
| | 事 業 内 容 | 学校給食米飯加工・パン製造業 | | |
| 事 業 規 模 | 資 本 金 | 42000 | 千円 | |
| | 従 業 員 数 | 95 | 人 | |

1 環境基本方針

地球温暖化が地球全体の深刻な問題であることから、以下の基本方針を作成し、従業員全員が事業活動の全分野で環境に配慮した行動を実践します。

1. 温室効果ガス排出を持続的に削減できる事業活動を推進する社内の体制を作ります。
2. 全従業員が環境に関する学習を進め、行動できるようにします。
3. 温室効果ガス排出量の少ない配送車や製造の機械を研究し導入に努める。

2 取組実績

| |
|-------------------------------|
| 可能な限り空調の使用を中止又は温度の適正度を決め使用した。 |
| 消灯の努力 |
| 幹部の省エネ教育の推進 |
| 空調管理者の指名 |
| コピーの両面使用及び削減の推進 |

環境GS認定事業者報告書(平成19年度)

| | | | | |
|----------------|---------|--------------|----|--|
| 認定番号 190422 | 名 称 | 株式会社群馬断熱 | | |
| | 代表者氏名 | 代表取締役 糸屋文夫 | | |
| | 所 在 地 | 太田市 下田島町474 | | |
| | 事 業 内 容 | ウレタン成形及び板金加工 | | |
| 事 業 規 模 | 資 本 金 | 10000 | 千円 | |
| | 従 業 員 数 | 20 | 人 | |

1 環境基本方針

地球温暖化問題が共通の問題であることを認識し、次の基本方針に則し社員に自覚させ事業活動を実施する。
 温室効果ガスの排出が削減できる事業活動を推進する為社内体制を整備する。
 社員一致で環境問題に理解を深め教育の実施を進める。

2 取組実績

| |
|------------------|
| 空調機使用時の設定温度管理 |
| 昼休み及び休憩時間の消灯を徹底 |
| グリーン活動管理責任者を設定 |
| 一部ノンフロンウレタン原液を導入 |
| |

| | | | | |
|----------------|---------|------------------------|----|--|
| 認定番号 190423 | 名 称 | 有限会社アルミテック | | |
| | 代表者氏名 | 代表取締役 池内辰宏 | | |
| | 所 在 地 | 前橋市 粕川町女淵577-20 | | |
| | 事 業 内 容 | アルミ合金製管継手・特殊合金製管継手製造販売 | | |
| 事 業 規 模 | 資 本 金 | 5000 | 千円 | |
| | 従 業 員 数 | 9 | 人 | |

1 環境基本方針

地球温暖化問題を私達共通の問題と捉え、次の基本方針を定め、環境に配慮した、リサイクル型の社会を目指し、企業活動を行っていくものとする。
 1. 企業活動から生じる温室効果ガスの排出量の削減を進める為、環境に配慮した企業体制への見直し、整備を持続的に行う。
 2. 社員一人一人が環境問題を認識し、自ら行動できるよう、社員教育の充実を図る。
 3. 廃棄物削減、リサイクル等、環境保全に配慮した製品、サービスの提供に努める。
 4. 森林資源の保護、緑化を推進する。

2 取組実績

| |
|-----------------|
| 約100本の広葉樹の植樹 |
| コピーの裏紙使用の推進 |
| 軍手の再利用 |
| 梱包材の再利用。 |
| エアコンの温度設定の管理の徹底 |

環境GS認定事業者報告書(平成19年度)

| | | | | |
|----------------|-------|--------------------------------|----|--|
| 認定番号 190424 | 名 称 | サイトー機械金属株式会社 | | |
| | 代表者氏名 | 代表取締役 斎藤良明 | | |
| | 所在地 | 伊勢崎市 上泉町100-1 | | |
| | 事業内容 | アイスクャンディー用ステンレス凍結缶(食品自動機械設計製作) | | |
| 事業規模 | 資本金 | 10000 | 千円 | |
| | 従業員数 | 24 | 人 | |

1 環境基本方針

地球温暖化問題が人類共通の問題であることを認識し、次の基本方針に則し、社員一人一人が自覚をもって事業活動のあらゆる面において環境に配慮した行動を実践する。

1. 温室効果ガスの排出が持続的に削減できる事業活動を推進するための社内体制の整備に努める
2. すべての社員が環境問題に対する理解を深め行動できるよう環境教育の充実に努める
3. 温室効果ガスの排出量が少ない製品の開発・普及に努める

2 取組実績

| |
|-------------------------|
| 昼休み、休憩時間の消灯、非使用場所の消灯を徹底 |
| 両面コピーの徹底 |
| |
| |
| |

| | | | | |
|----------------|-------|-------------|----|--|
| 認定番号 190425 | 名 称 | 株式会社斎藤製作所 | | |
| | 代表者氏名 | 代表取締役 斎藤良明 | | |
| | 所在地 | 伊勢崎市 境下淵名53 | | |
| | 事業内容 | ALC建材加工、製造 | | |
| 事業規模 | 資本金 | 3000 | 千円 | |
| | 従業員数 | 14 | 人 | |

1 環境基本方針

地球温暖化問題が人類共通の問題であることを認識し、次の基本方針に則し、社員一人一人が自覚をもって事業活動のあらゆる面において環境に配慮した行動を実践する。

1. 温室効果ガスの排出が持続的に削減できる事業活動を推進するための社内体制の整備に努める
2. すべての社員が環境問題に対する理解を深め行動できるよう環境教育の充実に努める
3. 温室効果ガスの排出量が少ない製品の開発・普及に努める

2 取組実績

| |
|-------------------------|
| 空調温度の適正化(冷房28、暖房20)に努める |
| 空調管理責任者を設置する |
| 昼休み、休憩時間、非使用場所の消灯の徹底 |
| 両面コピーの徹底 |
| 使い捨て製品の購入を抑制 |

環境GS認定事業者報告書(平成19年度)

| | | | | |
|----------------|--------------|------------------------------|------|----|
| 認定番号 190426 | 名 称 代表者氏名 | 株式会社キャスルオートセンター 代表取締役 石田晃 | | |
| | 所 在 地 | 高崎市 倉賀野町4677-1 | | |
| | 事 業 内 容 | 自動車販売業 | | |
| | 事 業 規 模 | 資 本 金 | 1000 | 千円 |
| | | 従 業 員 数 | 4 | 人 |

1 環境基本方針

地球温暖化問題が世界で問題化している故、事業活動のあらゆる面で配慮していく。社員一同環境問題に関心を持ち、環境教育に努めていきます。

2 取組実績

| |
|-----------------|
| エアコンを出来る限り使用しない |
| 展示場の照明時間を短縮 |
| 水銀灯から蛍光灯に交換 |
| 燃費の良い車に交換 |
| |

| | | | | |
|----------------|--------------|------------------------|-----|----|
| 認定番号 190427 | 名 称 代表者氏名 | 有限会社松本電設 代表取締役 松本貞雄 | | |
| | 所 在 地 | 太田市 台之郷1437-21 | | |
| | 事 業 内 容 | 電機工事業 | | |
| | 事 業 規 模 | 資 本 金 | 300 | 千円 |
| | | 従 業 員 数 | 6 | 人 |

1 環境基本方針

球温暖化が社会問題になっていることを認識し、会社は小さいが少しでも協力することに努める。

2 取組実績

| |
|-------------------------|
| 両面コピーの徹底 |
| 無人箇所のスイッチOFF |
| 冷房は扇風機、暖房は厚衣に努める |
| 社内でのリサイクルの実行 |
| 残業はをしないよう努める(仕事は明るいうちに) |

環境GS認定事業者報告書(平成19年度)

| | | | |
|----------------|--------------|-------------------------|----------|
| 認定番号 190428 | 名 称 代表者氏名 | 株式会社十王電設 代表取締役社長 星野敦 | |
| | 所 在 地 | 沼田市 西原新町97-4 | |
| | 事 業 内 容 | 電気・管・通信・土木・しゅんせつ工事業 | |
| | 事 業 規 模 | 資 本 金 | 10000 千円 |
| | | 従 業 員 数 | 7 人 |

1 環境基本方針

地球温暖化問題が人類共通の問題であることを認識し、次の基本方針に則し、社員一人一人が自覚をもって、事業活動のあらゆる面において環境に配慮した行動を実践する。

1. 温室効果ガスの排出が持続的に削減できる事業活動を推進するための社内体制の整備に努める。
2. すべての社員が環境問題に対する理解を深め行動ができるよう、環境教育の充実に努める。

2 取組実績

| |
|--------------------------|
| 離席時はOA機器のスイッチを切る |
| 昼休み等休憩時間、非使用場所の消灯の徹底 |
| 使用済み用紙の裏面利用の推進 |
| 両面コピーを徹底する |
| 空調温度の適正化、空調に頼らない温度管理に努める |

| | | | |
|----------------|--------------|---------------------------------|---------|
| 認定番号 190430 | 名 称 代表者氏名 | 有限会社玉木製作所 代表取締役 玉木靖弘 | |
| | 所 在 地 | 桐生市 境野町一丁目847番地 | |
| | 事 業 内 容 | OA機器・自動車・車両・ATM機器・医療機器等の金属部品の製造 | |
| | 事 業 規 模 | 資 本 金 | 3000 千円 |
| | | 従 業 員 数 | 17 人 |

1 環境基本方針

(基本理念)
当社は、OA機器・自動車・ATM機器・医療機器等、金属部品の製造に当たり事業活動の全領域で環境にやさしい偉業をめざします。

(行動指針)
1, CO2の排出抑制、総排水抑制については、改善目標管理をおこないます。
2, 2Sを進めます。
3, 環境関連法令を遵守します。
この環境方針は、外部の人にも公開します。

2 取組実績

| |
|-------------------|
| 照明、PC電源不要時のOFFの徹底 |
| 節水の表示 |
| 分別ルールの徹底 |
| 廃棄物置場の整備 |
| 空調温度適正化・表示 |

環境GS認定事業者報告書(平成19年度)

| | | | | |
|----------------|-------|----------------|----|--|
| 認定番号 190432 | 名 称 | 有限会社樺澤ダイカスト工業所 | | |
| | 代表者氏名 | 代表取締役 樺澤清雄 | | |
| | 所在地 | 高崎市 箕郷町下芝236-1 | | |
| | 事業内容 | ダイカスト製品製造 | | |
| 事業規模 | 資本金 | 5000 | 千円 | |
| | 従業員数 | 9 | 人 | |

1 環境基本方針

地球温暖化問題が人類共通の問題であることを認識し、以下の基本方針に則し、社員一人一人が自覚をもって事業活動のあらゆる面において環境に配慮した行動を実践致します。

1. 温室効果ガスの排出が持続的に削減出来る活動を推進する為、社内体制の整備に努める
2. 全ての社員が環境問題に対する理解を深め行動を出来るよう環境教育に努める。

2 取組実績

| |
|------------------------|
| 空調温度の適正化を図る(冷房28、暖房20) |
| 昼休み時間の消灯 |
| 両面コピーの徹底 |
| 溶解炉内温度の3%削減 |
| |

| | | | | |
|----------------|-------|--------------------|----|--|
| 認定番号 190433 | 名 称 | 高信化学株式会社 | | |
| | 代表者氏名 | 代表取締役社長 高橋弘樹 | | |
| | 所在地 | 高崎市 大八木町801 | | |
| | 事業内容 | 試薬、工業薬品、機器、機材等の販売等 | | |
| 事業規模 | 資本金 | 10000 | 千円 | |
| | 従業員数 | 54 | 人 | |

1 環境基本方針

高信化学(株)は、化学、製薬、バイオテクノロジー、IT、環境食品など、あらゆる分野での進歩をサポートしている企業であり、エコロジー時代の取り巻く環境問題への解決のサポートにも多く関わっております。

よって、次の基本方針に則し、全員で自覚をもって環境に配慮した行動を実践します。

1. 社内の空調温度の適正、節電の継続に向けて担当者を設置し計画し、管理体制を整える。
2. 廃棄物をリサイクル出来る社内ルールを決め、教育をしていく事で個人の生活でも行動できるようにする。

2 取組実績

| |
|--------------------|
| 空調温度(冷房27、暖房20)の徹底 |
| 管理者の設置、チェック表による管理 |
| 未使用時の電気の消灯 |
| 早帰りDayによる電気等の削減 |
| |

環境GS認定事業者報告書(平成19年度)

| | | | | |
|----------------|---------|--|----|--|
| 認定番号 190437 | 名 称 | 株式会社市川鉄工 | | |
| | 代表者氏名 | 代表取締役 市川導宏 | | |
| | 所 在 地 | みどり市 笠懸町久宮364-1 | | |
| | 事 業 内 容 | トーションレース機・炭素繊維緯糸給糸装置など及び、三次元CAD・CAMによる各種精密部品加工 | | |
| 事 業 規 模 | 資 本 金 | 15000 | 千円 | |
| | 従 業 員 数 | 25 | 人 | |

1 環境基本方針

地球温暖化問題が人類共通の問題であることを認識し、次の基本方針に則し、社員一人一人が自覚をもって、事業活動のあらゆる面において、環境に配慮した行動を実践する。

1. 温室効果ガスの排出が持続的に削減できる事業活動を推進するための社内体制の整備に努める。
2. すべての社員が環境問題に対する理解を深め行動できるよう、環境教育の充実に努める。
3. 温室効果ガスの排出量が少ない製品の開発・普及に努める。

2 取組実績

| |
|-------------|
| 空調温度の適正化 |
| 作業時間以外での消灯 |
| 非使用場所の消灯の徹底 |
| |
| |

| | | | | |
|----------------|---------|---|----|--|
| 認定番号 190438 | 名 称 | 有限会社須田工業 | | |
| | 代表者氏名 | 代表取締役 須田政司 | | |
| | 所 在 地 | 富士見村 大字赤城山97番地 | | |
| | 事 業 内 容 | 総合建設業(群馬県知事 特-15 003868号)・産業廃棄物処理業(群馬県 1040000261号) | | |
| 事 業 規 模 | 資 本 金 | 20000 | 千円 | |
| | 従 業 員 数 | 30 | 人 | |

1 環境基本方針

「地球に優しく、資源を大切に！」を基本とし、より豊かで明るい未来に向けて、地域社会へ貢献することを目指します。そのために、

- 1) 自然保護、自然との共存を念頭においた各種開発や環境保護を目指します。
- 2) 廃棄物の適切なる処理、資源を有効に使うためのリサイクル活動の確立を行います。
- 3) 顧客からの要求事項・法令・規制要求事項を遵守します。

2 取組実績

| |
|----------------------|
| 昼休み、休憩時間、非使用場所の消灯の徹底 |
| 両面コピー、集約コピーの徹底 |
| 社内のリサイクル体制の整備 |
| 最終処分(埋立)となるゴミの減量化実施 |
| 空調温度の適正化(冷房28、暖房20) |

環境GS認定事業者報告書(平成19年度)

| | | | | |
|----------------|--------------|--|-------|----|
| 認定番号 190439 | 名 称 代表者氏名 | 株式会社食環境衛生研究所 代表取締役社長 久保一弘 | | |
| | 所 在 地 | 前橋市 荒口町561-21 | | |
| | 事 業 内 容 | 検査業(GLP、GCP、食品検査、臨床検査、環境検査等)(衛生検査所 第41号) | | |
| | 事 業 規 模 | 資 本 金 | 10000 | 千円 |
| | | 従 業 員 数 | 28 | 人 |

1 環境基本方針

地球温暖化問題が人類の生存基盤に関わる最も重要な環境問題の一つであることを認識し、次の基本方針に則り、社員一人一人が自覚をもって、事業活動のあらゆる面において、中・長期的な地球温暖化対策の実効性を確保します。

温室効果ガスの排出が継続的に削減できる社内体制の整備に努める。
社員すべてが環境問題に理解を深めるための教育訓練の充実に努める。
温室効果ガスの排出と吸収のバランスを保つための方策に努める。

2 取組実績

| |
|------------------------------|
| エコカーの導入(3台所有) |
| クールビズの導入(衣服により温度調節) |
| 使用していないPCの電源、非使用箇所の照明のOFFの徹底 |
| 施設管理責任者を設置し、随時省エネの指導を行う |
| 鋼鉄屋根に遮熱塗料を施し、冷房不可を低減 |

| | | | | |
|----------------|--------------|----------------------------|------|----|
| 認定番号 190440 | 名 称 代表者氏名 | 有限会社サンテックス 代表取締役社長 田村徳良 | | |
| | 所 在 地 | 安中市 上間仁田208-1 | | |
| | 事 業 内 容 | 金属の切削加工 | | |
| | 事 業 規 模 | 資 本 金 | 3000 | 千円 |
| | | 従 業 員 数 | 20 | 人 |

1 環境基本方針

(環境理念)
精密切削加工技術を通じ環境保全、自然保護と資源の有効活用を目指して以下の方針に従って環境管理を行う。

(環境方針)

1. ISO14001に基づく環境マネジメントシステムを構築し、汚染の予防及び継続的改善を行います。
2. 環境関連法規を順守すると共に、その他の要求事項にも積極的に取り組みます。
3. 環境目的及び目標を年度ごとに定め、見直しながら、その目標達成のために、可能な限り経営資源の支援をします。
4. 社員に対して、環境方針の周知をすると共に、環境保全に対する意識向上のための教育を実施します。
5. この方針は、社外からの要求に応じて開示します。

2 取組実績

| |
|------------------------------------|
| 作業方法の改善による製品洗浄用灯油の削減 |
| 空調責任者による冷房、暖房の温度管理 |
| 昼休み、休憩時間、非使用場所の消灯の徹底 |
| 切粉、端材の再資源化のための保管場所整備、表示を明確にして分別の徹底 |
| 廃棄物の分別の徹底 |

環境GS認定事業者報告書(平成19年度)

| | | | | |
|----------------|-------|--------------|----|--|
| 認定番号 190442 | 名 称 | 植木プラスチック株式会社 | | |
| | 代表者氏名 | 代表取締役 植木良久 | | |
| | 所在地 | 太田市 西新町8-7 | | |
| | 事業内容 | プラスチック板の成形加工 | | |
| 事業規模 | 資本金 | 39600 | 千円 | |
| | 従業員数 | 64 | 人 | |

1 環境基本方針

地球温暖化対策に社員一丸となり、環境に配慮した行動を実践する。

1. 温室効果ガスを削減できるよう、社内体制の整備に努める。
2. 環境問題について全社員が理解を示すように指導をする。

2 取組実績

| |
|----------------------|
| 成形機ヒーターの非使用時電源OFFの徹底 |
| 昼休み、非使用場所の消灯の徹底 |
| NC加工機非使用時電源OFFの徹底 |
| 空調温度の適正化(冷房28、暖房20) |
| |

| | | | | |
|----------------|-------|---------------|----|--|
| 認定番号 190443 | 名 称 | 株式会社根本製作所 | | |
| | 代表者氏名 | 代表取締役社長 根本豊太郎 | | |
| | 所在地 | 太田市 新田村田町2127 | | |
| | 事業内容 | 建設機械部品製造 | | |
| 事業規模 | 資本金 | 18249 | 千円 | |
| | 従業員数 | 58 | 人 | |

1 環境基本方針

次の基本方針に則し、企業として地球温暖化の防止と環境保護に努める。

1. 温室効果ガスの排出量を削減すべく、社内体制の整備に努める。
2. 環境保護の観点から、ゴミの分別等の徹底を図る。
3. 地球温暖化防止の為、設備の省力化、リサイクル化に努める。

2 取組実績

| |
|-----------------------------|
| 生産の効率化により、工場設備の電力消費量を売上比で抑制 |
| 昼休み、非使用場所の消灯の徹底 |
| 室温30以下での冷房の不使用 |
| 裏紙使用の推進 |
| |

環境GS認定事業者報告書(平成19年度)

| | | | | |
|----------------|---------|------------------------------|----|--|
| 認定番号 190444 | 名 称 | マキバ電子機器株式会社(マキバ電子機器株式会社第2工場) | | |
| | 代表者氏名 | 代表取締役社長 石坂敏雄 | | |
| | 所 在 地 | 伊勢崎市 波志江町4161-4 | | |
| | 事 業 内 容 | 自動車電装部品、事務機・産業機器クラッチ部品の製造 | | |
| 事 業 規 模 | 資 本 金 | 3000 | 千円 | |
| | 従 業 員 数 | 76 | 人 | |

1 環境基本方針

自動車電装部品、事務機・産業機器クラッチ部品の製造工程において環境に優しい企業活動に向けて、具体的な「環境目標」を設定し、効果的・継続的な取り組みを図ります。

1. 緩急不可実現と環境取り組みへの意識の改善向上に努めます。
2. 水の使用量とCO2削減の推進を図ります
3. 環境関連法令を遵守致します
4. 廃棄物の削減と適正処理(分別・リサイクル等)に努めます
5. 生産工程の省資源化に向け、稼働率の向上/不良発生率の低減に努めます

2 取組実績

| |
|-----------------------|
| 本社工場 第二工場のFAX廃止。(PC化) |
| 手洗い場のシャワー化(本社工場) |
| 客先A社への定期便削減 |
| 原価低減活動に基づく削減 |
| 綿手袋のクリーニング化 |

| | | | | |
|----------------|---------|-------------|----|--|
| 認定番号 190446 | 名 称 | 吾孺味噌醤油株式会社 | | |
| | 代表者氏名 | 代表取締役 宮崎行夫 | | |
| | 所 在 地 | 中之条町 山田555 | | |
| | 事 業 内 容 | 漬物類・甘納豆製造販売 | | |
| 事 業 規 模 | 資 本 金 | 10000 | 千円 | |
| | 従 業 員 数 | 55 | 人 | |

1 環境基本方針

食品製造に携わる者として、常に人々の健康と安全に留意してきたが、現在地球温暖化問題をはじめとする環境問題の解決が健康と安全にとって喫緊の課題であることを自覚し、その解決の為に微力を尽くし社会に貢献できる会社になるよう努める。その為に以下のことを行う。

- 1) 具体的な省エネ、廃棄物削減計画を立案し実施する。
- 2) 環境対策は必ずしもコストアップ要因ではなく、経費削減の契機ともなりえることを認識し、社員教育の充実を図る。
- 3) 温暖化対策に継続して取り組めるように社内体制の整備に努める。

2 取組実績

| |
|--|
| 基本的に残業を廃止し、暖冷房および無駄な電気を消灯し、電気使用量の圧縮を図った。 |
| 商品の配送経路及び営業活動の見直し車両2台を廃車。これによる燃料削減 |
| 事務所内の設定温度管理の徹底(冷暖房費の削減) |
| 本社工場並びに本店売店の植栽(緑化の拡大) |

環境GS認定事業者報告書(平成19年度)

| | | | | |
|----------------|-------|------------------------|----|--|
| 認定番号 190447 | 名 称 | 桐生水道株式会社 | | |
| | 代表者氏名 | 代表取締役 大川恭史 | | |
| | 所在地 | 桐生市 錦町1-5-8 | | |
| | 事業内容 | 管工事・水道施設工事・消防施設工事・土木工事 | | |
| 事業規模 | 資本金 | 20000 | 千円 | |
| | 従業員数 | 9 | 人 | |

1 環境基本方針

地球温暖化問題が人類共通の問題であることを認識し、次の基本方針に則し、社員一人一人が自覚を持って事業活動のあらゆる面において環境に配慮した行動を実践する。
省エネルギー・環境保全を一層促進するため、技術面の提案をする。
温室効果ガスの削減をめざす事業活動を推進し社内体制の整備に努める。

2 取組実績

| |
|-------------------------|
| エアコンフィルターの定期的清掃と、温度の適正化 |
| 昼休み・休憩時間、非使用場所の消灯の徹底 |
| 車輛のアイドリングストップ |
| 両面コピーの徹底 |
| 使い捨て製品の購入の抑制 |

| | | | | |
|----------------|-------|-----------------------------|----|--|
| 認定番号 190448 | 名 称 | 有限会社屋敷治二商店 | | |
| | 代表者氏名 | 代表取締役 和泉澤賢治 | | |
| | 所在地 | 安中市 安中5丁目1番39号 | | |
| | 事業内容 | 産業廃棄物中間処分業、産業廃棄物収集運搬業、金属再生業 | | |
| 事業規模 | 資本金 | 3000 | 千円 | |
| | 従業員数 | 6 | 人 | |

1 環境基本方針

1. 環境経営に積極的に取り組むために、環境経営システムを構築し、継続的な環境負荷の低減に取り組めます。

2. 環境への取り組みとして、特に次の事項に取り組めます。

- ・廃棄物から有価物を収集し、再生利用効率の向上
- ・廃棄物の適正処理と情報開示
- ・循環型社会形成のための社会貢献

3. 環境に関する法律・規則・協定を遵守します。

4. 環境経営システムの内容を全社員に周知徹底し、環境に対する意識の向上に努めます。

2 取組実績

| |
|-------------------|
| 昼休み、休憩時間の消灯の実施 |
| 冷房温度28、暖房温度25の徹底 |
| 使用済み用紙の裏面の利用 |
| 空調フィルターの清掃(夏期:毎月) |
| 定期的な社内の環境教育の実施 |

環境GS認定事業者報告書(平成19年度)

| | | | | | | | | | |
|---|--------------|-------------------------------|---------|----|-------------------|--------------------|------------------|-----------|-------------|
| 認定番号 190450 | 名 称 代表者氏名 | 藤田エンジニアリング株式会社 代表取締役社長 藤田実 | | | | | | | |
| | 所 在 地 | 高崎市 飯塚町1174-5 | | | | | | | |
| | 事 業 内 容 | 建設業 | | | | | | | |
| | 事 業 規 模 | 資 本 金 | 1029213 | 千円 | | | | | |
| | | 従 業 員 数 | 183 | 人 | | | | | |
| <p>1 環境基本方針</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>環境問題への取組みを社会的責務と認識し豊かな循環型社会の実現に貢献します。</p> </div> <p>2 取組実績</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin: 10px 0;"> <tr><td style="padding: 2px;">クールビズによる夏場の冷房温度28</td></tr> <tr><td style="padding: 2px;">ウォームビズによる冬場の暖房温度20</td></tr> <tr><td style="padding: 2px;">中間期における非空調(送風運転)</td></tr> <tr><td style="padding: 2px;">休憩時での照明消灯</td></tr> <tr><td style="padding: 2px;">適正照度基準内での運用</td></tr> </table> | | | | | クールビズによる夏場の冷房温度28 | ウォームビズによる冬場の暖房温度20 | 中間期における非空調(送風運転) | 休憩時での照明消灯 | 適正照度基準内での運用 |
| クールビズによる夏場の冷房温度28 | | | | | | | | | |
| ウォームビズによる冬場の暖房温度20 | | | | | | | | | |
| 中間期における非空調(送風運転) | | | | | | | | | |
| 休憩時での照明消灯 | | | | | | | | | |
| 適正照度基準内での運用 | | | | | | | | | |

| | | | | | | | | | |
|---|--------------|-------------------------|------|----|---------------------|----------|----------|----------|----------|
| 認定番号 190451 | 名 称 代表者氏名 | 有限会社杵淵製作所 代表取締役 杵淵淳司 | | | | | | | |
| | 所 在 地 | 伊勢崎市 下植木町936番地 | | | | | | | |
| | 事 業 内 容 | 電機めっき業 | | | | | | | |
| | 事 業 規 模 | 資 本 金 | 8000 | 千円 | | | | | |
| | | 従 業 員 数 | 14 | 人 | | | | | |
| <p>1 環境基本方針</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>エネルギー源として電力・灯油を中心にCO2を排出しています。これらのエネルギーを効率の良い利用と無駄のない生産活動により、CO2の排出を抑える会社組織を作り、環境にやさしい生産活動が行える工場を目指す事を基本方針とします。</p> </div> <p>2 取組実績</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin: 10px 0;"> <tr><td style="padding: 2px;">空調は必要な場所、時間に限って使用する</td></tr> <tr><td style="padding: 2px;">非使用場所の消灯</td></tr> <tr><td style="padding: 2px;">両面コピーの徹底</td></tr> <tr><td style="padding: 2px;">エコドライブ推進</td></tr> <tr><td style="padding: 2px;">リサイクルの推進</td></tr> </table> | | | | | 空調は必要な場所、時間に限って使用する | 非使用場所の消灯 | 両面コピーの徹底 | エコドライブ推進 | リサイクルの推進 |
| 空調は必要な場所、時間に限って使用する | | | | | | | | | |
| 非使用場所の消灯 | | | | | | | | | |
| 両面コピーの徹底 | | | | | | | | | |
| エコドライブ推進 | | | | | | | | | |
| リサイクルの推進 | | | | | | | | | |

環境GS認定事業者報告書(平成19年度)

| | | | | |
|----------------|-------|-------------------------------|----|--|
| 認定番号 190452 | 名 称 | 有限会社マリントラペラー | | |
| | 代表者氏名 | 取締役 岩田一三 | | |
| | 所在地 | みどり市 笠懸町阿左美2465-1 | | |
| | 事業内容 | 潜水工事、土木工事、上下水道設備工事、環境計測機器設備工事 | | |
| 事業規模 | 資本金 | 3000 | 千円 | |
| | 従業員数 | 7 | 人 | |

1 環境基本方針

地球温暖化問題が人類共通の問題であることを認識し、次の基本方針に則し、社員一人一人が自覚をもって、事業活動のあらゆる面において環境に配慮した行動を実践する。

1. 温室効果ガスの排出が持続的に削減できる事業活動を推進するための社内体制の整備に努める。
2. すべての社員が環境問題に対する理解を深め行動できるよう環境教育の充実に努める。
3. 環境保護に対して有効な工事の開発普及に努める。

2 取組実績

| |
|----------------------|
| 昼休み、休憩時間、非使用場所の消灯の徹底 |
| 高効率蛍光灯の設置の推進 |
| 発生したゴミを社内で仕分けし処理する |
| 両面コピーの徹底 |
| 社内リサイクル体制の整備 |

| | | | | |
|----------------|-------|-----------------|----|--|
| 認定番号 190453 | 名 称 | 久保田鑄工株式会社 | | |
| | 代表者氏名 | 代表取締役 久保田和雄 | | |
| | 所在地 | 前橋市 粕川町深津1880-1 | | |
| | 事業内容 | 鋳鉄鑄物製造 | | |
| 事業規模 | 資本金 | 10000 | 千円 | |
| | 従業員数 | 29 | 人 | |

1 環境基本方針

久保田鑄工株式会社は、自動車部品を主軸とする鋳鉄鑄造業として地球環境の保全に配慮した循環型社会の一翼を担う立場として経営生産活動に全従業員で取り組みます。

2 取組実績

| |
|-------------------------|
| 操業時間の短縮 |
| コンプレッサーの定期的自主点検の実施 |
| 不在場所・非使用機械の消灯、電源OFF |
| 空調温度の管理(事務所のみ夏期30、冬期20) |
| 節電、消灯の呼びかけ |

環境GS認定事業者報告書(平成19年度)

| | | | | |
|----------------|---------|----------------|----|--|
| 認定番号 190454 | 名 称 | 積和建設群馬株式会社 | | |
| | 代表者氏名 | 代表取締役 小林雅巳 | | |
| | 所 在 地 | 玉村町 大字上福島485-2 | | |
| | 事 業 内 容 | 建設業 | | |
| 事 業 規 模 | 資 本 金 | 30000 | 千円 | |
| | 従 業 員 数 | 51 | 人 | |

1 環境基本方針

地球温暖化が人類共通の問題であることを認識し、次の環境方針に則し、技術と人と地球を大切に事業活動を通して地球環境保全と豊かな社会の実現に貢献することを目指し、事業活動においてこれを考慮に入れて行動する。

1. 温室効果ガスの排出が持続的に削減できる事業活動を推進するための社内体制の整備に努める。
2. 事業活動において、省資源、省エネルギー、リサイクル、廃棄物の発生抑制に取り組む
3. 環境教育・啓発を推進し、環境行動の基盤である全従業員の意識と知識の向上を図る。

2 取組実績

| |
|-------------------------|
| エコドライブの技術を身につけエコドライブの徹底 |
| 両面コピー、Nアップコピーの推進 |
| 電子情報利用によるペーパーレス化の推進 |
| エコマーク製品等を優先して購入する |
| 会議資料や書類の簡素化を推進する書類の簡素化 |

| | | | | |
|----------------|---------|-----------------|----|--|
| 認定番号 190455 | 名 称 | 株式会社 渡辺アートブロー | | |
| | 代表者氏名 | 代表取締役 渡辺辰巳 | | |
| | 所 在 地 | 伊勢崎市 長沼町650-12 | | |
| | 事 業 内 容 | 合成樹脂成形加工(ブロー成形) | | |
| 事 業 規 模 | 資 本 金 | 10000 | 千円 | |
| | 従 業 員 数 | 20 | 人 | |

1 環境基本方針

地球温暖化問題が、人類共通の問題である事を認識し、次の基本方針に則し、社員一人一人が自覚を持って、事業活動のあらゆる面において環境に配慮した行動を実践する。

1. 温室効果ガスの排出が持続的に削減できる事業活動を推進する為の社内体制の整備に努める。
2. すべての社員が環境問題に対する理解を深める為の環境教育の充実に努める。
3. 温室効果ガスの排出量が少ない機械設置に努める。

2 取組実績

| |
|------------------|
| 省エネ型成形機設置替(順次入替) |
| |
| |
| |

環境GS認定事業者報告書(平成19年度)

| | | | | |
|----------------|-------|-------------|----|--|
| 認定番号 190457 | 名 称 | 湯井電気株式会社 | | |
| | 代表者氏名 | 代表取締役 湯井知昭 | | |
| | 所在地 | 富岡市 富岡780-1 | | |
| | 事業内容 | 電機工事業 | | |
| 事業規模 | 資本金 | 40000 | 千円 | |
| | 従業員数 | 23 | 人 | |

1 環境基本方針

環境保全への取り組みが企業活動に必須であることを認識し、下記の環境保全活動を継続的に推進して、持続的発展が可能な社会の実現に向けて努力する。

- 1、環境に与える負荷に配慮して事業活動を行う。
 - (1) 廃棄物の発生低減、適正処理を行う。
 - (2) 省エネルギー、省資源に努める。
- 2、環境保全関係の法令その他諸規定を遵守する。

2 取組実績

| |
|-------------------------|
| 昼休み、休憩時間、未使用場所の消灯の徹底 |
| 空調温度の適正化(冷房28、暖房20)に努める |
| 電線の無駄をなくす |
| 社内のリサイクル体制を整備する。分別処理を行う |
| 社内環境教育を定期的実施する |

| | | | | |
|----------------|-------|-----------------|----|--|
| 認定番号 190458 | 名 称 | 株式会社片原 | | |
| | 代表者氏名 | 代表取締役 川野昌彦 | | |
| | 所在地 | 前橋市 下小出町1-26-16 | | |
| | 事業内容 | ガス器具の販売 | | |
| 事業規模 | 資本金 | 10000 | 千円 | |
| | 従業員数 | 20 | 人 | |

1 環境基本方針

地球温暖化問題であることを認識し、次の基本方針に則し、社員一人一人が自覚をもって事業活動のあらゆる面において、環境に配慮した行動を実践する。

1. 温室効果ガスの排出が持続的に削減できる事業活動を推進するための社内体制の整備に努める。
2. すべての社員が環境問題に対する理解を深め行動ができるよう、環境教育の充実に努める。
3. 温室効果ガスの排出量が少ない製品の販売・普及に努める。

2 取組実績

| |
|----------------------|
| 空調温度の適正化(冷房28、暖房20) |
| 昼休み、休憩時間、非使用場所の消灯の徹底 |
| 外灯看板の利用時間の適正化 |
| 両面コピーの徹底 |
| 使い捨て製品の購入を抑制する |

環境GS認定事業者報告書(平成19年度)

| | | | | |
|----------------|--------------|-------------------------|-----|----|
| 認定番号 190459 | 名 称 代表者氏名 | 有限会社エビサワ 代表取締役 海老澤守男 | | |
| | 所 在 地 | 伊勢崎市 境女塚313-4 | | |
| | 事 業 内 容 | ニット製品製造 | | |
| | 事 業 規 模 | 資 本 金 | 300 | 千円 |
| | | 従 業 員 数 | 4 | 人 |

1 環境基本方針

地球温暖化問題に積極的に取り組むべく下記の基本方針を会社全体で行動・実行致します。

節電・節約を徹底する。
 弊社の製造品ゆえの特徴を活用し、エコロジー・リサイクル・ウォームビズ・クールビズに貢献する。
 製品製造時の無駄をなくす。

2 取組実績

| |
|-----------------------------|
| 節電、節約の徹底 |
| エコロジーリサイクル、ウォームビズ、クールビズへの貢献 |
| 製品製造時の無駄をなくす |
| |
| |

環境GS認定事業者報告書(平成19年度)

| | | | | |
|----------------|-------|-------------------|----|--|
| 認定番号 190460 | 名 称 | 株式会社アイエムアイ | | |
| | 代表者氏名 | 代表取締役社長 今井久司 | | |
| | 所在地 | 富岡市 一ノ宮880-1 | | |
| | 事業内容 | 自動車用部品・二次電池用部品の生産 | | |
| 事業規模 | 資本金 | 30000 | 千円 | |
| | 従業員数 | 120 | 人 | |

1 環境基本方針

株式会社アイエムアイは金属加工プレス加工技術を用いて自動車部品、電池部品、その他金属加工部品の生産及び販売活動を主たる業務としています。その活動は地球環境の保全無しに成り立たない事を認識し、生産から販売までの事業活動全領域にわたって環境に与える負荷の最少化に取組みます。

1. 当社の活動が環境に与える影響を把握し、技術的、経済的に可能な範囲で環境目標及び目標を設定し、定期的に見直しをかけ環境保全活動の継続的な改善向上を図ります。
2. 当社は環境関連法律、規制及び当社が同意するその他要求事項を遵守します。
3. 当社は生産活動を通し、省資源・省エネルギーを図り、廃棄物の削減及び再利用の拡大を行い環境維持・向上に努めます。
4. 当社は従業員に対し環境方針の周知と意識向上の為に環境教育及び広報活動を積極的に推進します。
5. 本方針は社外からの要求に応じ開示します。

2 取組実績

| |
|-----------------------------------|
| 空調温度の適正化(冷房28、暖房20) |
| 昼休み、休憩時間、非使用場所の消灯及び、非使用機械の電源OFF |
| エアコンプレッサーの廃熱利用による暖房用電力削減のトライアルの実施 |
| HCFC225全廃に向けた、製品製造工程の見直しの実施 |
| 社内のリサイクル体制の整備 |

環境GS認定事業者報告書(平成19年度)

| | | | | |
|----------------|--------------|------------------------|-------|----|
| 認定番号 190461 | 名 称 代表者氏名 | 丸政商事株式会社 代表取締役 高橋保夫 | | |
| | 所 在 地 | 渋川市 渋川1200番地 | | |
| | 事 業 内 容 | 一般・産業廃棄物収集運搬業、産業廃棄物処分業 | | |
| | 事 業 規 模 | 資 本 金 | 10000 | 千円 |
| | | 従 業 員 数 | 13 | 人 |

1 環境基本方針

地球温暖化問題が人類共通の問題であることを認識し、次の基本方針に則し、社員一人一人が自覚をもって、事業活動のあらゆる面において、環境に配慮した行動を実践する。

1. 温室効果ガスの排出が持続的に削減できる事業活動を推進するための社内体制の整備に努める。
2. すべての社員が環境問題に対する理解を深め行動できるよう、環境教育の充実に努める。
3. 温室効果ガスの排出量が少ない製品の開発・普及に努める。

2 取組実績

| |
|-------------------------|
| 空調温度の適正化(冷房28、暖房20) |
| 使い捨て製品の購入の抑制 |
| 両面コピーの徹底 |
| 社内のリサイクル体制の整備 |
| エコドライブ推進体制をつくり、組織的に実施する |

環境GS認定事業者報告書(平成19年度)

| | | | | |
|----------------|--------------|-------------------------|-------|----|
| 認定番号 190462 | 名 称 代表者氏名 | 株式会社藤生製作所 取締役社長 藤生雅彦 | | |
| | 所 在 地 | 前橋市 鳥羽町126 | | |
| | 事 業 内 容 | 自動車部品及び精密機械部品製造業 | | |
| | 事 業 規 模 | 資 本 金 | 50000 | 千円 |
| | | 従 業 員 数 | 129 | 人 |

1 環境基本方針

| | |
|------|---|
| 基本理念 | 社会の一員として地球環境保全が人類共通の課題であることを認識し、経営の最重要課題の一つに位置付け、事業活動の全領域で環境保全に配慮し、行動することにより、住み良い環境の実現と次世代への継承に貢献します。 |
| 行動指針 | 我々は環境問題への取組みの重要性を認識し、積極的に行動する。 (1) . 藤生製作所の全ての領域において省エネの推進、廃棄物の減量化の推進等、環境保全の維持向上に努める。 (2) . 環境改善目標を設定し、その実現を図り、環境マネジメントの継続的改善と環境汚染の予防を図る。 (3) . 全ての社員が基本的な考えを理解し、行動出来るよう社員教育を実施し周知徹底を図る。 (4) . 環境関連の法律、条例等を遵守し、更に自主的基準を定めて一層の環境保全に取り組む。 (5) . 環境経営の組織・運営制度を整備し、責任所在の明確化を図る。 (6) . 環境管理の実施状況は必要に応じて公開する。 |

2 取組実績

| | |
|--|---|
| | 本社:省エネ活動の結果として、契約電力変更530kw 490kw(7%減) 大胡:生産性、生産高増(加工設備Ne4台、H/e2台増設と生産体制の改善)による効率UP |
| | 休憩時間の加工設備、照明の消灯、節電。コンプレッサーの稼働時間削減 |
| | 灯油暖房機の使用基準(使用時間、使用温度)の遵守徹底 |
| | 切粉切削油の脱油リサイクル及び切粉置場屋根雨漏り修理 |
| | 水道配管の水漏れ修理及び平面研削盤用冷却水の排水量ルール決め実施 |

環境GS認定事業者報告書(平成19年度)

| | | | | |
|----------------|--------------|-------------------------------|-------|----|
| 認定番号 190463 | 名 称 代表者氏名 | 安全基材株式会社 本社工場 代表取締役社長 長嶋安彦 | | |
| | 所 在 地 | 高崎市 剣崎町94番地5 | | |
| | 事 業 内 容 | ガラス繊維製品製造販売 | | |
| | 事 業 規 模 | 資 本 金 | 30000 | 千円 |
| 従 業 員 数 | | 60 | 人 | |

1 環境基本方針

温室効果ガスの排出を削減する為に、「環境マネジメントシステム」P.D.C.Aを構築運用して、地球温暖化防止に配慮した事業活動を、推進していく。

1. 全社員が、一丸となり温室効果ガス排出削減に努める。
2. 産業廃棄物の排出量減量に努める。

2 取組実績

| |
|----------------------------|
| 工場内、昼休み、非使用場所の消灯の徹底 |
| 両面コピーの徹底 |
| 冷暖房を適正温度に設定(冷房28、暖房20) |
| 上下水道の節水に努める |
| 品質の向上に努め、製品の不良を抑制し、廃棄物を減量化 |

| | | | | |
|----------------|--------------|----------------------------|-----|----|
| 認定番号 190464 | 名 称 代表者氏名 | 有限会社五十嵐研磨工業 代表取締役 五十嵐周季 | | |
| | 所 在 地 | 高崎市 島野町1158 | | |
| | 事 業 内 容 | 金属研磨業 | | |
| | 事 業 規 模 | 資 本 金 | 500 | 千円 |
| 従 業 員 数 | | 9 | 人 | |

1 環境基本方針

地球温暖化対策推進の為に、基本方針を定め、社員全員で一丸となって地球に優しい環境作りを実践する。

1. 省エネルギー、省資源化に努める
2. 産業廃棄物の低減化に努める
3. 水質汚濁防止に努める

2 取組実績

| |
|--------------|
| 節電の徹底 |
| 機械設備の有効利用 |
| 社員1人1人の意識の向上 |
| |
| |

環境GS認定事業者報告書(平成19年度)

| | | | | |
|----------------|-------|----------------|----|--|
| 認定番号 190465 | 名 称 | スダテック株式会社 | | |
| | 代表者氏名 | 代表取締役 須田福次 | | |
| | 所在地 | 伊勢崎市 寿町101 | | |
| | 事業内容 | 金型、試作品(自動車部品他) | | |
| 事業規模 | 資本金 | 10000 | 千円 | |
| | 従業員数 | 23 | 人 | |

1 環境基本方針

地球温暖化問題が、人類共通の問題であることを認識し、次の基本方針に則し社員一人一人が自覚をもって事業活動のあらゆる面において、環境に配慮した行動を実践する。

1. 温室効果ガスの排出が持続的に削減できる事業活動を推進するための社内体制の整備に努める。
2. すべての社員が環境問題に対する理解を深め行動できるよう、環境教育の充実に努める。
3. 温室効果ガスの排出量が少ない製品の開発普及に努める。

2 取組実績

| |
|---|
| 0 |
| 0 |
| 0 |
| |
| |

| | | | | |
|----------------|-------|------------------|----|--|
| 認定番号 190466 | 名 称 | 財団法人群馬県環境検査事業団本所 | | |
| | 代表者氏名 | 理事長高橋太郎 | | |
| | 所在地 | 前橋市 大手町三丁目9-16 | | |
| | 事業内容 | 浄化槽法に基づく法定検査業務 | | |
| 事業規模 | 資本金 | 4000 | 千円 | |
| | 従業員数 | 20 | 人 | |

1 環境基本方針

浄化槽法に基づく検査事業及び浄化槽に関する調査研究等を通じて、生活環境の保全、公衆衛生の向上に寄与するという法人設立の目的をふまえ、次の環境基本方針のもとに、職員全員が環境保全に対する自覚を持ち、事業活動のあらゆる面において環境に配慮した行動を行い、循環型社会の形成に貢献することを目指します。

1. 温室効果ガスの排出が少ない事業活動に努め、環境負荷の低減に努める。
2. 全職員の環境保全に対する意識を深めるため、環境教育の充実に努める。
3. 地域の環境保全活動に積極的に参加し、地域社会との交流に努める。

2 取組実績

| |
|-------------------------------|
| エコドライブの推進体制をつくる |
| 昼休みの消灯、パソコンの電源OFF、非使用場所の消灯の徹底 |
| 両面コピー、両面印刷の徹底 |
| 必要な場所に限っての冷暖房使用 |
| 職員に対する環境教育を充実する |

環境GS認定事業者報告書(平成19年度)

| | | | | |
|----------------|--------------|-------------------------------------|------|----|
| 認定番号 190467 | 名 称 代表者氏名 | 財団法人群馬県環境検査事業団中部支所 事業部長兼支所長 主代章義 | | |
| | 所 在 地 | 前橋市 大手町三丁目9-16 | | |
| | 事 業 内 容 | 浄化槽法に基づく法定検査業務 | | |
| | 事 業 規 模 | 資 本 金 | 4000 | 千円 |
| | | 従 業 員 数 | 7 | 人 |

1 環境基本方針

浄化槽法に基づく検査事業及び浄化槽に関する調査研究等を通じて、生活環境の保全、公衆衛生の向上に寄与するという法人設立の目的をふまえ、次の環境基本方針のもとに、職員全員が環境保全に対する自覚を持ち、事業活動のあらゆる面において環境に配慮した行動を行い、循環型社会の形成に貢献することを目指します。

- 1 温室効果ガスの排出が少ない事業活動に努め、環境負荷の低減に努める。
- 2 全職員の環境保全に対する意識を深めるため、環境教育の充実に努める。
- 3 地域の環境保全活動に積極的に参加し、地域社会との交流に努める。

2 取組実績

| |
|-------------------------------|
| エコドライブの推進体制をつくる |
| ビン、缶、紙類等の分別排出を徹底する |
| 職員に対する環境教育を充実する |
| 両面コピー、両面印刷の徹底 |
| 昼休みの消灯、パソコンの電源OFF、非使用場所の消灯の徹底 |

| | | | | |
|----------------|--------------|-------------------------------------|------|----|
| 認定番号 190468 | 名 称 代表者氏名 | 財団法人群馬県環境検査事業団東毛支所 事業部長兼支所長 長井俊蔵 | | |
| | 所 在 地 | 太田市 大原町2433-8 | | |
| | 事 業 内 容 | 浄化槽法に基づく法定検査業務 | | |
| | 事 業 規 模 | 資 本 金 | 4000 | 千円 |
| | | 従 業 員 数 | 9 | 人 |

1 環境基本方針

浄化槽法に基づく検査事業及び浄化槽に関する調査研究等を通じて、生活環境の保全、公衆衛生の向上に寄与するという法人設立の目的をふまえ、次の環境基本方針のもとに、職員全員が環境保全に対する自覚を持ち、事業活動のあらゆる面において環境に配慮した行動を行い、循環型社会の形成に貢献することを目指します。

- 1 温室効果ガスの排出が少ない事業活動に努め、環境負荷の低減に努める。
- 2 全職員の環境保全に対する意識を深めるため、環境教育の充実に努める。
- 3 地域の環境保全活動に積極的に参加し、地域社会との交流に努める。

2 取組実績

| |
|---------------------------|
| 冷暖房温度の控えめ設定(冷房28、暖房20)の徹底 |
| エコドライブの推進体制をつくる |
| 両面コピー、両面印刷の徹底 |
| 空調に頼らない室内温度管理に努める |
| 必要な場所に限っての冷暖房使用 |

環境GS認定事業者報告書(平成19年度)

| | | | | |
|----------------|-------|--------------------|----|--|
| 認定番号 190469 | 名 称 | 財団法人群馬県環境検査事業団西毛支所 | | |
| | 代表者氏名 | 事業部長兼支所長 三ツ木耕一 | | |
| | 所在地 | 高崎市 八千代町3-17-20 | | |
| | 事業内容 | 浄化槽法に基づく法定検査業務 | | |
| 事業規模 | 資本金 | 4000 | 千円 | |
| | 従業員数 | 9 | 人 | |

1 環境基本方針

浄化槽法に基づく検査事業及び浄化槽に関する調査研究等を通じて、生活環境の保全、公衆衛生の向上に寄与するという法人設立の目的をふまえ、次の環境基本方針のもとに、職員全員が環境保全に対する自覚を持ち、事業活動のあらゆる面において環境に配慮した行動を行い、循環型社会の形成に貢献することを目指します。

- 1 温室効果ガスの排出が少ない事業活動に努め、環境負荷の低減に努める。
- 2 全職員の環境保全に対する意識を深めるため、環境教育の充実に努める。
- 3 地域の環境保全活動に積極的に参加し、地域社会との交流に努める。

2 取組実績

| |
|-------------------------------|
| エコドライブの推進体制をつくる |
| 空調に頼らない室内温度管理に努める |
| 冷暖房温度の控えめ設定(冷房28、暖房20)の徹底 |
| 必要な場所に限っての冷暖房使用 |
| 昼休みの消灯、パソコンの電源OFF、非使用場所の消灯の徹底 |

| | | | | |
|----------------|-------|--------------------|----|--|
| 認定番号 190470 | 名 称 | 財団法人群馬県環境検査事業団北毛支所 | | |
| | 代表者氏名 | 事業部長兼支所長 真下英次 | | |
| | 所在地 | 渋川市 金井1251-1 | | |
| | 事業内容 | 浄化槽法に基づく法定検査業務 | | |
| 事業規模 | 資本金 | 4000 | 千円 | |
| | 従業員数 | 9 | 人 | |

1 環境基本方針

浄化槽法に基づく検査事業及び浄化槽に関する調査研究等を通じて、生活環境の保全、公衆衛生の向上に寄与するという法人設立の目的をふまえ、次の環境基本方針のもとに、職員全員が環境保全に対する自覚を持ち、事業活動のあらゆる面において環境に配慮した行動を行い、循環型社会の形成に貢献することを目指します。

- 1 温室効果ガスの排出が少ない事業活動に努め、環境負荷の低減に努める。
- 2 全職員の環境保全に対する意識を深めるため、環境教育の充実に努める。
- 3 地域の環境保全活動に積極的に参加し、地域社会との交流に努める。

2 取組実績

| |
|-------------------------------|
| 昼休みの消灯、パソコンの電源OFF、非使用場所の消灯の徹底 |
| エコドライブの推進体制をつくる |
| 空調に頼らない室内温度管理に努める |
| 両面コピー、両面印刷の徹底 |
| 冷暖房温度の控えめ設定(冷房28、暖房20)の徹底 |

環境GS認定事業者報告書(平成19年度)

| | | | | |
|----------------|-------|------------------|----|--|
| 認定番号 190471 | 名 称 | 東京冷機工業株式会社前橋営業所 | | |
| | 代表者氏名 | 所長 長濱康 | | |
| | 所在地 | 前橋市 総社町151-15 | | |
| | 事業内容 | 空調設備設計施工保守メンテナンス | | |
| 事業規模 | 資本金 | 22 | 千円 | |
| | 従業員数 | 400 | 人 | |

1 環境基本方針

オゾン層の破壊問題及び温暖化問題が、世界共通の問題である事を認識し、以下の環境方針に沿って各社員が自覚を持ち、環境対策に応じた行動を実践する。

1. 社員全てが、フロン取扱い業者として自覚を持って行動する。
2. 廃棄物の発生を減少させる様、分別化に全員で取り組む。
3. 社内研修を通じ、環境への理解を深める。

2 取組実績

| |
|--------------------|
| 両面コピーの徹底 |
| 事務所内、不必要な照明の消灯 |
| フロンガス完全回収徹底 |
| 空調設定(冷房28、暖房20)の推進 |
| |

| | | | | |
|----------------|-------|---------------|----|--|
| 認定番号 190472 | 名 称 | 鶴川興業株式会社 | | |
| | 代表者氏名 | 代表取締役 高橋秀一 | | |
| | 所在地 | 前橋市 六供町705番地 | | |
| | 事業内容 | 建設業(建設・土木・舗装) | | |
| 事業規模 | 資本金 | 2500 | 千円 | |
| | 従業員数 | 45 | 人 | |

1 環境基本方針

建築・土木・舗装工事の総合建設業と、コンクリート・アスファルトの中間処理業、これらの事業活動が社会に与える環境負荷について、全従業員が下記の事項に基づき継続的に環境負荷の削減に努める取組みを致します。

1. 4R運動を推進します。
2. 環境目標を定め定期的に見直し継続的改善をします。
3. 環境関連法規制等を遵守します。

2 取組実績

| |
|-------------------|
| 照明、パソコン電源不要時OFF推進 |
| 空調温度の適正化 |
| エアコン清掃 |
| エコドライブ推進 |
| 車の点検・整備 |

環境GS認定事業者報告書(平成19年度)

| | | | | |
|----------------|-------|-------------|----|--|
| 認定番号 190473 | 名 称 | 株式会社サンレジ | | |
| | 代表者氏名 | 代表取締役 諸田康彦 | | |
| | 所在地 | 榛東村 新井526-1 | | |
| | 事業内容 | プラスチック成形加工 | | |
| 事業規模 | 資本金 | 10000 | 千円 | |
| | 従業員数 | 35 | 人 | |

1 環境基本方針

地球温暖化問題が人類共通の問題であることを認識し、次の基本方針に則し、社員一人一人が自覚をもって、事業活動のあらゆる面において、環境に配慮した行動を実践する。

1. 温室効果ガスの排出が持続的に削減できる事業活動を推進するための社内体制の整備に努める。
2. すべての社員が環境問題に対する理解を深め行動できるよう、環境教育の充実に努める。

2 取組実績

| |
|----------------------|
| 空調温度の適正化(冷房28、暖房20) |
| 昼休み、休憩時間、非使用場所の消灯の徹底 |
| 両面コピーの徹底 |
| 社内のリサイクル体制の整備 |
| 社員の意識改革の定着 |

| | | | | |
|----------------|-------|----------------------|----|--|
| 認定番号 190474 | 名 称 | 開発技術株式会社 | | |
| | 代表者氏名 | 代表取締役 折田浩一 | | |
| | 所在地 | 前橋市 元総社町947番地11 | | |
| | 事業内容 | 建設・補償コンサルタント、測量・各種調査 | | |
| 事業規模 | 資本金 | 10000 | 千円 | |
| | 従業員数 | 19 | 人 | |

1 環境基本方針

地球温暖化問題が人類共通の問題であることを認識し次の基本方針に則し、社員一人一人が自覚をもって事業活動のあらゆる面において環境に配慮した行動を実践する。

1. 温室効果ガスの排出が持続的に削減できる事業活動を推進するための社内体制に努める
2. すべての社員が環境問題に対する理解を深め行動できるよう環境教育の充実に努める

2 取組実績

| |
|---------------------|
| 空調温度の適正化(冷房28、暖房20) |
| 昼休み、非使用場所の消灯の徹底 |
| 両面コピーの徹底 |
| 使用済み用紙の裏面利用の徹底 |
| 使い捨て製品の購入、使用の抑制 |

環境GS認定事業者報告書(平成19年度)

| | | | | |
|----------------|---------|---------------------|----|--|
| 認定番号 190476 | 名 称 | 烏川流域森林組合 | | |
| | 代表者氏名 | 代表理事組合長 石井清一 | | |
| | 所 在 地 | 高崎市 倉渕町三ノ倉303 | | |
| | 事 業 内 容 | 林業(森林の造成・整備および管理事業) | | |
| 事 業 規 模 | 資 本 金 | 52434 | 千円 | |
| | 従 業 員 数 | 23 | 人 | |

1 環境基本方針

(基本方針)

地球温暖化問題が人類共通の問題であることを認識し、次の基本方針に則し、役職員一人一人が自覚をもって、日常事業活動のあらゆる面において、環境に配慮した行動を実践する。

1. 温室効果ガスの排出が持続的に削減できる事業活動を推進するための組合内部体制の整備に努める。
2. すべての役職員が環境問題に対する理解を深め行動できるよう、環境教育の充実に努める。
3. 温室効果ガスの排出量を最小限に抑制するために、可能性のあるあらゆる方策を推進する。
4. 事業用諸資材についても、可能な限り環境配慮製品の利用に努める。

2 取組実績

| |
|-----------------------------|
| 空調温度の適正化(冷房28、暖房20) |
| 反古紙の再利用 |
| 昼休み、休憩時間の消灯、非常用場所の点灯を最小限にする |
| 利用率の低い場所の蛍光管を半減する |
| 組合内部のリサイクル体制を整備する |

| | | | | |
|----------------|---------|--------------------|----|--|
| 認定番号 190477 | 名 称 | 株式会社阿左美建設工業 | | |
| | 代表者氏名 | 代表取締役 阿左美勝二 | | |
| | 所 在 地 | みどり市 大間々町大間々551番地1 | | |
| | 事 業 内 容 | 総合建設業 | | |
| 事 業 規 模 | 資 本 金 | 30000 | 千円 | |
| | 従 業 員 数 | 13 | 人 | |

1 環境基本方針

事業活動を行うことが、環境へ重大な影響を与えることを認識するとともに、持続可能な経済社会を形成することが不可欠と確信しています。そこで、社員一人一人が問題意識を持って行動し、地球環境の保全及び地域社会への貢献を目指すべく、環境に配慮した行動を実践します。

1. 事業活動に伴って発生する副産物の抑制とリサイクルの推進に努めます。
2. 全社員が環境へ配慮した事業活動に取り組むよう努めます。
3. 地域社会とのコミュニケーションを図り、地域環境の保全に努めます。

2 取組実績

| |
|--------------------------|
| 空調温度の適正化(冷房28、暖房20)の徹底 |
| 昼休み、休憩時間、非使用場所の消灯の徹底 |
| 両面コピーの徹底 |
| 工場現場で発生する副産物の抑制とリサイクルの推進 |
| 使い捨て製品の購入の抑制 |

環境GS認定事業者報告書(平成19年度)

| | | | | |
|----------------|-------|---------------|----|--|
| 認定番号 190478 | 名 称 | 有限会社 木間製作所 | | |
| | 代表者氏名 | 代表取締役 木間康市 | | |
| | 所 在 地 | 太田市 山ノ神町50-40 | | |
| | 事業内容 | 二輪車・自動車部品製造業 | | |
| 事業規模 | 資本金 | 800 | 千円 | |
| | 従業員数 | 10 | 人 | |

1 環境基本方針

環境法令を遵守し、基本方針を掲げ地球環境に配慮した事業活動を行います。

1. 地球環境に与える影響から電気使用量の削減、廃棄物の適正処理・削減・リサイクル、水使用量の削減、環境に配慮したグリーン購入の推進を目標に改善活動を行います。
2. 環境保全活動を推進するにあたり、環境目標を策定し取り組みます。
3. 環境方針は全従業員に周知するとともに環境教育を行い、従業員の環境に関する意識の向上に努めます。

2 取組実績

| |
|---------------------------|
| 空調温度の適正化(冷房28 程度、暖房20 程度) |
| 不要な照明のOFFの徹底 |
| |
| |
| |

| | | | | |
|----------------|-------|---------------|----|--|
| 認定番号 190479 | 名 称 | 株式会社 亀井製作所 | | |
| | 代表者氏名 | 代表取締役社長 亀井隆明 | | |
| | 所 在 地 | 伊勢崎市 上植木本町745 | | |
| | 事業内容 | 自動車部品の切削加工 | | |
| 事業規模 | 資本金 | 10000 | 千円 | |
| | 従業員数 | 88 | 人 | |

1 環境基本方針

(基本方針)環境保全活動を推進するにあたり、以下に主な活動項目をあげて取り組みます。

事業活動により生じる環境への影響を常に考慮し、廃棄物の削減・電力、水道の低減・資源、エネルギーの効率的使用に努めます。

環境関連の法律、条例等の要求事項を遵守します

環境活動の継続的改善を推進するにあたり、環境目標・環境活動計画を技術、経済に可能な範囲で定め、定期的な見直しを行い、環境保全に努めます。

環境方針を全従業員に周知し、環境保全の意識向上に努め、自覚と責任に基づき全員参加で推進します。

2 取組実績

| |
|-----------------------|
| エアー漏れの総点検、修理の実施 |
| 照明不要時のOFFの推進 |
| 空調温度の適正化(冷房28 、暖房20) |
| エアコンフィルターの清掃・点検の実施 |
| 照明器具の定期清掃・点検の実施 |

環境GS認定事業者報告書(平成19年度)

| | | | | |
|----------------|--------------|---|-------|----|
| 認定番号 190481 | 名 称 代表者氏名 | 株式会社 メーコー 代表取締役 成瀬義雄 | | |
| | 所 在 地 | 伊勢崎市 長沼町241番地 | | |
| | 事 業 内 容 | 自動車部品の製造・組み立て、精密板金加工、医療用自動検液機的设计・製造、プラスチック容器の検査ほか | | |
| | 事 業 規 模 | 資 本 金 | 50000 | 千円 |
| | | 従 業 員 数 | 290 | 人 |

1 環境基本方針

- 1、当社は環境側面を常に意識し、環境汚染の予防を推進し、環境マネジメントシステムの継続的改善を図る。
- 2、当社は、環境関連法規、規制、自主基準、及び当社が同意するその他の要求事項について順守する。
- 3、当社は、当社のかかわる環境側面のうち、以下の項目を活動のテーマとする。
地球温暖化防止のため、省エネルギー化を推進する。
資源の有効活用を推進する。
作業時の物理的環境リスクを低減させる。

2 取組実績

| |
|------------------------|
| エアコンの温度管理 |
| エアコンドライモードの推奨 |
| 昼休み不要照明の消灯 |
| 分別廃棄による、リサイクル化の推進 |
| フォークリフトをガソリンより電気式へ乗り換え |

| | | | | |
|----------------|--------------|---------------------------|------|----|
| 認定番号 190482 | 名 称 代表者氏名 | 株式会社 小暮商店 代表取締役 小暮雅丈 | | |
| | 所 在 地 | 館林市 近藤町2番地 | | |
| | 事 業 内 容 | サッシ、シャッター、ガラス、エクステリア組立、取付 | | |
| | 事 業 規 模 | 資 本 金 | 1000 | 千円 |
| | | 従 業 員 数 | 14 | 人 |

1 環境基本方針

- 地球温暖化問題が人類共通の問題であることを認識し、次の基本方針に則し社員一人一人が自覚をもって事業活動のあらゆる面において環境に配慮した行動を実践する。
- 社内の使用されていないところの電気を極力節電する。
 - 車両のアイドリングをさげ、極力環境にやさしい運転をする。
 - 冷暖房の温度に注意して冷えすぎ、暖めすぎに気をつける。
 - 紙の印刷を極力さげ、用紙、インクの削減に努める。

2 取組実績

| |
|-------------|
| 軽油(ガソリン)使用量 |
| 電気使用量 |
| 紙(コピー用紙)使用量 |
| |
| |

環境GS認定事業者報告書(平成19年度)

| | | | | |
|----------------|---------|--------------|----|--|
| 認定番号 190483 | 名 称 | 千保木精工株式会社 | | |
| | 代表者氏名 | 代表取締役 千保木総一 | | |
| | 所 在 地 | 伊勢崎市 宮子町1203 | | |
| | 事 業 内 容 | プレス金型製作及び部品 | | |
| 事 業 規 模 | 資 本 金 | 40000 | 千円 | |
| | 従 業 員 数 | 17 | 人 | |

1 環境基本方針

地球温暖化問題が人類他の生きもの共通の問題であることを認識し、次の基本方針に則し社員一人一人が自覚をもって事業活動のあらゆる面において環境に配慮した行動を実践する。

1. すべての社員が環境問題に対する理解を深め、環境教育の充実に努める。
2. 温室効果ガスの排出が持続的に削減できる事業活動を推進するための社内体制の整備に努める。

2 取組実績

| |
|-------------|
| 両面コピーの徹底 |
| 昼休み、休憩時間の消灯 |
| エコドライブの推進 |
| 空調管理責任者の設定 |
| 空調温度の適正化 |

環境GS認定事業者報告書(平成19年度)

| | | | | |
|----------------|--------------|------------------------------|------|----|
| 認定番号 190484 | 名 称 代表者氏名 | 株式会社 フジモク 代表取締役 藤井昭宏 | | |
| | 所 在 地 | 沼田市 大釜町327番地 | | |
| | 事 業 内 容 | 産業廃棄物処分業、廃木のリサイクル化、鉄・非鉄の再資源化 | | |
| | 事 業 規 模 | 資 本 金 | 6000 | 千円 |
| | | 従 業 員 数 | 25 | 人 |

1 環境基本方針

(経営理念)

株式会社フジモク(以下当社という)は、「産業廃棄物の資源化」事業を通し事業者から排出される廃棄物(建廃、木くず)を1kgでも多く再資源化により、循環社会に貢献する。

(環境方針)

私たちは『経営理念』に基づき、全従業員が以下の方針に従い環境保全活動を積極的に推進致します。

1. 環境側面に関係して適用可能な法的要求事項及び当社が同意するその他の要求事項(地域・近隣との協定、業界の行動規範等)を順守し、環境保全の向上を図ります。
2. 事業活動において、環境側面を常に意識し、経済的、技術的に可能な環境目的・目標を設定し、環境マネジメントシステムの継続的改善を推進します。
3. 事業活動が与える環境影響の中で、以下の項目を環境管理重点テーマとして、環境汚染の予防に取り組む。
 - 1) 全ての業務においてエネルギーの効率的利用を図り、省エネルギーの推進。
 - 2) 「建設廃材」「廃木」の再資源化活動の推進。
 - 3) 事務所内で使用するオフィス用紙等紙類の使用量削減活動の推進。
4. この環境管理重点テーマを達成するために、環境目的・目標を具体的に定め、これを達成するための「実施計画」を運用し、環境管理を推進します。
5. 環境方針は文書化し、全従業員に周知徹底し、一般の人にも公開します。

2 取組実績

| |
|----------------------------------|
| アイドリングストップ、法定速度及び低速運転の厳守 |
| 積載率の向上、最適ルート輸送、効率の良い運行ダイヤ |
| CO2濃度確認による供給空気量の調節、焼却物により自然燃焼へ切替 |
| 不要照明、休憩時の消灯蛍光器具、反射板の定期清掃 |
| 集荷物(受託)をグリーン購入を目指す営業 |

環境GS認定事業者報告書(平成19年度)

| | | | | |
|----------------|-------|------------------------|----|--|
| 認定番号 190485 | 名 称 | 有限会社 東和メンテナンス | | |
| | 代表者氏名 | 代表取締役 大澤悟 | | |
| | 所在地 | 太田市 山ノ神町234番地5 | | |
| | 事業内容 | ビル・建物の清掃管理、建築・設備一式(営繕) | | |
| 事業規模 | 資本金 | 300 | 千円 | |
| | 従業員数 | 8 | 人 | |

1 環境基本方針

地球温暖化問題が人類共通の問題であることを認識し、次の基本方針に則し、社員一人一人が自覚を持って、事業活動のあらゆる面において、環境に配慮した行動を実践する。

1. 温室効果ガスの排出が持続的に削減できる事業活動を推進するための社内体制の整備に努める。
2. 全ての社員が環境問題に対する理解を深め行動できるよう、環境教育の充実に努める。
3. 温室効果ガスの排出量が少ない製品の開発、普及に努める。

2 取組実績

| |
|--|
| |
| |
| |
| |
| |

| | | | | |
|----------------|-------|--------------------|----|--|
| 認定番号 190486 | 名 称 | 日本精密測器株式会社 | | |
| | 代表者氏名 | 代表取締役 竹内宏二 | | |
| | 所在地 | 渋川市 中郷2508-13 | | |
| | 事業内容 | 医療機器・光学機器の開発・製造・販売 | | |
| 事業規模 | 資本金 | 268000 | 千円 | |
| | 従業員数 | 140 | 人 | |

1 環境基本方針

事業活動に伴い発生する環境汚染を十分に認識し、環境面の目的・目標を掲げ、環境保全対策、汚染予防を実行し、定期的な見直しを行い、環境保全の継続的向上を図る。

特に「電気使用量の削減、廃棄物の削減、環境規制物質の使用量削減」の3項目は、当社の重要課題と位置づけ、全力を尽くす。

地域と自然に対し、調和と融和を図る企業活動に配慮すると共に、適切な環境管理を行う。

2 取組実績

| |
|---|
| 社有車を削減(14台 11台)、OA機器の削減(39台 14台)、購買新聞・雑誌の削減(10部 5部) |
| ハイブリッドカーの購入 |
| エコ商品の導入(水銀レス血圧計の販売開始) |
| 両面コピーの徹底 |
| 休み時間中の職場・空き会議室・トイレ・食堂の電気消灯 |

環境GS認定事業者報告書(平成19年度)

| | | | | |
|----------------|-------|------------------------|----|--|
| 認定番号 190487 | 名 称 | 葺前産業株式会社 | | |
| | 代表者氏名 | 代表取締役 橋本勝 | | |
| | 所在地 | 前橋市 上大島町176-44 | | |
| | 事業内容 | 医用機器部品、半導体装置部品、各種金型等製造 | | |
| 事業規模 | 資本金 | 48000 | 千円 | |
| | 従業員数 | 29 | 人 | |

1 環境基本方針

1. 環境関連の法規制及び当社が同意するその他の要求事項を順守するとともに、可能な範囲で自主管理基準を設けて環境管理の向上に努めます。
2. 環境マネジメントシステムを構築し技術的、経済的に可能な範囲で環境目的、環境目標を定めて継続的に改善を行うとともに、環境に対する汚染を予防します。特に、
 - ・省資源、省エネルギー、リサイクルを推進します。
 - ・環境汚染物質及び廃棄物の削減に努めます。
 - ・環境にやさしい事業活動を行うよう配慮します。
3. 必要な場合は、地域社会と連携して環境保全活動を展開します。

2 取組実績

| |
|-----------------------------------|
| ISO14001認証取得 |
| ISO認証取得に向けた環境活動によって環境意識の向上、体制が整った |
| 環境ISOの要求事項に従って、内部監査員教育及び内部監査を実施 |
| エアコンの使用期間、設定温度を順守 |
| 鉄くずや廃パレット、廃紙のリサイクルが促進された |

| | | | | |
|----------------|-------|-----------------|----|--|
| 認定番号 190488 | 名 称 | 株式会社 松村機械製作所 | | |
| | 代表者氏名 | 代表取締役 松村清 | | |
| | 所在地 | 太田市 新田小金井町278-1 | | |
| | 事業内容 | 自動車部品製造 | | |
| 事業規模 | 資本金 | 10000 | 千円 | |
| | 従業員数 | 45 | 人 | |

1 環境基本方針

- 地球温暖化問題に注目しCO2を削減することを基本方針として社員一人一人が認識して事業活動にあたり、環境に考慮した行動を実践する。
1. 温室効果ガスの排出が持続的に削減できる活動を推進する社内体制の整備
 2. 社員が環境問題に対する理解を深める、環境教育の充実を図る
 3. 今後もCO2を排出しない風力発電の改良、開発及び販売を強化し普及に努める

2 取組実績

| |
|--------------------------------------|
| 休憩・昼休み時間、不要場所の消灯の実施 |
| 空調温度の適正化(冷房28、暖房20) |
| 長期連休でのブレーカーによる節電の実施 |
| 電気機器へのステッカーによる表示の実施(常時入電・通常入電・遊休設備等) |
| 社有車とマイカー通勤のエコ運転の推進 |

環境GS認定事業者報告書(平成19年度)

| | | | | |
|----------------|--------------|--------------------------|-------|----|
| 認定番号 190489 | 名 称 代表者氏名 | 有限会社 五月女鉄工 取締役社長 吉田修次 | | |
| | 所 在 地 | 邑楽町 中野2310 | | |
| | 事 業 内 容 | 治具・金型、専用機的设计・製作 | | |
| | 事 業 規 模 | 資 本 金 | 10000 | 千円 |
| | | 従 業 員 数 | 14 | 人 |

1 環境基本方針

従業員一人一人が地球温暖化防止に対し、日常業務を通じCO2の排出量の削減に、積極的に取り組みます。

1. 温室効果ガス排出の削減が継続的に可能な社会システムの整備
2. 環境に対する理解を深めるための従業員への環境教育を行う
3. 温室効果ガスの排出量の少ない製品の製造法の確立・普及に努める

2 取組実績

| |
|------------------------|
| 灯油による暖房を止め、ヒートポンプ暖房に変更 |
| 昼休み、休憩時間、非使用場所の消灯の徹底 |
| 空調温度の適正化(冷房28、暖房20) |
| 従業員の意識改革 |
| 車のエコ運転の励行 |

| | | | | |
|----------------|--------------|------------------------|------|----|
| 認定番号 190490 | 名 称 代表者氏名 | 有限会社 川島精機 取締役社長 川島靖 | | |
| | 所 在 地 | 邑楽町 中野2643 | | |
| | 事 業 内 容 | 自動車部品の機械加工 | | |
| | 事 業 規 模 | 資 本 金 | 5000 | 千円 |
| | | 従 業 員 数 | 7 | 人 |

1 環境基本方針

地球温暖化防止に対し、その根源であるCO2の排出量の削減に従業員一体となり、積極的に取り組みます。

1. 温室効果ガス排出の削減が継続的に可能な社内体制の整備
2. 従業員の環境に対する理解を深めるための環境教育を行う
3. 温室効果ガスの排出量の少ない製品の製造法の確立・普及に努める

2 取組実績

| |
|---------------------------|
| 台車、棚などは作り替え、リサイクル出来るものに整備 |
| コピー紙は両面使用 |
| 使い捨て製品はエコ商品を購入 |
| トイレの電気をセンサー式に変更 |
| 事務所の空調は来客時のみ |

環境GS認定事業者報告書(平成19年度)

| | | | | |
|----------------|--------------|-----------------------|------|----|
| 認定番号 190491 | 名 称 代表者氏名 | 有限会社 大友 取締役社長 大野光範 | | |
| | 所 在 地 | 邑楽町 中野702 | | |
| | 事 業 内 容 | 縫製業(オリジナルエプロンの設計・製造) | | |
| | 事 業 規 模 | 資 本 金 | 3000 | 千円 |
| | | 従 業 員 数 | 6 | 人 |

1 環境基本方針

地球温暖化防止へ向け、CO2の排出量の削減に、全社一体となり、積極的に取り組んでまいります。

1. 温室効果ガス排出の削減が継続的に可能な社内体制の構築
2. 従業員の環境に対する理解を深めるための環境教育を行う
3. 温室効果ガスの排出量の少ない製品の製造法の確立・普及に努める

2 取組実績

| |
|----------------------|
| 省エネ商品購入 |
| バイオ燃料購入 |
| 昼休み、休憩時間、非使用場所の消灯の徹底 |
| 両面コピーの徹底 |
| エコドライブの推進 |

| | | | | |
|----------------|--------------|------------------------|------|----|
| 認定番号 190492 | 名 称 代表者氏名 | 有限会社 橋本商事 取締役社長 橋本茂 | | |
| | 所 在 地 | 邑楽町 中野3081 | | |
| | 事 業 内 容 | 自動車、電気のパイプ部品の加工、組立 | | |
| | 事 業 規 模 | 資 本 金 | 5000 | 千円 |
| | | 従 業 員 数 | 20 | 人 |

1 環境基本方針

地球温暖化問題を鑑み、その根源であるCO2の排出量の削減に企業、従業員一体となり、積極的に取り組みます。

1. 温室効果ガス排出の削減が継続的に可能な社内体制を構築します
2. 環境に対する理解を深めるための従業員環境教育を行います
3. 温室効果ガスの排出量の少ない製品の製造法の確立・普及に努めます

2 取組実績

| |
|---------------------------|
| 空調温度の抑制(冷房28、暖房20) |
| コピー紙の両面使用 |
| 使わない機械、電灯のOFF |
| 台車、棚などは作り替え、リサイクル出来るものに整備 |
| 納品、引き取り運搬の効率化 |

環境GS認定事業者報告書(平成19年度)

| | | | | |
|----------------|-------|---------------------------|----|--|
| 認定番号 190493 | 名 称 | グリーンリーフ株式会社 | | |
| | 代表者氏名 | 代表取締役 澤浦彰治 | | |
| | 所在地 | 昭和村 赤城原844-12 | | |
| | 事業内容 | 野菜の栽培、こんにゃく加工、野菜の冷凍・漬け物加工 | | |
| 事業規模 | 資本金 | 90000 | 千円 | |
| | 従業員数 | 45 | 人 | |

1 環境基本方針

地球温暖化問題が人類又作物にとっても重大な問題だと認識しています。年々気温が高くなって農作物の栽培が天候に左右されてしまいます。次世代へ安全な環境を手渡せるようにムダをなくして行きます。
 ・こまめに目をくばり、気がついた事に対して節約する

2 取組実績

| |
|-------------------|
| 冷房はつけない |
| リサイクル商品への切替 |
| 「ばなし」行動ゼロへ |
| 衣類の乾燥機のフィルター等のそうじ |
| トイレの使い方 |

| | | | | |
|----------------|-------|---------------|----|--|
| 認定番号 190494 | 名 称 | 株式会社 エルグ | | |
| | 代表者氏名 | 代表取締役 桐原正明 | | |
| | 所在地 | 富岡市 宇田250-6 | | |
| | 事業内容 | 金属製品製造業(めっき業) | | |
| 事業規模 | 資本金 | 20000 | 千円 | |
| | 従業員数 | 71 | 人 | |

1 環境基本方針

Harmony with the Earth for Future
 私たちは、地球環境の重要性を認識し、資源の有効活用と環境負荷の軽減に努めます。また、環境と調和した活動を続け、次の世代へ伝えていきます。

2 取組実績

| |
|------------------------|
| 営業車走行ルート効率化 |
| 社内リサイクル体制の強化(社員教育の充実) |
| 受注状況に応じた業務見直し(需要変化に対応) |
| |
| |

環境GS認定事業者報告書(平成19年度)

| | | | | |
|----------------|-------|----------------|----|--|
| 認定番号 190495 | 名 称 | 多野東部森林組合 | | |
| | 代表者氏名 | 代表理事組合長 新井和子 | | |
| | 所在地 | 藤岡市 藤岡1470番地の1 | | |
| | 事業内容 | 林業指導その他 | | |
| 事業規模 | 資本金 | 41896 | 千円 | |
| | 従業員数 | 25 | 人 | |

1 環境基本方針

地球温暖化防止に向け、次の基本方針の則し、事業活動のあらゆる面において職員一人一人が自覚を持って環境に配慮した行動を実践する。

1. 全ての職員が環境問題に対する理解を深め行動できるよう、環境教育の充実に努める。
2. 温室効果ガスの排出が持続的に削減できる事業活動を推進するための体制整備に努める。

2 取組実績

| |
|-----------------------|
| 昼休み、非使用場所の消灯 |
| 空調温度の適正設定 |
| 必要な時間に限った空調の使用 |
| エコドライブの推進 |
| OA機器は、エネルギー効率の高いものを選択 |

| | | | | |
|----------------|-------|---------------|----|--|
| 認定番号 190496 | 名 称 | 南牧村森林組合 | | |
| | 代表者氏名 | 代表理事組合長 大塚正太郎 | | |
| | 所在地 | 南牧村 小沢1304 | | |
| | 事業内容 | 林業 | | |
| 事業規模 | 資本金 | 30197 | 千円 | |
| | 従業員数 | 19 | 人 | |

1 環境基本方針

地球温暖化防止に一翼を担う作業に携わっていることを自負し、作業にかかる細部から環境に配慮した行動を実践する。

2 取組実績

| |
|-----------------------|
| 冬期暖房の抑制 |
| 昼休み、不使用場所の消灯 |
| 両面コピーと封筒再利用 |
| 利用頻度の少ない車両の処分(燃料消費削減) |
| |

環境GS認定事業者報告書(平成19年度)

| | | | | | | | | | |
|--|--------------|-----------------------------|------|----|----------|---------|-----------|--|--|
| 認定番号 190497 | 名 称 代表者氏名 | シルフ・エコロジー株式会社 代表取締役 長嶋拓史 | | | | | | | |
| | 所 在 地 | 伊勢崎市 境百々東6-10-103 | | | | | | | |
| | 事 業 内 容 | 太陽光発電・オール電化販売 | | | | | | | |
| | 事 業 規 模 | 資 本 金 | 3000 | 千円 | | | | | |
| | | 従 業 員 数 | 2 | 人 | | | | | |
| <p>1 環境基本方針</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>地球環境・地区環境の改善を二酸化炭素削減に目を向けております。そこで社員全員、温暖化ストップへ向け当社事業全てに対して環境へ配慮した行動を行い、以下の通りとする。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 二酸化炭素削減のため、営業車全てを二酸化炭素低排出車とする。 2. 社内を含め、各自の冷暖房の設定温度を暖房20 ・冷房28 とする。 3. 当社の販売する省エネ商品を各家庭へ推奨する。 </div> <p>2 取組実績</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 5px;"> <tr><td style="text-align: center;">空調温度の適正化</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">休み時間の消灯</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">省エネタップの使用</td></tr> <tr><td style="text-align: center;"> </td></tr> <tr><td style="text-align: center;"> </td></tr> </table> | | | | | 空調温度の適正化 | 休み時間の消灯 | 省エネタップの使用 | | |
| 空調温度の適正化 | | | | | | | | | |
| 休み時間の消灯 | | | | | | | | | |
| 省エネタップの使用 | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | |

| | | | | | | | | | |
|--|--------------|------------------------|-------|----|-----------|-------------|-----------|--------------|----------|
| 認定番号 190498 | 名 称 代表者氏名 | 中山建設株式会社 代表取締役 中山力夫 | | | | | | | |
| | 所 在 地 | 沼田市 薄根町4028番地 | | | | | | | |
| | 事 業 内 容 | 建設業 | | | | | | | |
| | 事 業 規 模 | 資 本 金 | 25000 | 千円 | | | | | |
| | | 従 業 員 数 | 10 | 人 | | | | | |
| <p>1 環境基本方針</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>地球温暖化問題が人類共通の問題である事を認識し次の基本方針に則し、社員一人一人が自覚を持って、事業活動のあらゆる面において、環境に配慮した行動を実践する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 温室効果ガスの排出が持続的に削減できる事業活動を推進する為の社内体制の整備に努める。 2. すべての社員が環境問題に対する理解を深め行動できるよう、環境の充実に努める 3. 温室効果ガスの排出量が少ない製品の開発・普及に努める。 </div> <p>2 取組実績</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 5px;"> <tr><td style="text-align: center;">エコドライブの徹底</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">非使用場所の消灯の徹底</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">高効率蛍光灯の設置</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">速度の出し過ぎに注意する</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">室内温度の適正化</td></tr> </table> | | | | | エコドライブの徹底 | 非使用場所の消灯の徹底 | 高効率蛍光灯の設置 | 速度の出し過ぎに注意する | 室内温度の適正化 |
| エコドライブの徹底 | | | | | | | | | |
| 非使用場所の消灯の徹底 | | | | | | | | | |
| 高効率蛍光灯の設置 | | | | | | | | | |
| 速度の出し過ぎに注意する | | | | | | | | | |
| 室内温度の適正化 | | | | | | | | | |

環境GS認定事業者報告書(平成19年度)

| | | | | |
|----------------|-------|------------|----|--|
| 認定番号 190499 | 名 称 | 小林産業株式会社 | | |
| | 代表者氏名 | 代表取締役 小林賢一 | | |
| | 所在地 | みなかみ町羽場826 | | |
| | 事業内容 | 製材業 | | |
| 事業規模 | 資本金 | 23000 | 千円 | |
| | 従業員数 | 11 | 人 | |

1 環境基本方針

世界中で地球温暖化問題が叫ばれはじめ、個人としても考えるようになったと思いますので、職場においても小さなこと一つの積み重ねで環境をよくし、社会に貢献したいと思います。

1. 作業場は常に整理整頓に心がける
2. 作業服に着いた粉塵などはエアールではらい清潔感を保つ

2 取組実績

| |
|--------------------|
| 事務所内の温度管理者は係を決めて行う |
| 休憩所は明るい日の電気消灯に努める |
| 事務用品の無駄な使い方をしない |
| コピー用紙節約のための工夫をする |
| |

| | | | | |
|----------------|-------|---------------|----|--|
| 認定番号 190500 | 名 称 | 利根町森林組合 | | |
| | 代表者氏名 | 代表理事組合長 大橋宣宗 | | |
| | 所在地 | 沼田市 利根町追貝37番地 | | |
| | 事業内容 | 森林の植付、保育 | | |
| 事業規模 | 資本金 | 5196 | 千円 | |
| | 従業員数 | 7 | 人 | |

1 環境基本方針

地球温暖化問題を身近な自然環境を通じて近年肌で感じている。そのため、職員、作業員各々が事業の中で実施できることに取り組んでいきたい。

2 取組実績

| |
|----------|
| 空調の適正化 |
| 暖機運転の短縮 |
| 両面コピーの徹底 |
| |
| |

環境GS認定事業者報告書(平成19年度)

| | | | | |
|----------------|---------|----------------------|----|--|
| 認定番号 190501 | 名 称 | 沼田エフエム放送株式会社 | | |
| | 代表者氏名 | 代表取締役社長 平井良明 | | |
| | 所 在 地 | 沼田市 下之町888 | | |
| | 事 業 内 容 | コミュニティラジオ放送局(FM OZE) | | |
| 事 業 規 模 | 資 本 金 | 98000 | 千円 | |
| | 従 業 員 数 | 12 | 人 | |

1 環境基本方針

地球温暖化が人類共通の問題であることを認識し、社員一人一人が環境意識を高め業務や日常生活において身近なことから環境取り組みを促進していく企業として意識啓発や活動促進を行う。

1. 職場と家庭で実践できる取り組み内容を社内に掲示。
2. 社員一人一人の二酸化炭素の排出抑制につながるアクションの促進。
3. 放送業務をとおして地域の方々への地球温暖化防止の呼びかけの実践

2 取組実績

| |
|-------------|
| 事務所空調温度の適正化 |
| 空調設備の清掃 |
| 未使用場所消灯 |
| 省エネのよびかけ |
| |

| | | | | |
|----------------|---------|-----------------|----|--|
| 認定番号 190502 | 名 称 | 株式会社 椎坂建設 | | |
| | 代表者氏名 | 代表取締役 小林好 | | |
| | 所 在 地 | 沼田市 利根町大原1523-2 | | |
| | 事 業 内 容 | 一般建設業 | | |
| 事 業 規 模 | 資 本 金 | 20000 | 千円 | |
| | 従 業 員 数 | 29 | 人 | |

1 環境基本方針

当社は環境との調和が社会の一員たる企業の重要な責務であることを認識し、環境の保全に則した生産活動と環境の保全に係わる技術の要求を通して、社会の持続ある前進への参加を目標に向かって事業に取り組みます。

2 取組実績

| |
|----------------------------|
| 前年度は冬期降雪量が多く、暖房器具の使用が大きかった |
| 社内にGSへの取組みが徹底するまでに至っていなかった |
| |
| |

環境GS認定事業者報告書(平成19年度)

| | | | | |
|----------------|--------------|------------------------------|---|----|
| 認定番号 190503 | 名 称 代表者氏名 | 特定非営利活動法人 里山の学校 代表理事 増島孝志 | | |
| | 所 在 地 | みなかみ町 須川774-1 | | |
| | 事 業 内 容 | 木を利用した二次製品の製作 | | |
| | 事 業 規 模 | 資 本 金 | 0 | 千円 |
| | | 従 業 員 数 | 4 | 人 |

1 環境基本方針

地球温暖化問題が現在の大きな社会問題であることを認識し、次の基本方針に則し、環境に配慮した事業活動を実践する。

1. 温室効果ガスの排出削減を考慮した事業活動を推進するための社会体制の整備に努める。
2. 環境問題に対する理解を深め行動できるよう、環境教育の充実に努める
3. 温室効果ガスの排出量が少ない製品の製造・普及に努める

2 取組実績

| |
|-----------|
| 温度調節の徹底 |
| エコドライブの徹底 |
| ゴミの分別の徹底 |
| |
| |

| | | | | |
|----------------|--------------|---------------------------|------|----|
| 認定番号 190504 | 名 称 代表者氏名 | 有限会社 丸喜材木店 代表取締役 小林喜八郎 | | |
| | 所 在 地 | みなかみ町 羽場20 | | |
| | 事 業 内 容 | 木材製材販売業 | | |
| | 事 業 規 模 | 資 本 金 | 5000 | 千円 |
| | | 従 業 員 数 | 6 | 人 |

1 環境基本方針

地球温暖化問題をより身近な深刻な問題として捉え、社員各自が自覚し、温暖化防止につながるあらゆる事業活動を積極的に実践していく。

2 取組実績

| |
|----------------------|
| エコドライブの実施、推進 |
| 空調温度の適正化(C-28、H-20) |
| 両面コピーの推進 |
| 製品出荷時の結束用資材の省略、リサイクル |
| 多重運搬の防止 |

環境GS認定事業者報告書(平成19年度)

| | | | | |
|----------------|---------|---------------|----|--|
| 認定番号 190506 | 名 称 | 萬屋建設株式会社 | | |
| | 代表者氏名 | 取締役社長 星野雅子 | | |
| | 所 在 地 | 沼田市 上原町1756-2 | | |
| | 事 業 内 容 | 建設業 | | |
| 事 業 規 模 | 資 本 金 | 50000 | 千円 | |
| | 従 業 員 数 | 54 | 人 | |

1 環境基本方針

地球温暖化問題が人類共通の問題であることを認識し、次の基本方針に則し、社員一人一人が環境に配慮した行動を実践する。

1. 温室効果ガスの排出が持続的に削減できる事業活動を推進するための社内体制の整備に努める。
2. すべての社員が環境問題に対する理解を深め行動できるよう、環境教育の充実に努める。

2 取組実績

| |
|--------------|
| 空調温度の適正化に努める |
| 空調管理責任者を選任する |
| 昼休み、休憩時間の消灯 |
| 非使用場所の消灯の徹底 |
| 省エネ製品の使用推進 |

| | | | | |
|----------------|---------|---------------|----|--|
| 認定番号 190507 | 名 称 | 有限会社カーゴサービス | | |
| | 代表者氏名 | 取締役 大塚桂一 | | |
| | 所 在 地 | 伊勢崎市 曲沢町386番地 | | |
| | 事 業 内 容 | 運輸業、古物営業 | | |
| 事 業 規 模 | 資 本 金 | 6000 | 千円 | |
| | 従 業 員 数 | 12 | 人 | |

1 環境基本方針

地球温暖化問題ならびに化石燃料の枯渇が人類共通の問題であることを認識し、次の基本方針に則し、従業員一人一人が自覚をもって、事業活動のあらゆる面において、環境に配慮した行動を実践する。

1. 温室効果ガスの排出が持続的に削減できる事業活動を推進するための社内の整備に努める。
2. 全ての従業員が環境問題に対する理解を深め行動できるよう、環境教育の充実に努める。
3. 温室効果ガスの排出の少ない製品の購入に努め、積極的に導入していく。

2 取組実績

| |
|---------------------------|
| 休憩時間等や非使用場所の消灯 |
| エコドライブ推進体制を整え、組織的に活動し実践する |
| 空調温度の適正化に努める(冷房28、暖房20) |
| ハイブリット・省燃費トラックの積極的な導入に努める |
| 社内のリサイクル体制の徹底 |

環境GS認定事業者報告書(平成19年度)

| | | | | |
|----------------|---------|----------------|----|--|
| 認定番号 190508 | 名 称 | 株式会社ウエノテクニカ | | |
| | 代表者氏名 | 代表取締役 中塚猛志 | | |
| | 所 在 地 | 桐生市 広沢町5丁目1311 | | |
| | 事 業 内 容 | 自動車製造設備の設計及び製造 | | |
| 事 業 規 模 | 資 本 金 | 96000 | 千円 | |
| | 従 業 員 数 | 115 | 人 | |

1 環境基本方針

私たちは、世界に誇る自動車生産設備を提供する企業として、車体を主体とした溶接、組立設備を製造する専門企業活動を通じ、地球温暖化問題を重要課題と認識し、環境負荷を最小限にとどめ、汚染の予防に努めるために、事業計画のあらゆる面で環境に配慮した行動を実践します。

1. 社内コミュニケーションのあらゆる手段を通じて全社員に理解されるよう周知徹底を行う。
2. リサイクル、省エネルギー、省資源に努めます。

2 取組実績

| |
|------------------------|
| コンプレッサーをインバーターの物に交換 |
| 昼休み休憩時間、非使用場所の消灯 |
| エアコンを省エネタイプに交換(全体の1/3) |
| 環境に対する認識の向上 |
| |

環境GS認定事業者報告書(平成19年度)

| | | | | |
|----------------|-------|--------------------------|----|--|
| 認定番号 190509 | 名 称 | 株式会社アーク | | |
| | 代表者氏名 | 代表取締役社長 尾高清文 | | |
| | 所在地 | 富岡市 上丹生165-3 | | |
| | 事業内容 | 鉄、ステンレス鋼材の製品加工及び製品セッティング | | |
| 事業規模 | 資本金 | 100000 | 千円 | |
| | 従業員数 | 24 | 人 | |

1 環境基本方針

(環境理念)

私たちは、未来に向けて素晴らしい地球環境を引き継いでいかねばなりません。環境保護活動は、我々人間の使命であり、事業活動においても重要なテーマと捉えています。

私たちは、地球環境保全に自ら責任を持ち、誠実に取り組んでいきます。

(環境方針)

1. 私たちは、鉄・非鉄金属などの限りある資源を使用し、製品の設計製造業務を通じて循環型社会の形成に努めていきます。

私たちは、事業活動を通じて環境負荷を少なくする為に目的・目標を定め、定期的な見直しを行い、環境マネジメントシステムの継続的な改善と汚染の予防に努め、社会的責任を果たしていきます。

2. 関連する環境法規制及び当社の同意するその他の要求事項を順守します。

3. 環境に与える影響を低減する為に次の事項に対して積極的に取り組みます。

加工工程で発生する端材の再使用を促進し、省資源化を進めます。

事業活動の中で発生する廃棄物の削減、リサイクルに努めます。

事業活動の中で使用する電力等の省エネ活動に努めます。

4. 地域社会での環境保全活動に参画し、社会貢献をしていきます。

5. この環境方針は、全従業員に周知し、社内に掲示すると共に一般に公開します。

2 取組実績

| |
|----------------------------|
| シーズンを問わず室内温度を22 ~ 27 以下にする |
| 照明器具・OA機器類の省エネ(日常点検の実施) |
| 製造設備の未使用時電源のOFF、日常点検、不良率低下 |
| 分別りによるサイクル率の向上 |
| 自社CO2排出量の把握と減量化 |

環境GS認定事業者報告書(平成19年度)

| | | | | |
|----------------|---------|--------------|----|--|
| 認定番号 190510 | 名 称 | 株式会社丸橋製作所 | | |
| | 代表者氏名 | 代表取締役社長 丸橋 幹 | | |
| | 所 在 地 | 伊勢崎市 柳原町61番地 | | |
| | 事 業 内 容 | 電気機器部品製造 | | |
| 事業規模 | 資 本 金 | 3000 | 千円 | |
| | 従 業 員 数 | 60 | 人 | |

1 環境基本方針

地球温暖化問題が人類共通の問題であることを認識し、次の基本方針に則し、社員一人一人が自覚をもって、事業活動のあらゆる面において、環境に配慮した行動を実践する。

1. 温室効果ガスの排出が持続的に削減できる事業活動を推進するために社内体制を整備する。
2. すべての社員が環境問題に対する理解を深め行動できるよう、環境教育の充実に努める。

2 取組実績

| |
|---------------------|
| 空調の必要な場所、時間に限ったの使用 |
| 昼休み、非使用場所の消灯 |
| 使用済みのコピー用紙の再利用 |
| 電子情報利用によるペーパーレス化の推進 |
| 会議資料の簡素化 |

| | | | | |
|----------------|---------|----------------|----|--|
| 認定番号 190511 | 名 称 | 株式会社新井土木 | | |
| | 代表者氏名 | 代表取締役 新井正則 | | |
| | 所 在 地 | みどり市 東町萩原140番地 | | |
| | 事 業 内 容 | 建設業 | | |
| 事業規模 | 資 本 金 | 3800 | 千円 | |
| | 従 業 員 数 | 21 | 人 | |

1 環境基本方針

地球温暖化問題が人類共通の問題であることを認識し、次の基本方針に則し、社員一人一人が自覚をもって、事業活動のあらゆる面において、環境に配慮した行動を実践する。

1. 温室効果ガスの排出が持続的に削減できる事業活動を推進するための社内体制の整備に努める。
2. すべての社員が環境問題に対する理解を深め行動できるよう、環境教育の充実に努める。

2 取組実績

| |
|------------------------------|
| 蛍光灯交換の際は、高効率蛍光灯を使用 |
| 事務所内の空調温度の適正化に努める(冷房28、暖房20) |
| 昼休みの消灯の徹底 |
| 事務所内の出勤していない部署の消灯 |
| 冬期の暖機運転は最低限にする |

環境GS認定事業者報告書(平成19年度)

| | | | | |
|----------------|---------|---------------|----|--|
| 認定番号 190512 | 名 称 | 株式会社山藤組 | | |
| | 代表者氏名 | 代表取締役 山藤浩一 | | |
| | 所 在 地 | 桐生市 黒保根町水沼乙53 | | |
| | 事 業 内 容 | 土木・建築物の施工 | | |
| 事 業 規 模 | 資 本 金 | 50000 | 千円 | |
| | 従 業 員 数 | 31 | 人 | |

1 環境基本方針

地球温暖化の防止についての対策が我が国の緊急の課題である点について社内でも一致した自覚の基に、当社の事業活動の中で環境の改善に結びつくべく社員全員で下記基本方針により活動する。

1. 全社員で環境問題を自覚し、環境に配慮した行動を行う。
2. 当社の事業活動により発生する副産物のリサイクルを推進する。
3. 各種団体の環境対策事業に積極的に参加する。

2 取組実績

| |
|---------------------------|
| 社内の照明、電子機器の不必要な電気を落とす |
| 社内の空調を制限する(夏期28、冬期20) |
| 社内用のプリントは使用済用紙の裏面を使用する |
| 事務所敷地内の緑化を整備する |
| 事務用品を大切にし、リサイクルに努め途中廃棄しない |

| | | | | |
|----------------|---------|---------------|----|--|
| 認定番号 190513 | 名 称 | 大川建設株式会社 | | |
| | 代表者氏名 | 代表取締役 大川弘志 | | |
| | 所 在 地 | 桐生市 新里町小林47番地 | | |
| | 事 業 内 容 | 総合建設業(土木・建築) | | |
| 事 業 規 模 | 資 本 金 | 23000 | 千円 | |
| | 従 業 員 数 | 24 | 人 | |

1 環境基本方針

地球温暖化問題が人類共通の問題であることを認識し、次の基本方針に則し、社員一人一人が自覚を持って、事業活動のあらゆる面において環境に配慮した行動を実践する。

1. 環境問題を自覚し、持続的に削減できる事業活動を推進するための社内体制の整備に努める。
2. 各種団体の環境対策事業に積極的に参加する。

2 取組実績

| |
|--------------------|
| 休憩時間、非使用場所の消灯の徹底 |
| 暖かい日は、空調に頼らないよう努める |
| アイドリングストップの徹底 |
| エコドライブに努めた |
| 社内用で使用済み用紙の裏面利用の実施 |

環境GS認定事業者報告書(平成19年度)

| | | | | |
|----------------|---------|---------------------|----|--|
| 認定番号 190514 | 名 称 | 桐生広域森林組合 | | |
| | 代表者氏名 | 代表理事組合長 遠藤定央 | | |
| | 所 在 地 | 桐生市 相生町3-560-5 | | |
| | 事 業 内 容 | 森林施業(植林、下刈り、間伐、伐採等) | | |
| 事 業 規 模 | 資 本 金 | 17165 | 千円 | |
| | 従 業 員 数 | 25 | 人 | |

1 環境基本方針

地域の森林を整備する中核的な担い手として、森林整備や管理に関する事業を適正かつ効率的に行い、組合員だけでなく、地域からも信頼される組織となるよう、事業活動のあらゆる面において環境に配慮した行動を実践する。

1. 温室効果ガスの排出が持続的に削減できる事業活動を推進するための社内体制の整備に努める。
2. すべての職員が環境問題に対する理解を深め行動できるよう、環境教育の充実に努める。

2 取組実績

| |
|----------------------|
| 昼休み、休憩時間、非使用場所の消灯の徹底 |
| 両面コピーの徹底 |
| 社内のリサイクル体制の整備 |
| 空調温度の適正化(冷房28、暖房20) |
| 使い捨て製品の購入の抑制 |

| | | | | |
|----------------|---------|-----------------|----|--|
| 認定番号 190515 | 名 称 | 株式会社タイヨー | | |
| | 代表者氏名 | 代表取締役 川合義一 | | |
| | 所 在 地 | みどり市 大間々町浅原1458 | | |
| | 事 業 内 容 | 金属部品加工 | | |
| 事 業 規 模 | 資 本 金 | 30000 | 千円 | |
| | 従 業 員 数 | 41 | 人 | |

1 環境基本方針

地球温暖化問題を認識し、次の基本方針に則し、社員が自覚を持って環境に配慮した行動を実践する。

1. 温室効果ガスの排出を削減できる社内体制の整備に努める。
2. すべての社員が環境についての勉強を行う。

2 取組実績

| |
|---------------------------|
| 昼休みの消灯実施 |
| 空調温度の適正化 |
| ゴミ焼却炉を廃止にし、産廃業者に委託(リサイクル) |
| コピー用紙のリサイクル |
| 消灯活動の実施 |

環境GS認定事業者報告書(平成19年度)

| | | | | |
|----------------|---------|----------------|----|--|
| 認定番号 190516 | 名 称 | 株式会社北村土木 | | |
| | 代表者氏名 | 代表取締役社長 北村隆 | | |
| | 所 在 地 | 桐生市 相生町二丁目85-2 | | |
| | 事 業 内 容 | 土木・建築物の施工 | | |
| 事 業 規 模 | 資 本 金 | 40000 | 千円 | |
| | 従 業 員 数 | 10 | 人 | |

1 環境基本方針

地球温暖化問題等の環境悪化が地球規模での広がりを見せる昨今、この問題の重要性を認識し社員一丸となり環境に配慮した行動を実践する。

1. 「限りある資源」を認識し、資源の無駄遣いはしない。
2. 当社の事業活動により発生する建設副産物の再資源化を徹底する。
3. 社員全員にこの環境基本方針を周知徹底させ自ら何が出来るかを考えさせる。

2 取組実績

| |
|-----------------------|
| 昼休み等は電気を落とす。 |
| 社内の空調を制御する(冷房28、暖房22) |
| 暖機運転は、10分以内 |
| 残業によるエネルギー消費を抑える |
| 消費電力の少ない器具を使用する |

| | | | | |
|----------------|---------|---------------------|----|--|
| 認定番号 190517 | 名 称 | 増田建設株式会社 | | |
| | 代表者氏名 | 代表取締役 増田文明 | | |
| | 所 在 地 | みなかみ町 後閑84-3 | | |
| | 事 業 内 容 | 建設業(土木工事・建設工事他19業種) | | |
| 事 業 規 模 | 資 本 金 | 20000 | 千円 | |
| | 従 業 員 数 | 33 | 人 | |

1 環境基本方針

1. 環境保全を継続的に推進するため、環境マネジメントシステムを構築・運用して汚染の予防を図る。
2. 環境に関する法律・規制並びに業界からの要求事項等を遵守する。
3. 環境保全活動では、次の事項を重点項目として環境の目的・目標を定めて実行する。
 - (1) 業務改善によって潜在的環境影響を低減する。
 - (2) 産業廃棄物の再利用と分別の強化。
 - (3) 振動・騒音による苦情の皆無
 - (4) 環境問題に配慮した住宅の供給及び促進

2 取組実績

| |
|---------------------|
| 室内温度の適正な設定(夏28、冬20) |
| 昼休み、未使用箇所の消灯の徹底 |
| OA機器の省電力機能の活用 |
| 両面コピー等の実施 |
| コピー用紙の裏面利用の推進 |

環境GS認定事業者報告書(平成19年度)

| | | | | |
|----------------|-------|--------------|----|--|
| 認定番号 190518 | 名 称 | 片品村森林組合 | | |
| | 代表者氏名 | 代表理事組合長 高山國利 | | |
| | 所在地 | 片品村 鎌田3967番地 | | |
| | 事業内容 | 森林造成 | | |
| 事業規模 | 資本金 | 4835 | 千円 | |
| | 従業員数 | 2 | 人 | |

1 環境基本方針

地球温暖化問題が人類共通の問題であることを認識し、組合員、役職員ともども、事業活動のあらゆる面で環境問題に対する理解を深め、行動できるよう環境教育の充実に努める。

2 取組実績

| |
|---------|
| 休憩時間の消灯 |
| 暖房時間の短縮 |
| 暖房温度の抑制 |
| |
| |

| | | | | |
|----------------|-------|---------------|----|--|
| 認定番号 190521 | 名 称 | 泉土建株式会社 | | |
| | 代表者氏名 | 代表取締役 腰越克彦 | | |
| | 所在地 | みなかみ町 川上32-20 | | |
| | 事業内容 | 建設業 | | |
| 事業規模 | 資本金 | 35000 | 千円 | |
| | 従業員数 | 20 | 人 | |

1 環境基本方針

地球温暖化が全世界にもたらす多大な影響に憂慮し、社員一人一人が当事者意識をもって温室効果ガスを持続的に削減するために次の活動を実践する。
 1. 環境教育の実践に積極的に取り組み、全社員の意識の高揚に努める。
 2. 誰にでもできる身近な取り組みを奨励し、一人一人が実践する環境対策への体制づくりに努める。
 3. 社内の省エネ及び現場における環境対応型重機車両の積極的活用、資材のリサイクル活用体制の整備に努める。

2 取組実績

| |
|---------------------------|
| 昼休み、非使用場所の消灯の徹底 |
| 残業時間の見直し(就業時間内作業に努める) |
| 事務室内温度の適正化(冷房28、暖房20に努める) |
| |
| |

環境GS認定事業者報告書(平成19年度)

| | | | | |
|----------------|--------------|--------------------------|------|----|
| 認定番号 190522 | 名 称 代表者氏名 | 富士木材工業株式会社 代表取締役 松井信一 | | |
| | 所 在 地 | 沼田市 恩田町600-1 | | |
| | 事 業 内 容 | 木材、製材業 | | |
| | 事 業 規 模 | 資 本 金 | 1000 | 千円 |
| | | 従 業 員 数 | 15 | 人 |

1 環境基本方針

廃材を商品化している。

2 取組実績

| |
|-------------------------|
| 空調温度の適正化(冷房28、暖房20)に努める |
| 昼休み、休憩時間、非使用場所の消灯の徹底 |
| 両面コピーの徹底 |
| 使い捨て製品の購入の抑制 |
| フォークリフトのエンジンをこまめに切る |

| | | | | |
|----------------|--------------|-----------------------|-------|----|
| 認定番号 190523 | 名 称 代表者氏名 | 株式会社吉田組 取締役社長 吉田栄佐 | | |
| | 所 在 地 | 桐生市 宮本町1-1-22 | | |
| | 事 業 内 容 | 建設業 | | |
| | 事 業 規 模 | 資 本 金 | 40000 | 千円 |
| | | 従 業 員 数 | 18 | 人 |

1 環境基本方針

地球温暖化の防止についての対策が我が国も緊急の課題であるので、当社においてもその自覚の基に、事業活動の中で環境の改善に結びつくべく社員全員で下記方針により活動する。

1. 社員全員で環境問題を自覚し、環境に配慮した行動を行う。
2. 当社の事業活動により発生する副産物のリサイクルを推進する。
3. 各種団体の環境対策事業に積極的に参加する。

2 取組実績

| |
|--------------------------|
| 社内の空調の制限(夏期28、冬期20) |
| 社内の照明、電子機器の不必要な電気をこまめに消す |
| 車の急発進、急停車をやめ、エコドライブを推進する |
| 現場においても上記事項を遵守する |

環境GS認定事業者報告書(平成19年度)

| | | | | |
|----------------|-------|---------------|----|--|
| 認定番号 190524 | 名 称 | 三山住建株式会社 | | |
| | 代表者氏名 | 代表取締役 金子政春 | | |
| | 所在地 | 沼田市 井土上町123番地 | | |
| | 事業内容 | 木材卸売業 | | |
| 事業規模 | 資本金 | 1000 | 千円 | |
| | 従業員数 | 3 | 人 | |

1 環境基本方針

主に広葉樹材の原木販売及び製材品販売を事業としています。環境に配慮した行動を実践する。

1. 環境に関する勉強会等に参加し環境思想の向上をはかる
2. 小さい事から実行する心がけ
3. 物を大事に使用する

2 取組実績

| |
|------------------------|
| 昼休み、休憩時間の消灯 |
| 大型営業乗用車をできるだけ軽車両の使用にする |
| 銀行等への業務をパソコンに変更 |
| コピー用紙を両面使用 |
| |

| | | | | |
|----------------|-------|----------------|----|--|
| 認定番号 190525 | 名 称 | 株式会社関東トラベルサービス | | |
| | 代表者氏名 | 代表取締役 山口剛 | | |
| | 所在地 | 高崎市 倉賀野町1056-5 | | |
| | 事業内容 | 旅行業 | | |
| 事業規模 | 資本金 | 10000 | 千円 | |
| | 従業員数 | 3 | 人 | |

1 環境基本方針

社員一人一人が環境に配慮し各々が省エネの自覚を持ち、地球温暖化対策に努めていきます。

取組内容記載事項を遵守し、エネルギー消費は最小限に、そしてゴミはなるべく出さない事を指針とし徹底するよう努めます。

2 取組実績

| |
|-------------------------|
| 両面コピーの徹底 |
| パソコン、印刷機、コピー機等こまめに電源を切る |
| 自転車、徒歩の推奨 |
| ウォームビズ対策 |
| 節電対策の徹底 |

環境GS認定事業者報告書(平成19年度)

| | | | | |
|----------------|-------|-------------|----|--|
| 認定番号 190526 | 名 称 | 山平木材有限会社 | | |
| | 代表者氏名 | 代表取締役 平田征二郎 | | |
| | 所在地 | 沼田市 井土上町776 | | |
| | 事業内容 | 木材製品製造販売業 | | |
| 事業規模 | 資本金 | 10000 | 千円 | |
| | 従業員数 | 19 | 人 | |

1 環境基本方針

地球温暖化問題が私たち皆に共通の問題として、従業員一人一人が事業活動のみならず家庭での生活においても地球環境に配慮した行動を実践できるよう働きかけていく。

2 取組実績

| |
|---------------------|
| エコドライブの徹底 |
| 段取りの適正化による機械空転時間の削減 |
| コピー・FAX用紙の再利用 |
| |
| |

| | | | | |
|----------------|-------|----------------|----|--|
| 認定番号 190527 | 名 称 | 有限会社小坂橋土建 | | |
| | 代表者氏名 | 代表取締役 小坂橋猛 | | |
| | 所在地 | 富岡市 妙義町下高田1032 | | |
| | 事業内容 | 建設業 | | |
| 事業規模 | 資本金 | 5000 | 千円 | |
| | 従業員数 | 8 | 人 | |

1 環境基本方針

地球温暖化問題を認識し、社員一人一人が自覚をもって事業活動のあらゆる面において環境に配慮した行動を実践する。

1. 温室効果ガスの排出が持続的に削減できる事業活動を推進するための社内体制の整備に努める。
2. すべての社員が環境問題に対する理解を深め行動できる様、環境教育の充実に努める。
3. 温室効果ガスの排出量が少ない製品の開発・普及に努める。

2 取組実績

| |
|-------------------------|
| 使い捨て製品の購入抑制(リサイクル商品の使用) |
| 両面コピーの徹底 |
| 昼休み、外出時等の消灯の徹底 |
| 社内のリサイクル体制の整備 |
| 空調温度の適正化(冷房28、暖房20) |

環境GS認定事業者報告書(平成19年度)

| | | | | |
|----------------|-------|-------------|----|--|
| 認定番号 190528 | 名 称 | 沼田土建株式会社 | | |
| | 代表者氏名 | 取締役社長 青柳剛 | | |
| | 所在地 | 沼田市 西倉内町593 | | |
| | 事業内容 | 建設業 | | |
| 事業規模 | 資本金 | 49000 | 千円 | |
| | 従業員数 | 70 | 人 | |

| | | | | | | | |
|---|--------|---|--|--|--|--|--|
| 1 | 環境基本方針 | <div style="border: 1px solid black; min-height: 100px; padding: 5px;"> <p>すべての社員が地球温暖化問題に強い意識を持ち、温室効果ガス排出削減活動を推進するための社内体制を作る。</p> </div> | | | | | |
| 2 | 取組実績 | <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td style="height: 20px;"> </td></tr> </table> | | | | | |
| | | | | | | | |
| | | | | | | | |
| | | | | | | | |
| | | | | | | | |
| | | | | | | | |

| | | | | |
|----------------|-------|--------------------|----|--|
| 認定番号 190530 | 名 称 | 鈴木特殊土木株式会社 | | |
| | 代表者氏名 | 代表取締役 鈴木昭作 | | |
| | 所在地 | 片品村 東小川1351番地 | | |
| | 事業内容 | 土木、とび・土工、舗装、水道施設事業 | | |
| 事業規模 | 資本金 | 10000 | 千円 | |
| | 従業員数 | 13 | 人 | |

| | | | | | | | |
|------------------------|--------|--|------------------------|----------|----------|---------------|-----------|
| 1 | 環境基本方針 | <div style="border: 1px solid black; min-height: 100px; padding: 5px;"> <p>地球温暖化問題を重々認識し、社員一人一人が環境に配慮した行動を実践する。 1. すべての社員が環境問題に対する理解を深め、行動・実践する。 2. 温室効果ガスの排出を削減できる事業活動を推進する。</p> </div> | | | | | |
| 2 | 取組実績 | <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td style="padding: 2px;">昼休みなど、休憩時間・非使用場所の消灯の徹底</td></tr> <tr><td style="padding: 2px;">両面コピーの徹底</td></tr> <tr><td style="padding: 2px;">空調温度の適正化</td></tr> <tr><td style="padding: 2px;">社内のリサイクル体制の整備</td></tr> <tr><td style="padding: 2px;">社内環境教育の実施</td></tr> </table> | 昼休みなど、休憩時間・非使用場所の消灯の徹底 | 両面コピーの徹底 | 空調温度の適正化 | 社内のリサイクル体制の整備 | 社内環境教育の実施 |
| 昼休みなど、休憩時間・非使用場所の消灯の徹底 | | | | | | | |
| 両面コピーの徹底 | | | | | | | |
| 空調温度の適正化 | | | | | | | |
| 社内のリサイクル体制の整備 | | | | | | | |
| 社内環境教育の実施 | | | | | | | |

環境GS認定事業者報告書(平成19年度)

| | | | | |
|----------------|---------|-------------|----|--|
| 認定番号 190531 | 名 称 | 高和建設有限会社 | | |
| | 代表者氏名 | 代表取締役 高橋紹郎 | | |
| | 所 在 地 | 昭和村 系井262-1 | | |
| | 事 業 内 容 | 土木、建築、造園業 | | |
| 事 業 規 模 | 資 本 金 | 5000 | 千円 | |
| | 従 業 員 数 | 10 | 人 | |

1 環境基本方針

地球温暖化問題が将来の子や孫の時代の生活環境を考え基本方針を作り一人一人が自分の出来る事を仕事を通じて環境に配慮した行動を行うものとする。
社員一人が一つ以上の温室効果ガスの排出が削減できる事業活動を実行
環境問題に危機感をもって取組む。「スローガン みんなで止めよう温暖化」
家庭、職場での草、樹木等緑の復旧

2 取組実績

| |
|---------------------|
| 事務所内の冷房28、暖房20 に努める |
| 休憩時、及び昼休みにこまめに消灯 |
| |
| |
| |

| | | | | |
|----------------|---------|--------------|----|--|
| 認定番号 190532 | 名 称 | 神流川森林組合 | | |
| | 代表者氏名 | 代表理事組合長 宮前隆 | | |
| | 所 在 地 | 神流町 麻生92番地 | | |
| | 事 業 内 容 | 林業全般、製材業、道の駅 | | |
| 事 業 規 模 | 資 本 金 | 22327 | 千円 | |
| | 従 業 員 数 | 40 | 人 | |

1 環境基本方針

1. 基本方針
今世紀最大の課題である地球温暖化を防止する為、森林整備に全力を尽くしている。地球環境の保全に配慮する為、従業員は一丸となって日常の業務環境を見直すと共に、業務遂行上の留意点を定めて早急に実践をする。
1) ムダ、ムラ、ムリをなくし、温室効果ガスの削減を目指した取り組みを実施
2) 使用資材については、省エネルギー、省資源(リサイクル、リユース、リデュース)による再生資源の有効利用
3) 環境問題への意識改革とその実施

2 取組実績

| |
|----------------------|
| 空調温度の適正化(冷房28、暖房20) |
| 昼休み、休憩時間、非使用場所の消灯の徹底 |
| 両面コピーの徹底 |
| 使い捨て製品の購入の抑制 |
| 社内のリサイクル体制の整備 |

環境GS認定事業者報告書(平成19年度)

| | | | | |
|----------------|-------|--------------------------------|----|--|
| 認定番号 190533 | 名 称 | サンワテック株式会社 | | |
| | 代表者氏名 | 代表取締役社長 岩崎正博 | | |
| | 所在地 | 太田市 新田大町650-1(新田北部第2工業団地内) | | |
| | 事業内容 | カーエアコン用コンプレッサーの電磁クラッチの開発・生産・販売 | | |
| 事業規模 | 資本金 | 10000 | 千円 | |
| | 従業員数 | 260 | 人 | |

1 環境基本方針

1. 社内の全組織を軸に環境保全活動を推進する。
2. 企業活動の環境に及ぼす影響を正しく把握し、継続的改善及び汚染の予防に努め、技術的、経済的に採りうる範囲で環境目的・目標を定め活動する。
3. 環境に関する法律・規制・協定を遵守すると共に、その実現に必要な自主基準を制定し環境の管理を図る。
4. 工場・事務所施設・生活設備のエネルギー消費、資源効率を見直し、省エネルギー、省資源に努める。
5. 金属屑、プラスチック屑、汚泥などの産業廃棄物は歩留まりの向上、製造工程の改善を図り、発生総量の削減と適切な処理に努めるとともに有効利用に取り組む。
6. 特定化学物質の消費量の削減を図ります。
7. 設計の段階から環境に配慮した開発を実施します。
8. 社内の全組織で業務の効率化、無駄の排除を行い使用資源の削減に努める。
9. 環境方針達成のため社内教育、広報活動をし、環境方針の理解と環境情報の周知を図り、環境保全に関わる意識の向上に努める。

2 取組実績

| |
|----------------------------|
| ブローモータ使用によるコンプレッサーエアのブロー廃止 |
| |
| |
| |
| |

環境GS認定事業者報告書(平成19年度)

| | | | | |
|----------------|-------|-------------|----|--|
| 認定番号 190534 | 名 称 | 株式会社オオガネホーム | | |
| | 代表者氏名 | 代表取締役 大金泉 | | |
| | 所在地 | 沼田市 鍛冶町947 | | |
| | 事業内容 | 住宅建築 | | |
| 事業規模 | 資本金 | 1000 | 千円 | |
| | 従業員数 | 8 | 人 | |

1 環境基本方針

地球温暖化問題が人類共通の問題であることを認識し次の方針に則し、社員一人一人が自覚をもって、事業活動のあらゆる面において、環境に配慮した行動を実践する。

1. 温室効果ガスの排出が持続的に削減できる事業活動を推進するための社内体制の整備に努める。
2. すべての社員が環境問題に対する理解を深め行動できるよう、環境教育の充実に努める。
3. 温室効果ガスの排出量の少ない建築方法・住宅の建築に努める。

2 取組実績

| |
|-------------|
| 昼休み・休憩時間の消灯 |
| 空調温度の適正化 |
| 高効率蛍光灯への取替え |
| 両面コピーの徹底 |
| 残業を減らす |

環境GS認定事業者報告書(平成19年度)

| | | | | |
|----------------|-------|----------------------|----|--|
| 認定番号 190535 | 名 称 | 日本包装システム株式会社 | | |
| | 代表者氏名 | 代表取締役社長 池畠正英 | | |
| | 所在地 | 前橋市 上大島町182 | | |
| | 事業内容 | 紙製容器・包装の製造・加工および営業活動 | | |
| 事業規模 | 資本金 | 6000 | 千円 | |
| | 従業員数 | 48 | 人 | |

1 環境基本方針

地球環境保全が世界共通の最重要課題であることを認識し、当社の事業活動を通じ、循環型社会の実現と環境負荷の低減を推進します。

1. 当社は紙製容器・包装の製造・販売を主体とする事業活動を通じて、環境経営マネジメントシステムを構築し、環境目標・環境活動計画を定め継続的な改善に努めます
 2. 環境保全に関する法令、規制を遵守するとともに、行政・団体・地域等との協力体制を確立いたします
 3. 当社の製造・販売など全ての活動に於いて環境に与える影響を削減するため、次の事項に対して優先的に取り組みます
 - 電気使用量・燃料使用量の削減
 - 産業廃棄物の削減
 - 水資源使用量の削減
 4. 循環型社会の事業活動で使用する製品・部品・材料などはグリーン購入を実施いたします
 5. 社会の一員として環境保全に関する啓蒙・啓発に努めます
- この環境方針は当社全従業員に周知徹底するとともに、一般に公開します

2 取組実績

| |
|---------------|
| 空調フィルター掃除の習慣化 |
| 廃棄物の分別の徹底 |
| ストレッチフィルムの削減 |
| 焼却炉の使用回数の減少化 |
| 洗浄作業の見直し |

環境GS認定事業者報告書(平成19年度)

| | | | | |
|----------------|-------|------------|----|--|
| 認定番号 190537 | 名 称 | 石坂建設株式会社 | | |
| | 代表者氏名 | 代表取締役 諸田光二 | | |
| | 所在地 | 昭和村 系井2308 | | |
| | 事業内容 | 建設業 | | |
| 事業規模 | 資本金 | 40000 | 千円 | |
| | 従業員数 | 12 | 人 | |

1 環境基本方針

地球温暖化が世界的に問題であることを認識し、以下の基本方針を策定し、社員その家族共に自覚をもって、地球に優しい環境を作る為に配慮した行動を実践する。

1. 会社及び現場事務所など、すべての社員が環境問題に対し理解を深め行動できるよう環境教育の充実に努める。

2. 社員、その家族が一丸となり、温室効果ガスを削減できるよう体制の整備に努める。

2 取組実績

| |
|-----------------------------------|
| 昼休み時間は全室消灯の実施 |
| 残業時間の短縮 |
| 冷房温度の管理。極力使用を抑制 |
| 定期社内会議時に環境基本方針(地球温暖化防止等)について教育を実施 |
| 提出書類以外は、不用紙による両面コピーの徹底 |

| | | | | |
|----------------|-------|---------------|----|--|
| 認定番号 190538 | 名 称 | 三川建設株式会社 | | |
| | 代表者氏名 | 代表取締役 新井邦明 | | |
| | 所在地 | 沼田市 西倉内町608-1 | | |
| | 事業内容 | 建設業 | | |
| 事業規模 | 資本金 | 20000 | 千円 | |
| | 従業員数 | 12 | 人 | |

1 環境基本方針

世界的に地球温暖化が叫ばれている中我社としては以下の基本方針を策定し、社員ならびにその家族と共に地球に優しい環境を作る為の行動を実施する。

1. 社員ならびに家族が一丸となり温室効果ガス排出をストップする為の配慮に努める。

2. 事務所ならびに作業所において、環境問題に対し理解を深める為のミーティングを行う。

2 取組実績

| |
|----------------------|
| 社内環境教育を、毎月安全会議と同時に実施 |
| 不要紙コピーの使用 |
| 冷・暖房温度を、担当者を選任し管理 |
| |
| |

環境GS認定事業者報告書(平成19年度)

| | | | | |
|----------------|-------|---|----|--|
| 認定番号 190539 | 名 称 | 勝野建設株式会社 | | |
| | 代表者氏名 | 取締役社長 勝野昇 | | |
| | 所在地 | 吉岡町 下野田592番地 | | |
| | 事業内容 | 総合建設業(道路・舗装・河川・狭量・治山・砂防・土地改良等の土木工事の設計、施工) | | |
| 事業規模 | 資本金 | 45000 | 千円 | |
| | 従業員数 | 25 | 人 | |

1 環境基本方針

地球温暖化問題が人類共通した問題であることを認識し、社会生活の安全確保を事業活動を通し環境に配慮した行動を実践する

1. 温室効果ガスの排出が持続的に削減する事業活動を推進する社内体制の整備
2. 環境汚染の防止をはかるため産業廃棄物の管理や削減に努める

2 取組実績

| |
|---------------------------|
| 空調温度の適正化(冷房27～28、暖房20～21) |
| 昼休み、休憩時間、非使用場所等社員不在の消灯 |
| コピー用紙の再利用(メモ帳等に利用) |
| トナー・カートリッジ等のリサイクル品の使用 |
| 社内リサイクル体制の整備 |

| | | | | |
|----------------|-------|-----------------|----|--|
| 認定番号 190540 | 名 称 | 有限会社小島プレス製作所 | | |
| | 代表者氏名 | 代表取締役 小島宏允 | | |
| | 所在地 | 邑楽町 中野3003 | | |
| | 事業内容 | プレス加工、機械加工および組立 | | |
| 事業規模 | 資本金 | 3000 | 千円 | |
| | 従業員数 | 15 | 人 | |

1 環境基本方針

地球温暖化防止に対し、日常業務を通じ従業員1人、1人が広くCO2の排出量の削減に、積極的に取り組むことを誓います。

1. 温室効果ガス排出の削減が継続的に可能な社内システムの整備を行います。
2. 環境に対する理解を深めるための従業員への環境教育を行います。
3. 温室効果ガスの排出量の少ない製品の製造法の確立・普及に努めます。

2 取組実績

| |
|---------------------|
| 空調温度の適正化(冷房28、暖房20) |
| コピー紙は両面使用 |
| 昼休み、休憩時間の消灯 |
| 梱包材の再利用の推進 |
| 従業員に対する環境教育 |

環境GS認定事業者報告書(平成19年度)

| | | | | |
|----------------|---------|----------------|----|--|
| 認定番号 190541 | 名 称 | 中村土建株式会社 | | |
| | 代表者氏名 | 代表取締役 相田聡 | | |
| | 所 在 地 | 沼田市 利根町追貝917-1 | | |
| | 事 業 内 容 | 総合建設業 | | |
| 事 業 規 模 | 資 本 金 | 3000 | 千円 | |
| | 従 業 員 数 | 9 | 人 | |

1 環境基本方針

地球温暖化問題に目を向け、認識する事から始まり社員一人一人が強く自覚を持って環境問題に取り組む事から始めたいと考えている。

- 1) 全ての社員参加のもと、温室効果ガスの排出が削減でき事業活動の把握と活動を実施。
- 2) 職場はもとより家庭内においても全ての廃棄物の減量・リサイクル・省エネルギー、又環境汚染の予防に努める。

2 取組実績

| |
|--|
| 事務所関連の空調温度の適正化(暖房20 設定、冷房は自然の温度を受け入れ衣類で調節) |
| パソコンの不要時の電源OFF |
| 使い捨て商品の再利用の徹底 |
| 現場内外における停車車両のエンジンのかけっぱなしをやめる |
| 必要最小限のコピー及び両面コピーの心がけ。出来る限りPC内に整理保存の心がけ |

| | | | | |
|----------------|---------|---------------|----|--|
| 認定番号 190542 | 名 称 | 株式会社飯塚組 | | |
| | 代表者氏名 | 代表取締役 飯塚淳一 | | |
| | 所 在 地 | 吉岡町 大久保2279-2 | | |
| | 事 業 内 容 | 土木建設業 | | |
| 事 業 規 模 | 資 本 金 | 2000 | 千円 | |
| | 従 業 員 数 | 23 | 人 | |

1 環境基本方針

地球温暖化問題が国際的にも人類共通の問題であることを認識し環境基本方針を掲げて社員全員が取組んで活動を推進して行きます。

1. 社員全員が環境問題に積極的に取り組み推進を計る。
2. 温室効果ガスが削減出来る事業の情報を集め社内対応出来る体制を計る。
3. 小さな事からでも環境に配慮した事業活動を推進して行く。

2 取組実績

| |
|-------------------------|
| 昼休み時間、非使用場所の消灯の徹底 |
| 社内リサイクル体制の整備 |
| 空調温度管理の適正化(冷房28 、暖房20) |
| 使用済み用紙の裏紙利用の推進 |
| 排気、騒音規制車の導入 |

環境GS認定事業者報告書(平成19年度)

| | | | | |
|----------------|--------------|------------------------|-------|----|
| 認定番号 190543 | 名 称 代表者氏名 | 田代木材有限会社 取締役社長 田代信介 | | |
| | 所 在 地 | 沼田市 榛名町4180番地の1 | | |
| | 事 業 内 容 | 梱包仕組材製材 | | |
| | 事 業 規 模 | 資 本 金 | 12000 | 千円 |
| | | 従 業 員 数 | 9 | 人 |

1 環境基本方針

地球温暖化問題を社員一人一人が自覚し身近な問題として認識して環境に配慮した事業活動をしていく。

2 取組実績

| |
|----------------------|
| 空調温度の適正化 |
| 電力量の少ない電球等に替える |
| 休憩時間、昼休み時の消灯 |
| 両面コピーの利用、ミスコピー削減の心がけ |
| 使用済みパレットの社内利用 |

| | | | | |
|----------------|--------------|------------------------|-------|----|
| 認定番号 190544 | 名 称 代表者氏名 | 樋口建設株式会社 代表取締役 樋口富雄 | | |
| | 所 在 地 | 渋川市 北牧820-22 | | |
| | 事 業 内 容 | 建設業 | | |
| | 事 業 規 模 | 資 本 金 | 20500 | 千円 |
| | | 従 業 員 数 | 22 | 人 |

1 環境基本方針

近年の異常気象は温暖化によるものと認識を高め、大切な地球環境を守るため、全社員に自覚を促し一丸となって温暖化防止策に努める。

1. 温室効果ガスの排出の実態を把握し可能な事から実践に移しより質を高め継続していく。
2. 環境対策を実践に移せる為に、社員との勉強会を開き理解を深めていく。
3. 温室効果ガスの排出量の少ない重機、車輛と入れ替える。

2 取組実績

| |
|-----------------------|
| 休憩時間の消灯 |
| 高効率の蛍光灯に換える |
| 乗り合わせを徹底し、余分な車両は動かさない |
| 分別化を徹底しリサイクルする |

環境GS認定事業者報告書(平成19年度)

| | | | | |
|----------------|---------|-------------|----|--|
| 認定番号 190545 | 名 称 | 藤間精練株式会社 | | |
| | 代表者氏名 | 代表取締役 藤間一夫 | | |
| | 所 在 地 | 高崎市 飯塚町1772 | | |
| | 事 業 内 容 | 電着塗装等 | | |
| 事 業 規 模 | 資 本 金 | 10000 | 千円 | |
| | 従 業 員 数 | 24 | 人 | |

1 環境基本方針

1. 私たちは、環境負荷の軽減に向けた生産を努め、豊かな自然環境を次世代へと継承して行きます。
2. 再生利用、減量、再使用の3Rを実践し循環型社会形成を推進いたします。
3. 人、大気、水質に優しい製造方法を探求し、環境に配慮した燃料や省エネ型設備の導入を推進し、温室効果ガス排出の削減に努めます。

2 取組実績

| |
|-------------------|
| 空調温度の適正化 |
| 休憩時間の消灯 |
| 紙の節約(両面コピー、電子化など) |
| 使い捨て品の購入を控える |
| リサイクル推進、意識の向上 |

| | | | | |
|----------------|---------|---------------|----|--|
| 認定番号 190546 | 名 称 | 小淵組株式会社 | | |
| | 代表者氏名 | 代表取締役 小淵守彦 | | |
| | 所 在 地 | 渋川市 中郷1276番地2 | | |
| | 事 業 内 容 | 総合建設業 | | |
| 事 業 規 模 | 資 本 金 | 20000 | 千円 | |
| | 従 業 員 数 | 8 | 人 | |

1 環境基本方針

- 私たちにできる「地球にやさしいこと」をモットーに、社員一人一人が自覚をもち、事業活動をはじめ生活面全般においても地球環境に配慮した行動を実践する。
- ・社員が環境問題に対する理解を深め行動出来る様、環境教育の充実に努める。
 - ・CO2の排出量削減に協力する体制の整備(省エネ、リサイクルの徹底、エコマークの商品等の積極購入等)

2 取組実績

| |
|--------------------------|
| 空調温度の適正化 |
| 昼休み、非使用の場所の消灯の徹底 |
| 両面コピーの徹底(使用済用紙の裏紙利用も含めて) |
| 非使用のOA機器は切る |
| 社内ゴミの分別徹底 |

環境GS認定事業者報告書(平成19年度)

| | | | | |
|----------------|-------|--|----|--|
| 認定番号 190547 | 名 称 | 有限会社久保田運輸 | | |
| | 代表者氏名 | 代表取締役社長 久保田利雄 | | |
| | 所在地 | 前橋市 西善町777-1 | | |
| | 事業内容 | 一般貨物自動車運送事業、貨物軽自動車運送事業、貨物運送取扱事業、倉庫業、荷造り梱包業 | | |
| 事業規模 | 資本金 | 7000 | 千円 | |
| | 従業員数 | 65 | 人 | |

1 環境基本方針

環境方針を2008年1月に制定し、重点目標に排出ガス削減に向けた取り組み、燃費管理、エコドライブの推進、廃棄物の適正処理等を全社員に教育指導し推進と維持に努める。

(環境方針)

環境保護条例 自動車NOX PM改正に対応したディーゼル車排出ガス削減に向けた取り組みを着実に推進する。

燃費管理を実施し、エコドライブを推進する。

法令遵守し、廃棄物の適正処理を行います。

各休憩所、乗務員詰所に本方針を掲示し全社員に教育指導をし周知徹底をし、その推進と維持に努める。

2 取組実績

| |
|---------------------------|
| アイドリングストップの徹底(パンフレット作成掲示) |
| エコドライブの教育 |
| 法定速度での走行の徹底 |
| 事務所の休憩時間の消灯徹底 |
| |

| | | | | |
|----------------|-------|-------------------|----|--|
| 認定番号 190548 | 名 称 | 上毛緑産工業株式会社 | | |
| | 代表者氏名 | 代表取締役 高橋範行 | | |
| | 所在地 | 吉岡町 小倉827-87 | | |
| | 事業内容 | 建設業(土・と・舗・園・水)工事業 | | |
| 事業規模 | 資本金 | 30000 | 千円 | |
| | 従業員数 | 15 | 人 | |

1 環境基本方針

地球温暖化防止活動が世界的規模で求められている中、群馬県地球温暖化対策推進計画を尊重し、次の基本方針に則し、全社員が自覚を持って、事業活動のあらゆる面において、環境負荷の少ない行動を実践する。

1. 温室効果ガス排出の持続的削減に向けた事業活動を推進するための社内体制の整備に努める。

2. 全員が環境問題に対する理解を深め自発的行動ができるよう、情報の収集、環境教育の充実に努める。

3. 地域未利用資源を活用する固有のリサイクル緑化技術、製品の開発、普及に努める。

2 取組実績

| |
|---------------------------|
| 両面コピーの徹底 |
| やれ紙の裏面使用(FAX、所定のプリンター)の徹底 |
| 印刷前の確認で無駄紙をなくす |
| OA機器の非使用時の電源カットの徹底 |
| 休憩時間、非使用場所の消灯の徹底 |

環境GS認定事業者報告書(平成19年度)

| | | | | |
|----------------|---------|-------------|----|--|
| 認定番号 190551 | 名 称 | 東群鋼材株式会社 | | |
| | 代表者氏名 | 代表取締役 荒井昭雄 | | |
| | 所 在 地 | 玉村町 樋越429-3 | | |
| | 事 業 内 容 | 各種鋼材の販売・加工 | | |
| 事 業 規 模 | 資 本 金 | 30000 | 千円 | |
| | 従 業 員 数 | 30 | 人 | |

1 環境基本方針

全社をあげて、総合的な「環境経営」を目標に掲げ、日頃の営業活動から製品の輸送・加工・リサイクル・廃棄に至るすべての段階にわたって、環境負荷低減に向けた経営を目指しております。

2 取組実績

| |
|-------------------------|
| 低燃費運転運動、アイドリングストップ運動の実施 |
| 空調温度の適正化(冷房28、暖房20)に努める |
| 昼休みの消灯、非使用場所の消灯を徹底 |
| クールビズ、ウォームビズの推進 |
| 加工機械の自社メンテナンス力強化 |

| | | | | |
|----------------|---------|------------------|----|--|
| 認定番号 190552 | 名 称 | 株式会社シオリ | | |
| | 代表者氏名 | 代表取締役 塩尻三郎 | | |
| | 所 在 地 | 伊勢崎市 波志江町4133-31 | | |
| | 事 業 内 容 | 電子部品組亜縦・PC板 ASSY | | |
| 事 業 規 模 | 資 本 金 | 300 | 千円 | |
| | 従 業 員 数 | 14 | 人 | |

1 環境基本方針

地球温暖化問題が人類共通の問題であることを認識し、次の基本方針に則し、社員一人一人が自覚をもって、事業活動のあらゆる面において、環境に配慮した行動を実践する。

1. 温室効果ガスの排出が持続的に削減できる事業活動を推進するための社内体制の整備に努める。
2. すべての社員が環境問題に対する理解を深め行動できるよう、環境教育の充実に努める。
3. 温室効果ガスの排出量が少ない製品の開発・普及に努める。

2 取組実績

| |
|----------------------|
| 納品用自動車をクリーンディーゼル車に変更 |
| 空調温度の適正化(冷房28、暖房20) |
| 空調管理責任者を設置 |
| 非使用場所、昼休み、休憩時間の消灯 |
| 両面コピーの徹底 |